

令和5年度

男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査報告

目 次

	ページ
令和5年度 男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査報告	Ⅲ - 1
資料 男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査調査票	Ⅲ - 52

令和5年度 男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民意識調査報告

1 調査の目的

この調査は、男女平等・共同参画及び性の多様性に関する区民の意識を把握し、今後の関係施策を推進するための基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の内容

- I 男女平等に関する意識と実態 II ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
III 人権・性の多様性の尊重 IV 区の男女平等・共同参画及び性の多様性尊重施策

3 調査方法と回収状況

- (1) 調査地域 目黒区全域
(2) 調査対象 目黒区在住の18歳以上の個人
(3) 対象者数 2,500人（女性1,250人、男性1,250人）
(4) 抽出方法 住民基本台帳を基に男女別に無作為抽出
(5) 調査方法 郵送配布－インターネット回答
(6) 調査期間 令和5年4月26日（調査案内発送）～令和5年5月31日
(7) 調査実施機関 目黒区総務部人権政策課
(8) 回収状況

	標本数	有効回収数	有効回収率
総数	2,500	671	26.8%
女性	1,250	370	29.6%
男性	1,250	297	23.8%

【参考】令和4年度 男女平等・共同参画に関する意識調査報告

○調査方法と回収状況

- (1) 調査地域 目黒区全域
(2) 調査対象 目黒区在住の18歳以上の個人
(3) 対象者数 2,500人（女性1,250人、男性1,250人）
(4) 抽出方法 住民基本台帳を基に層化無作為抽出
(5) 調査方法 郵送及びオンラインフォーム
(6) 調査期間 令和4年4月26日（調査票発送）～令和4年5月31日
(7) 調査実施機関 目黒区総務部人権政策課
(8) 回収状況

	標本数	有効回収数	有効回収率
総数	2,500	946	37.8%
女性	1,250	535	42.8%
男性	1,250	411	32.9%

4 報告書の見方

- (1) 回答は、各質問の回答者数（n）を基礎とした百分率（%）で表示した。
- (2) 百分率は、小数第二位を四捨五入してあるため、比率の合計が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の場合には、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 信頼度を95%とした場合、標本誤差は下式により求められる。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

N = 母集団数
 n = 比率算出の基数（回答者数）
 P = 回答の比率

母集団数（令和5年4月1日現在の目黒区の18歳以上の人口）は242,957人

今回の調査結果の標本誤差は以下のとおり。

回答比率 (P) n	90%又は 10%程度	80%又は 20%程度	70%又は 30%程度	60%又は 40%程度	50%程度
671	±2.3	±3.1	±3.5	±3.8	±3.9
500	±2.7	±3.6	±4.1	±4.4	±4.5
400	±3.0	±4.0	±4.6	±4.9	±5.0
300	±3.5	±4.6	±5.3	±5.7	±5.8
200	±4.2	±5.7	±6.5	±6.9	±7.1
100	±6.0	±8.0	±9.2	±9.8	±10.0

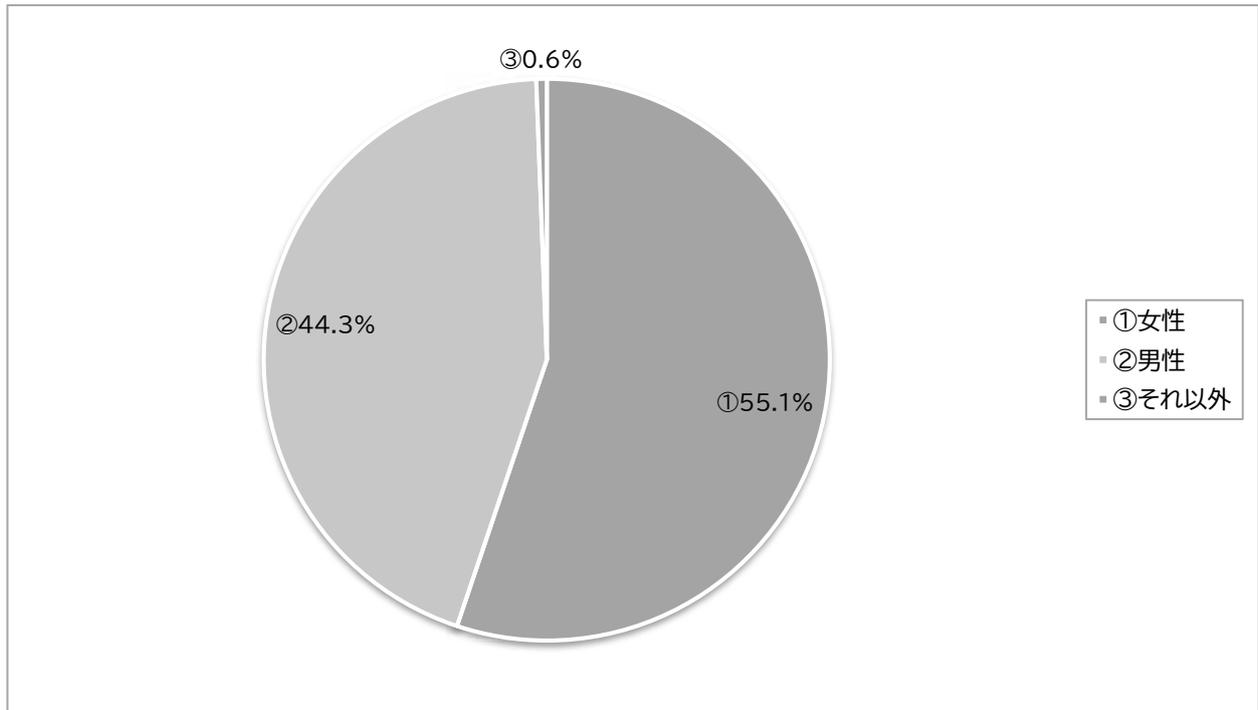
【表の見方】

たとえば、ある設問に「そう思う」と回答した人が全体（n=671）の20.0%であった場合、上記表の回答比率に当てはめると、20%程度の標本誤差は±3.1%であるため、「そう思う」と考えている人は、標本誤差を補正すると、16.9%から23.1%の間にあることが、95%の信頼度でいえることとなります。

- (5) コメント掲載基準
 - ア 性別により回答に大きく違いがあるもの
 - イ 令和4年度の調査と比較可能な設問については、令和4年度の結果と比べて変化の大きいもの（標本誤差の範囲内のものについてはコメントしない。）
 - ウ 区の施策への要望等については、要望の多い項目を記載（問4・9・11・13・20・22・23）

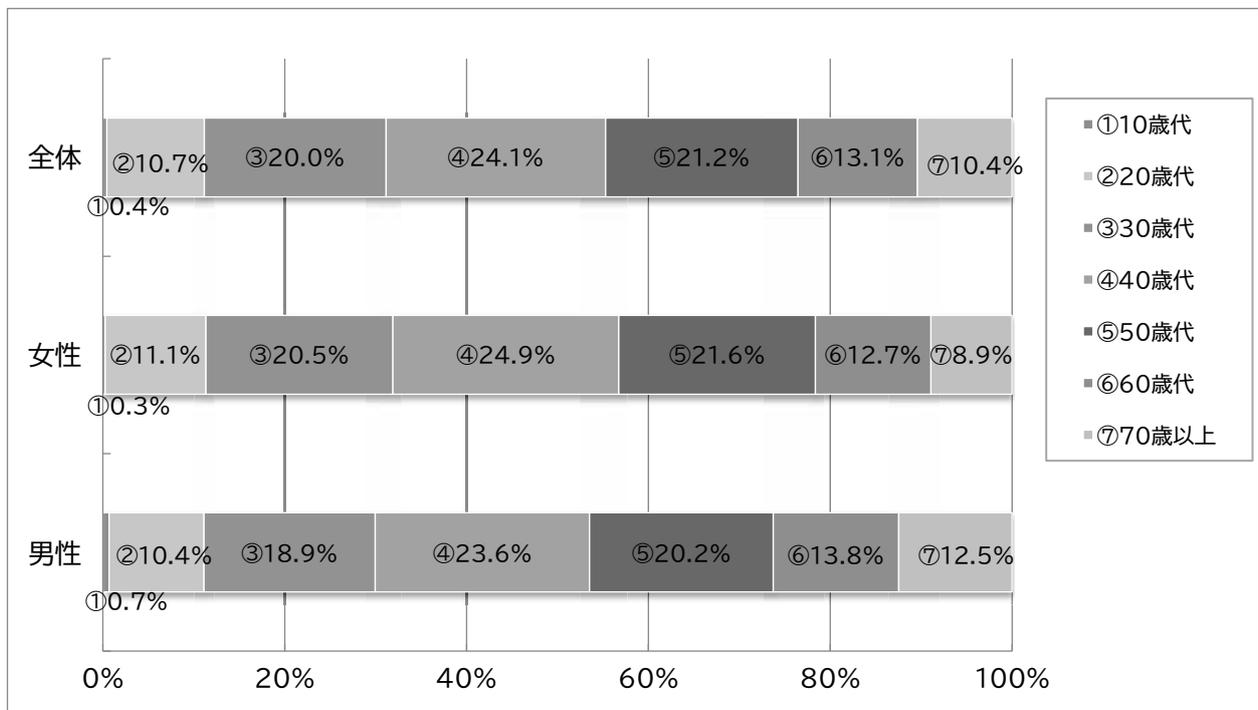
【回答者のプロフィール】

F1 自認する性別



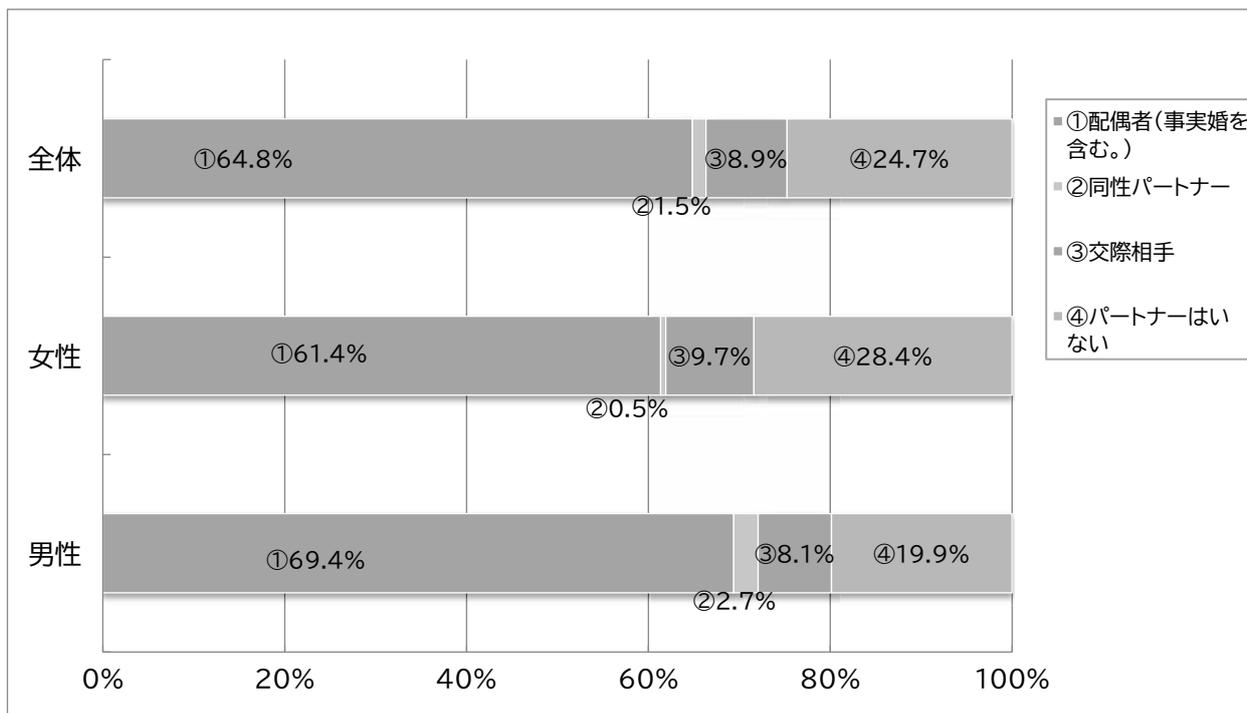
全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

F2 年齢



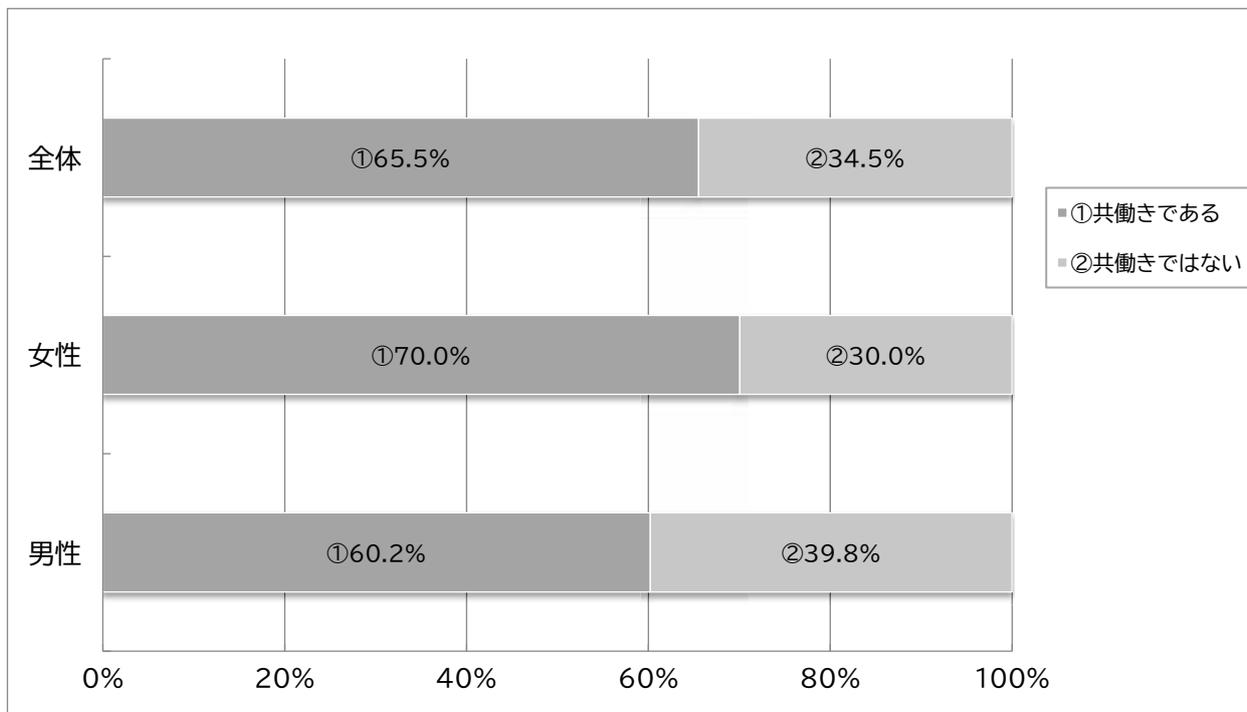
全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

F3 パートナーの有無



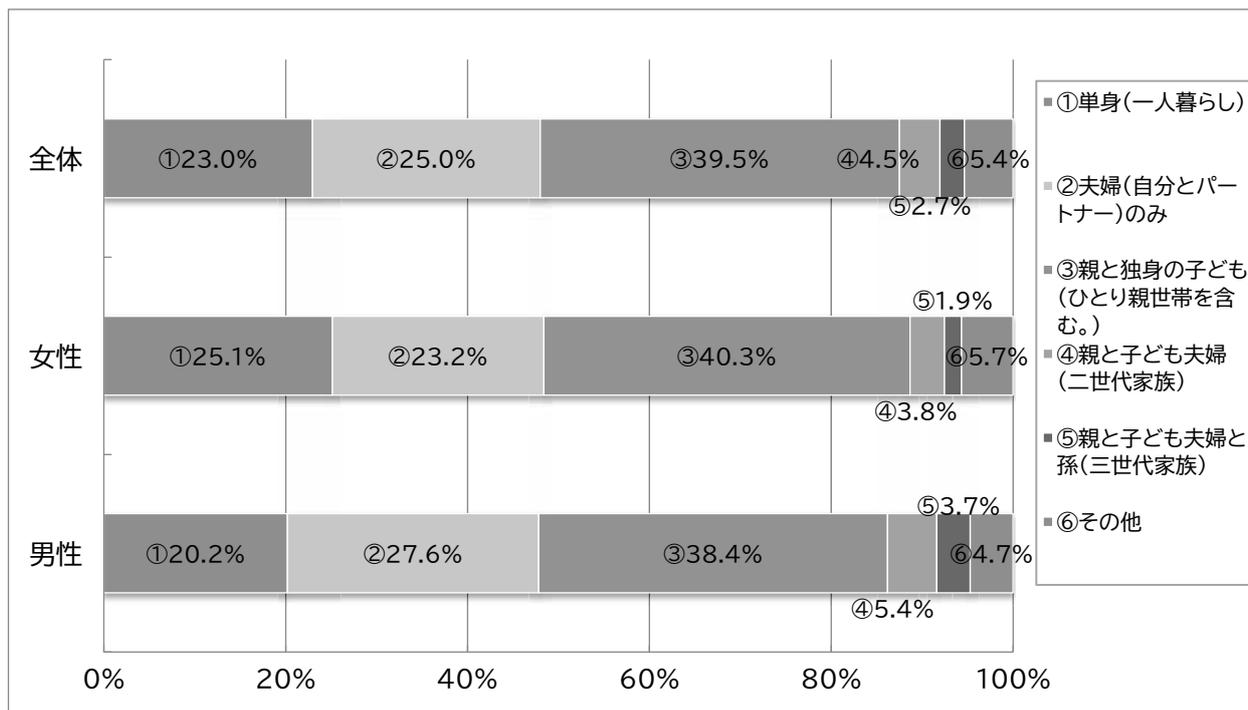
全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

F3で配偶者(事実婚のパートナーを含む。)がいると回答があった中で F3-1 共働き(パート・アルバイトを含む。)であるかどうか



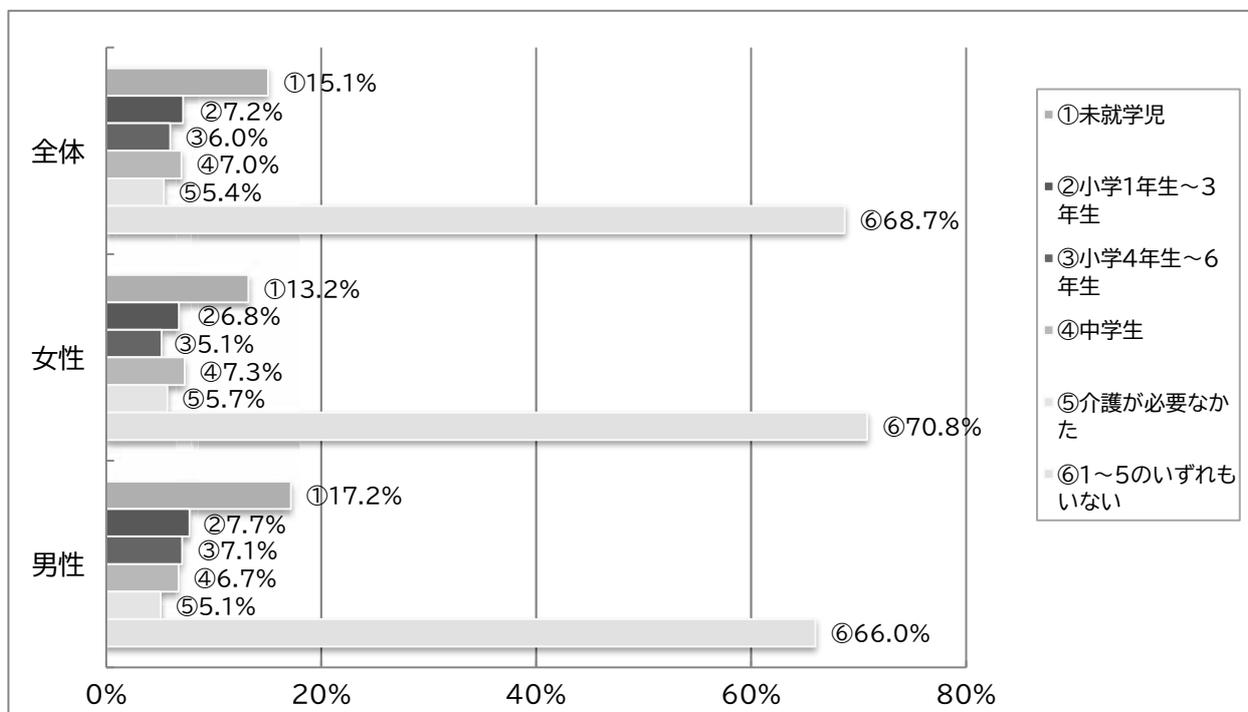
全体 N= 435 女性 N= 227 男性 N= 206 それ以外 N= 2

F4 世帯構成



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

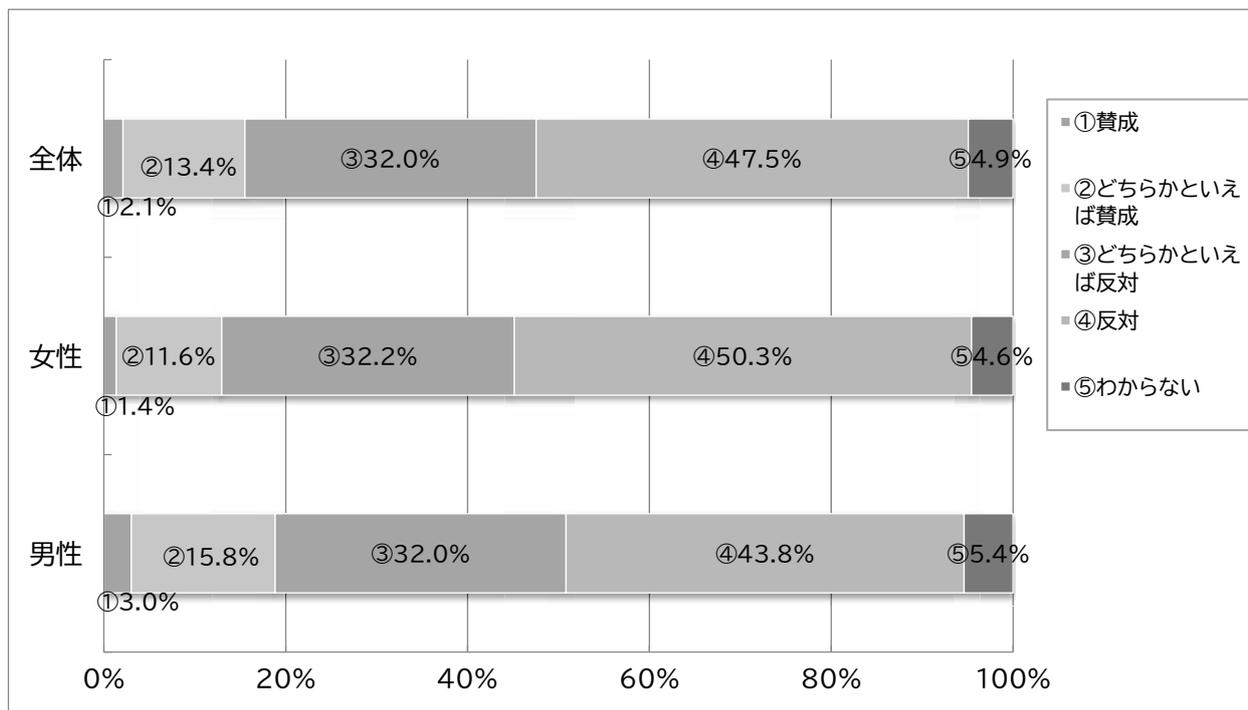
F5 家庭内に子どもや介護が必要なかたがいるかどうか(複数回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

【 I 男女平等に関する意識と実態】

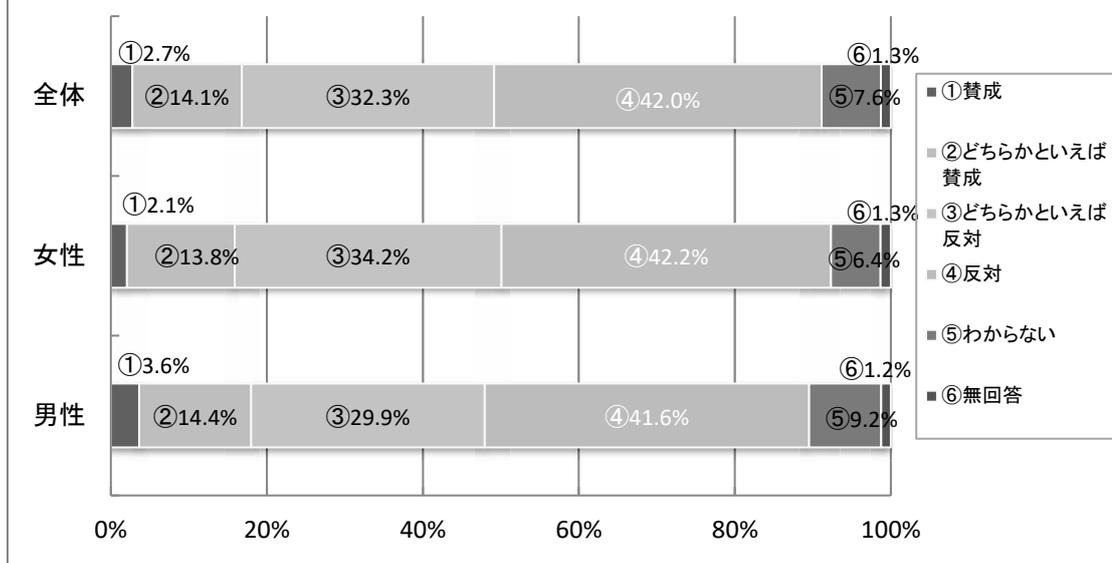
問1 社会や家庭などで性別による固定的な役割があるという考え方について、あなたはどのように思いますか。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

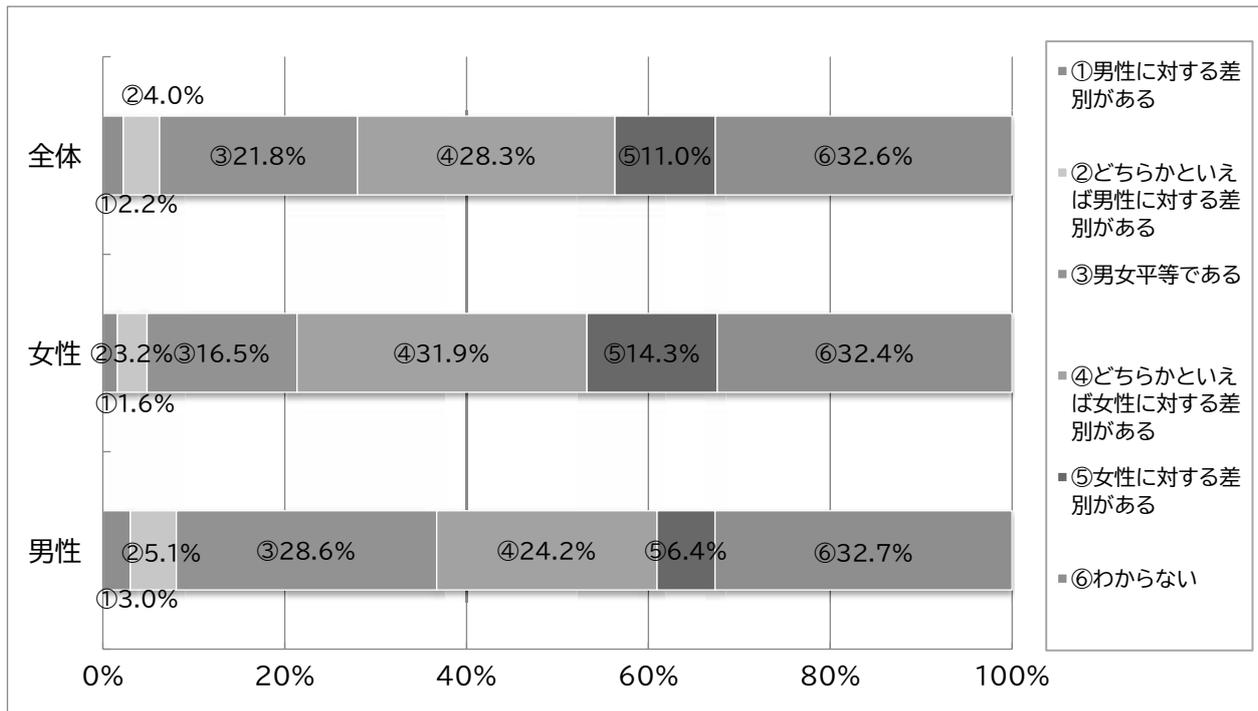
令和4年度調査

問1 男女には社会や家庭などで性別による固定的な役割があるという考え方について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

問2(ア) 主に目黒区内における家庭生活(家事・育児・介護)の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)

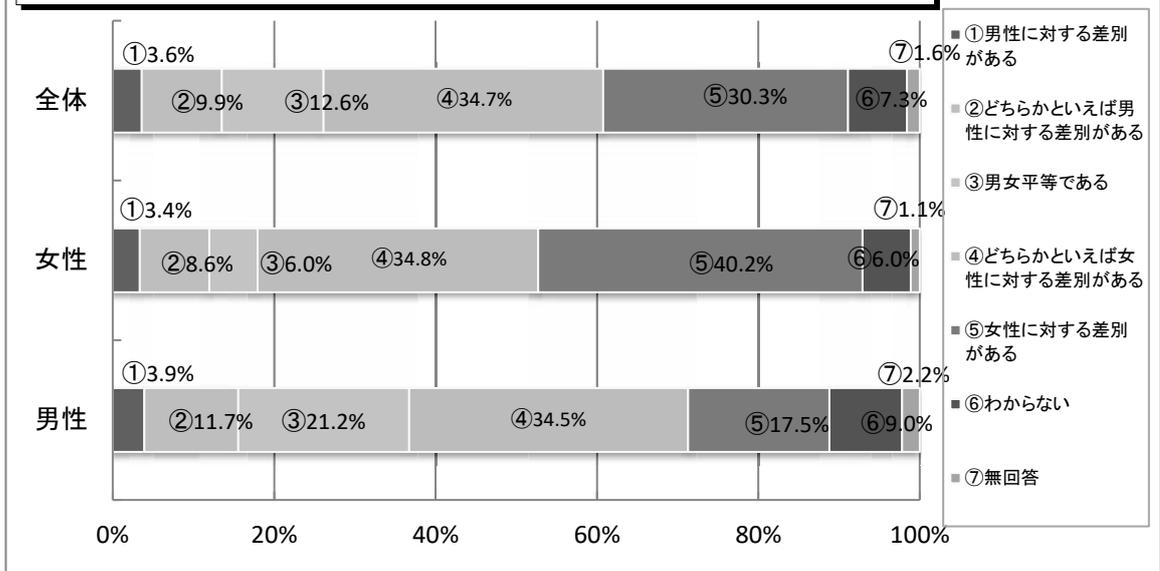


全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

家庭生活の分野について「男女平等である」と回答した人は、女性が16.5%、男性が28.6%で男女差がある。同様に、「女性に対する差別がある」と「どちらかといえば女性に対する差別がある」と回答した人は全体では4割弱を占めるが、女性では46.2%、男性では30.6%であり、男女で認識に差がある。

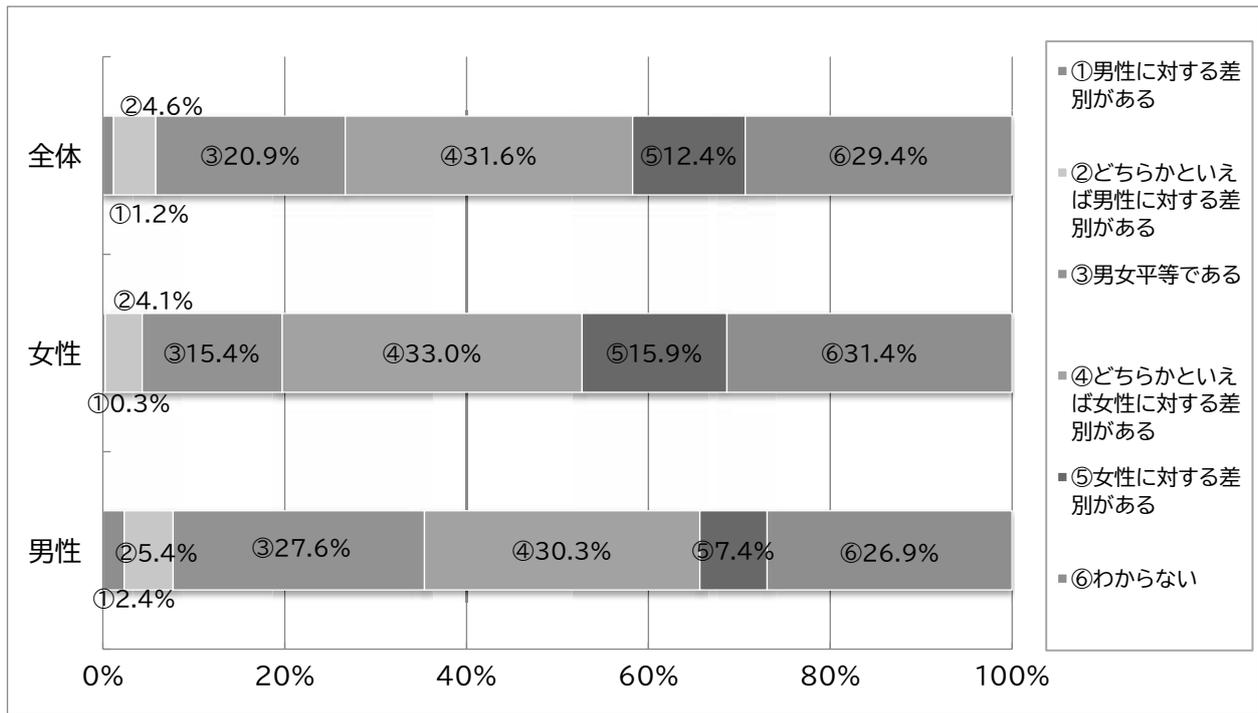
■令和4年度調査

問2(ア) あなたは、家庭生活(家事・育児・介護)の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(○は1つ)



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

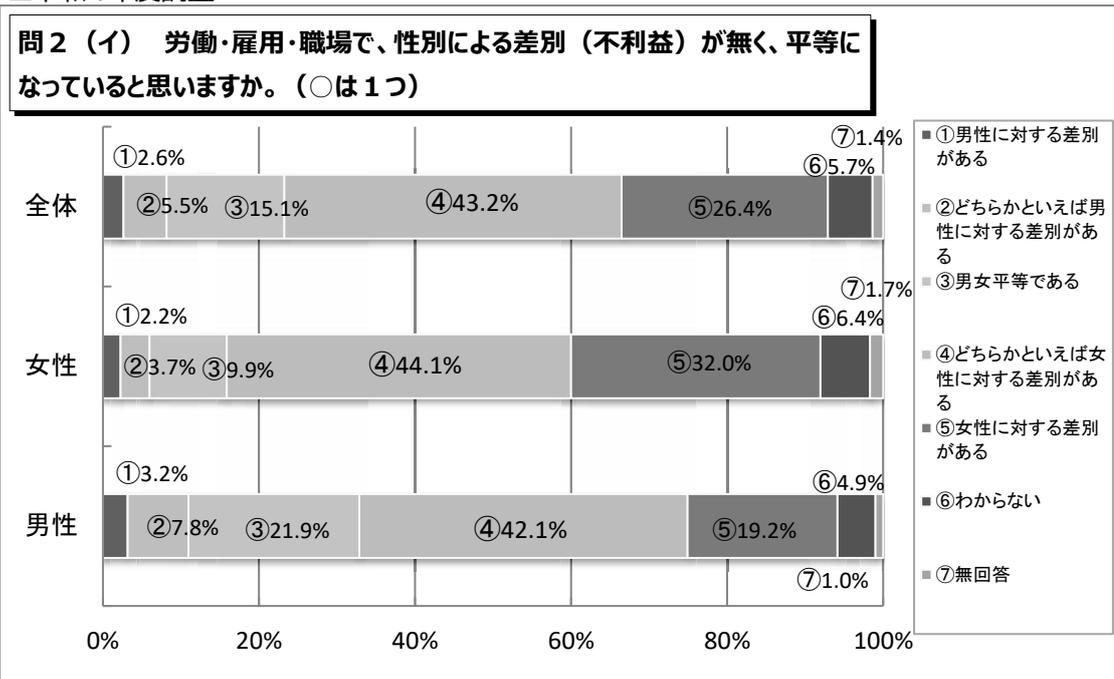
問2(イ) 主に目黒区内における労働・雇用・職場の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

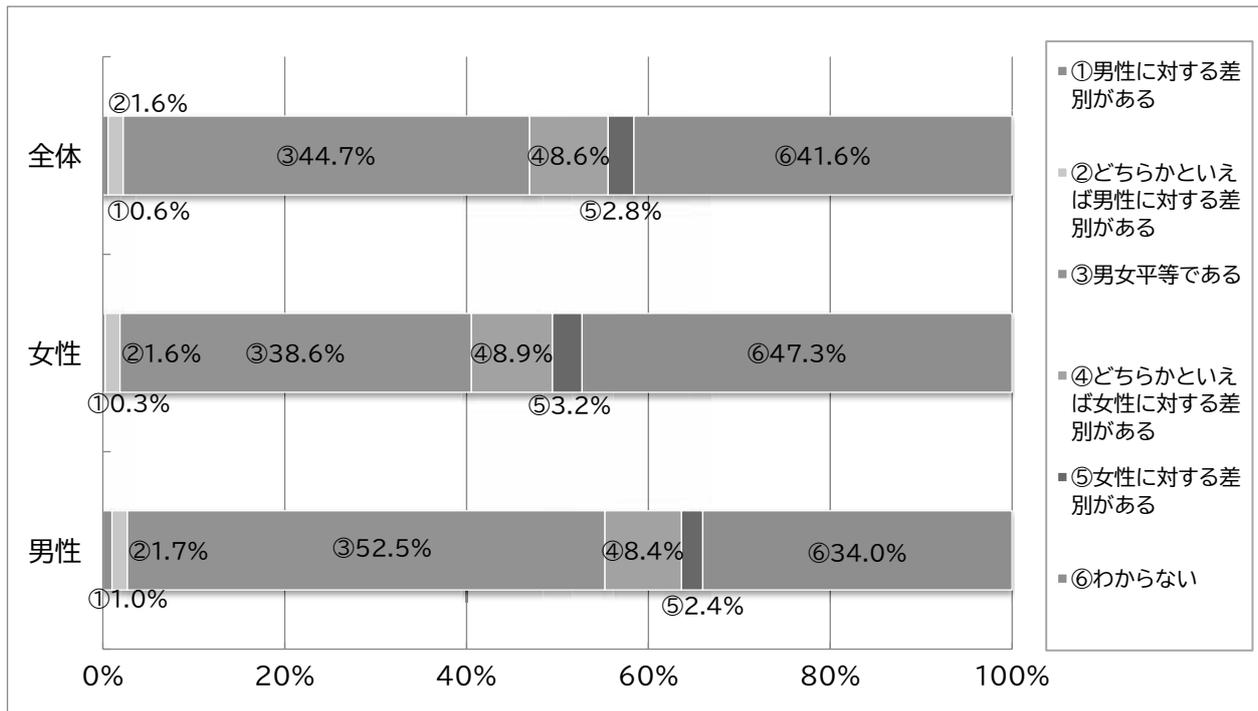
前回の調査に比べて「女性に対する差別がある」、「どちらかといえば女性に対する差別がある」と回答した人の割合が低下した一方、「わからない」と回答した人の割合が上昇した。

■令和4年度調査



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

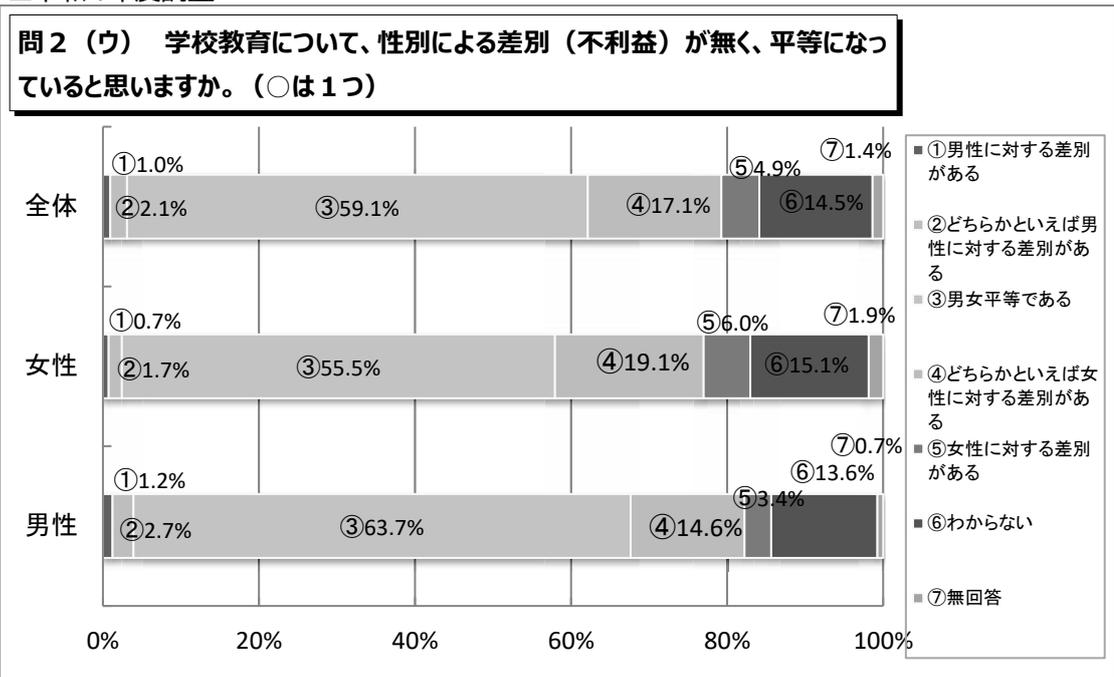
問2(ウ) 主に目黒区内における学校教育の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

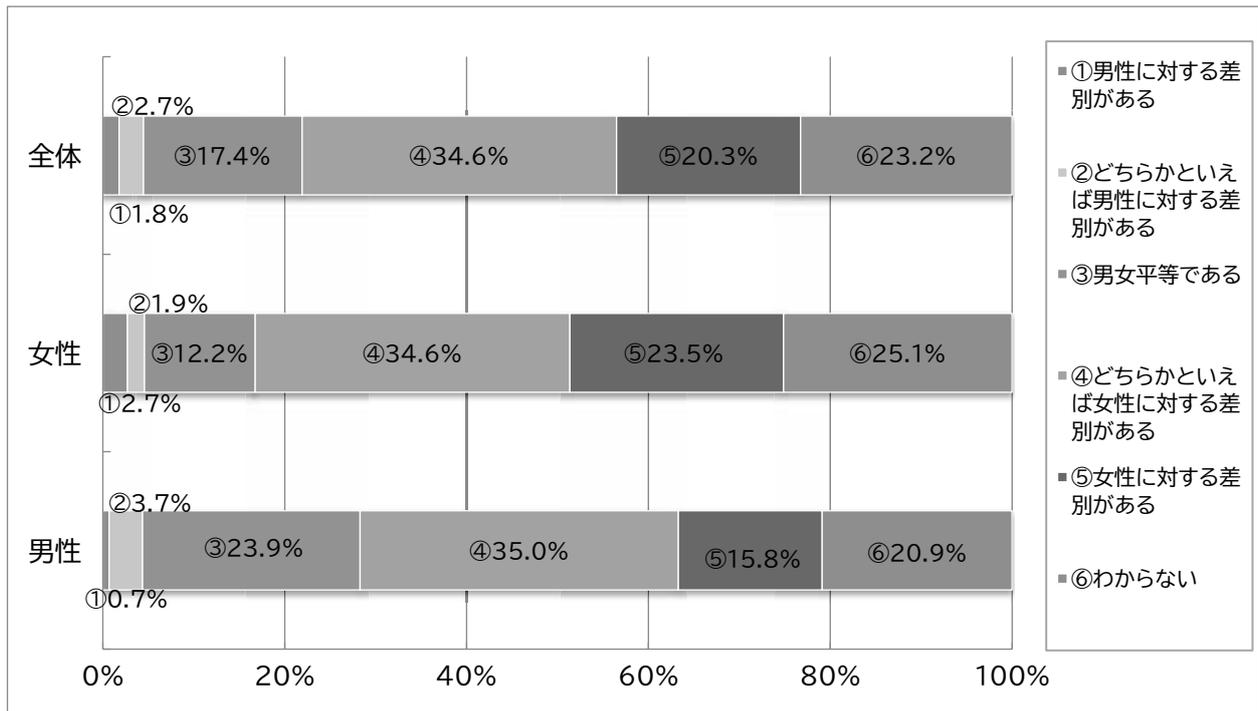
学校教育の分野について、男性は半数以上が「男女平等である」と回答した一方、女性は4割弱であり、男女差がある。また、「わからない」と回答した人の割合が前回より大きく上昇している。

■令和4年度調査



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

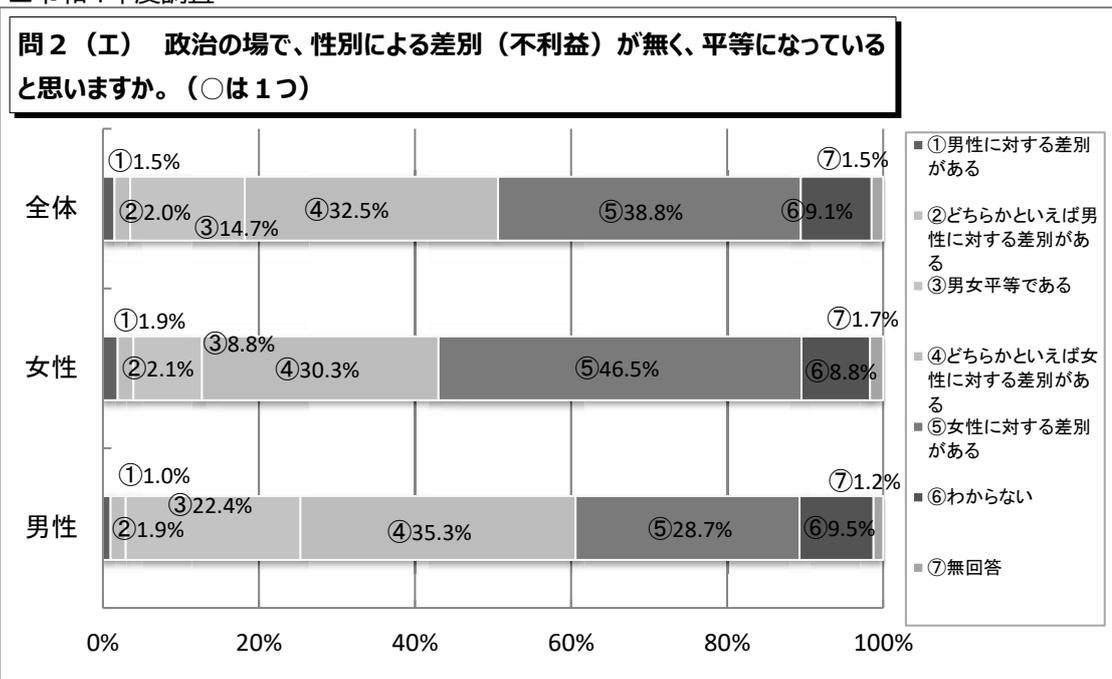
問2(工) 主に目黒区内における政治の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

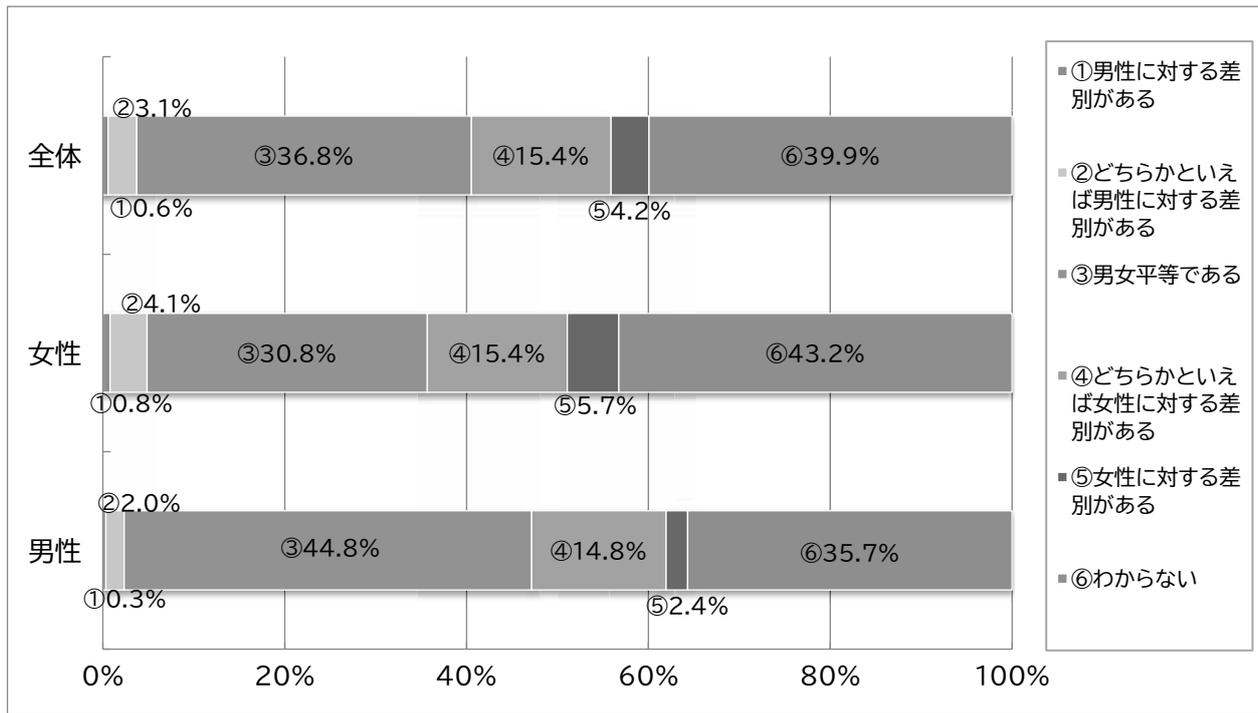
前回の調査と比べて「女性に対する差別がある」と回答した人の割合が低下した一方、「わからない」と回答した人の割合が上昇した。

■令和4年度調査



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

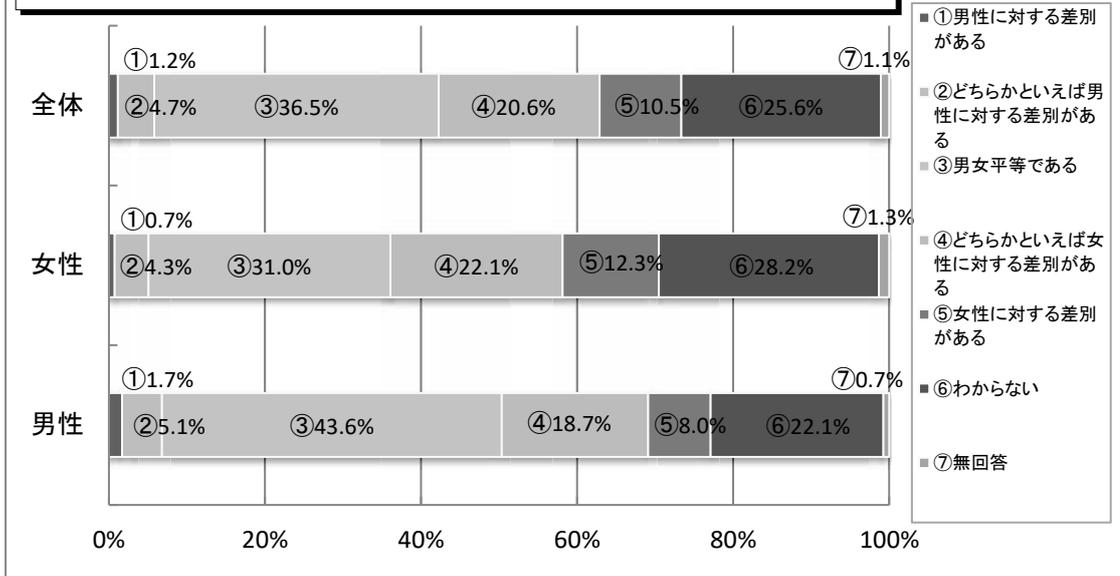
問2(オ) 主に目黒区内における地域の活動や行事の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

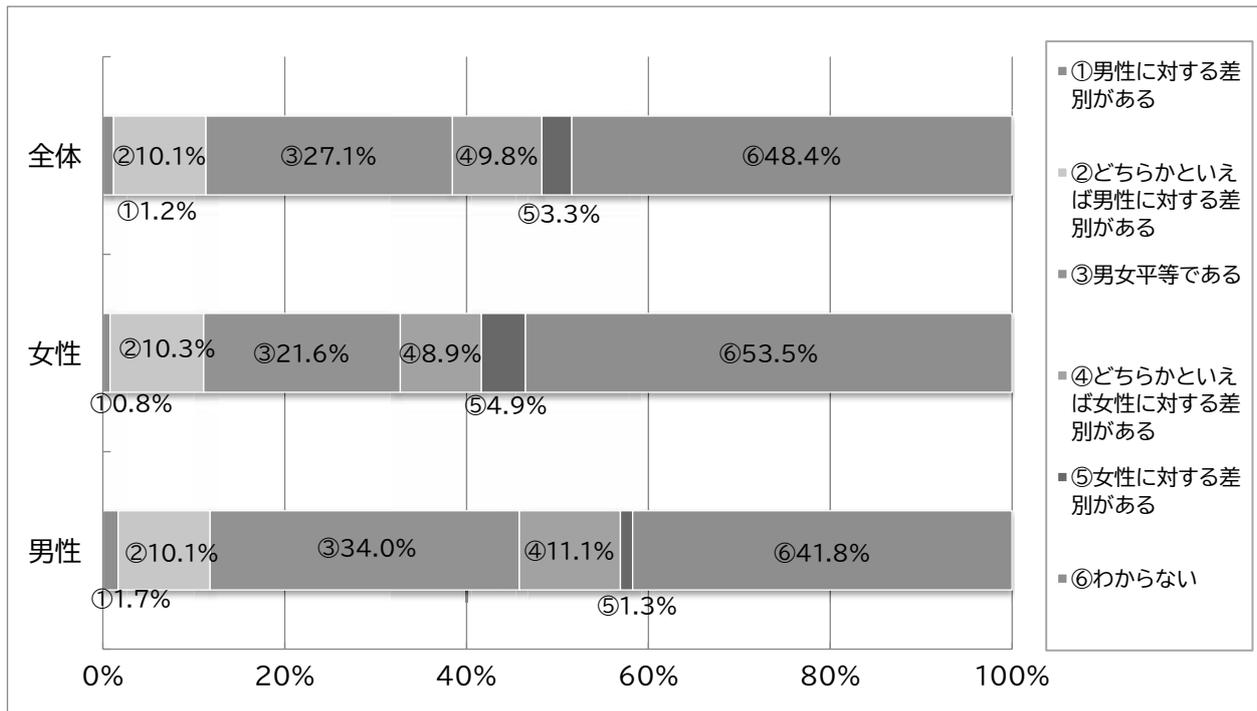
■令和4年度調査

問2(キ) 地域の活動や行事で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(○は1つ)



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

問2(カ) 主に目黒区内における防災活動の分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

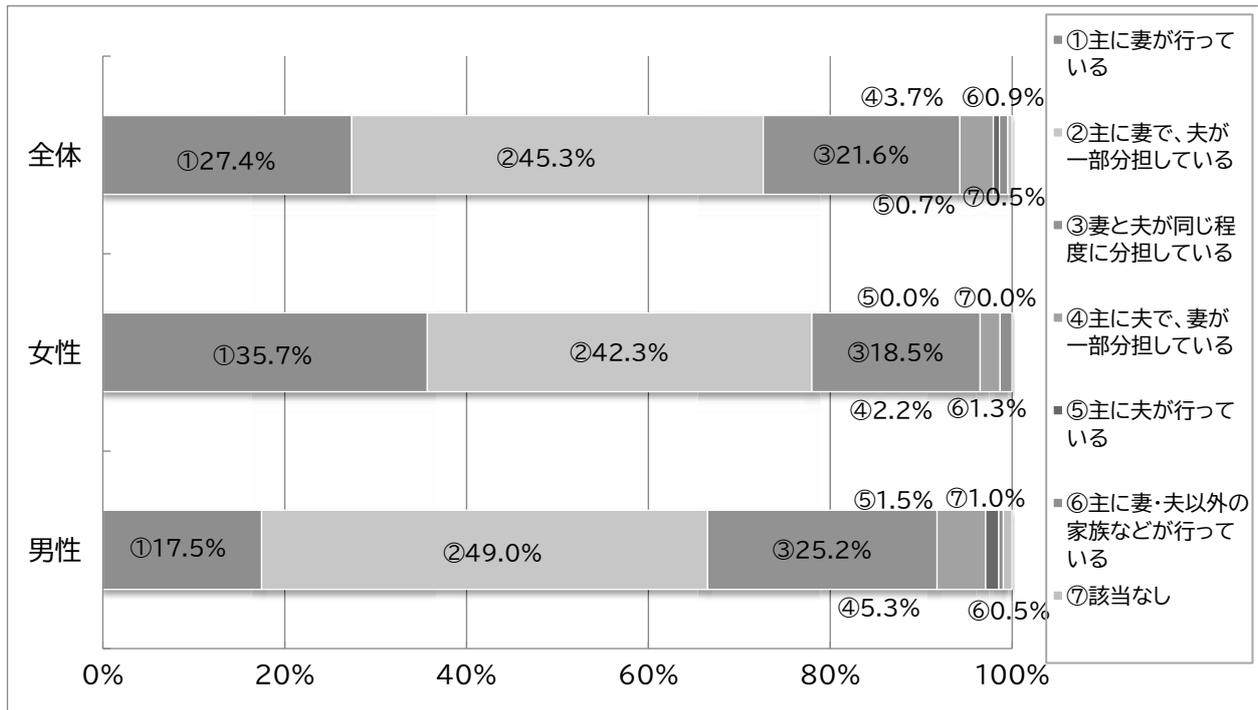
[問2で一つでも「男性に対する差別がある」「女性に対する差別がある」と回答したかたのみ]
問2-1 その理由や具体的な事例について簡単に(箇条書き等で)記入してください。

<主な意見>

- ・家事について、女性の負担が多いのが当たり前という空気感がある。
- ・家庭生活は女性、仕事は男性が主で前者は男性(例えば専業主夫に対する差別)、後者は女性(女性活躍推進が進まない、リーダー層の女性不足)に対する差別がある。
- ・管理職以上において女性の比率が少ない。
- ・職場において出産後はどうしても女性の労働にかけられる時間が制限されるため、差別というより不利になっている印象である。
- ・教育現場で性に対する偏見(理系=男性など)がある。
- ・学校の保護者会などで、暗黙の了解で女性が役割を担うべきとされている場面がある。
- ・政治は立候補者段階で男性優位であり、上層(国政)に近づくほど顕著である。
- ・政治家による女性蔑視発言が多い。
- ・町会活動を見ていると性別による役割分担が固定化されていて、女性は常に後方支援役で旧態依然としている。
- ・地域活動に参加した際に既婚か未婚かを問われるなど、活動と関係ない質問をされる。
- ・防災活動は消防団など男性が主体であるように思う。
- ・防災は体力差もありやむを得ないかもしれないが、ほぼ女性の活動を見たことがない。

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]

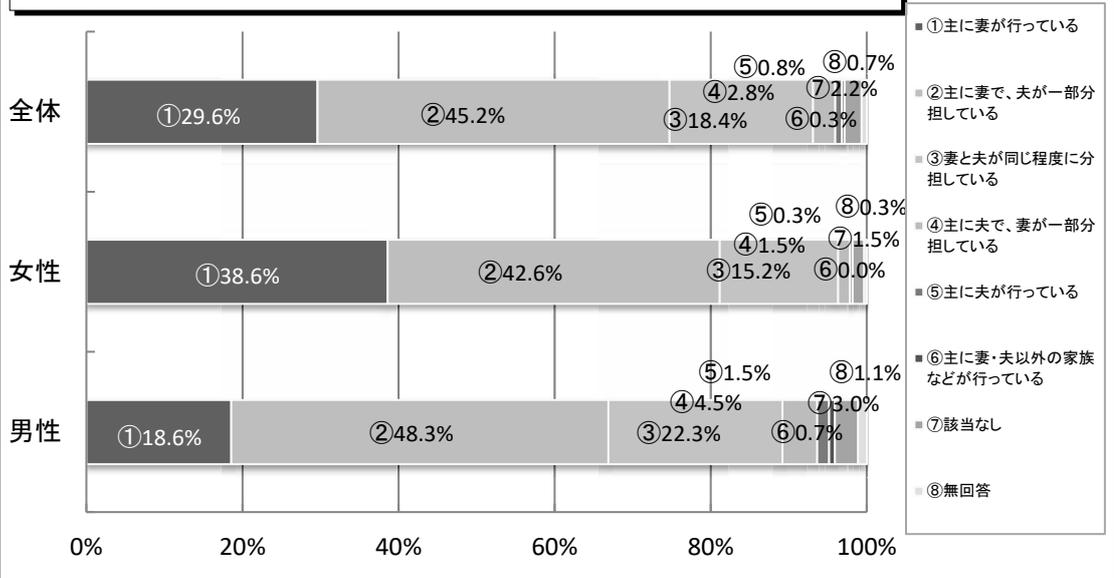
問3(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 435 女性 N= 227 男性 N= 206 それ以外 N= 2

■令和4年度調査

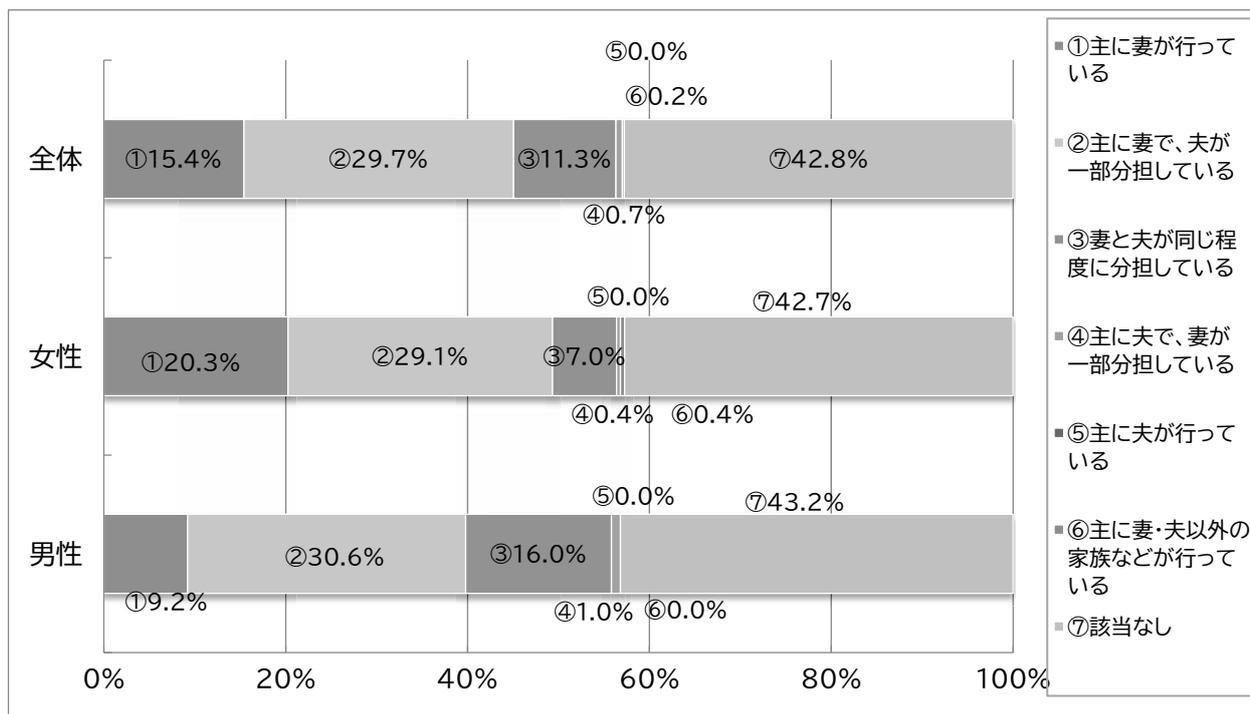
問4(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(○は1つ)



全体 N= 598 女性 N= 329 男性 N= 269

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]

問3(イ) あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。(単一回答)

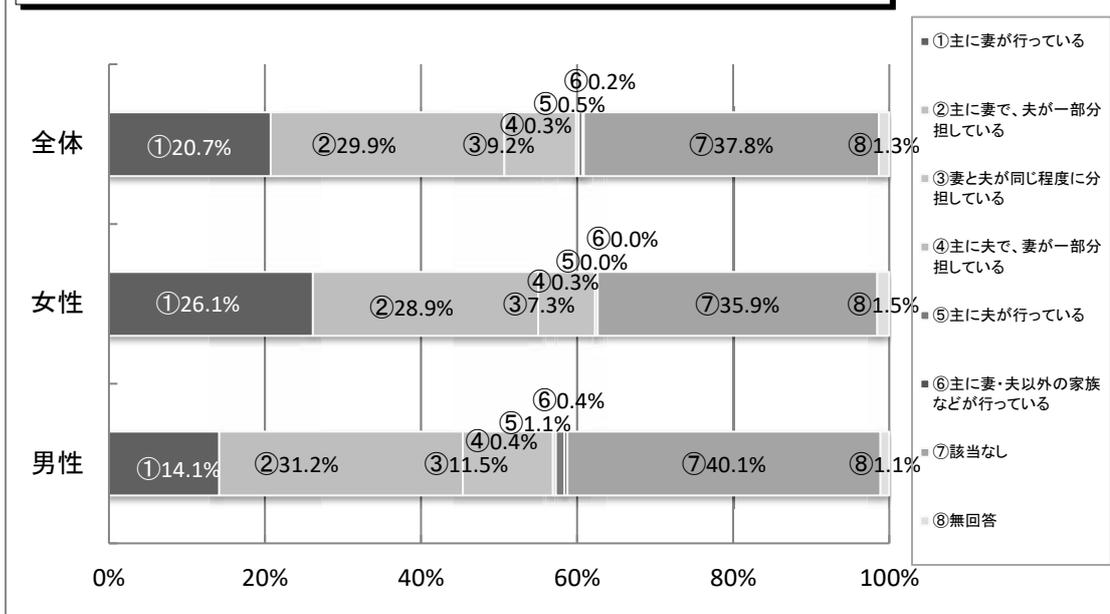


全体 N= 435 女性 N= 227 男性 N= 206 それ以外 N= 2

育児の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は女性が20.3%、男性が9.2%であり、男女差がある。

■令和4年度調査

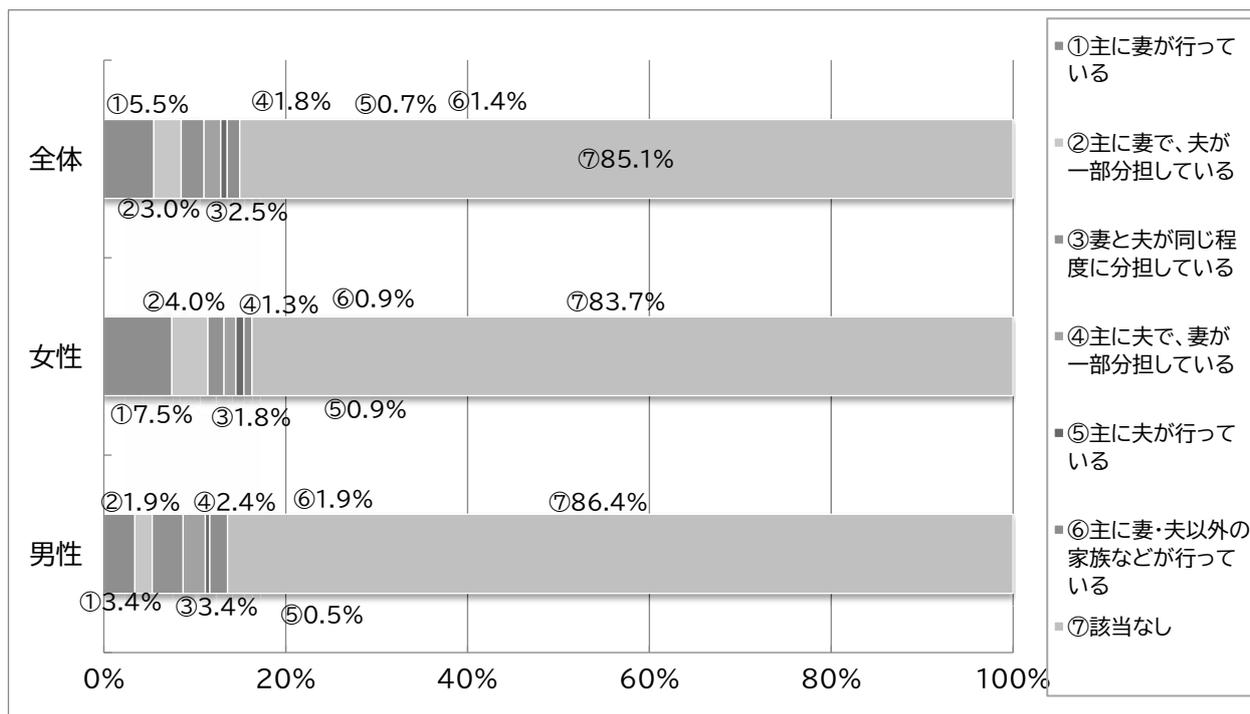
問4 (イ) あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。(○は1つ)



全体 N= 598 女性 N= 329 男性 N= 269

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ]

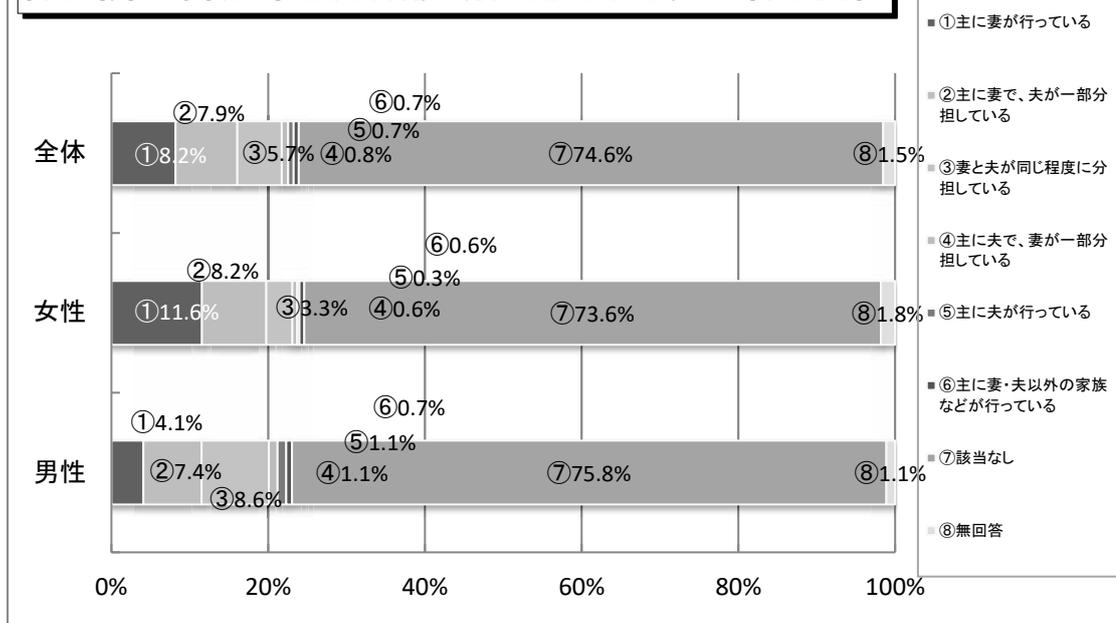
問3(ウ) あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 435 女性 N= 227 男性 N= 206 それ以外 N= 2

■令和4年度調査

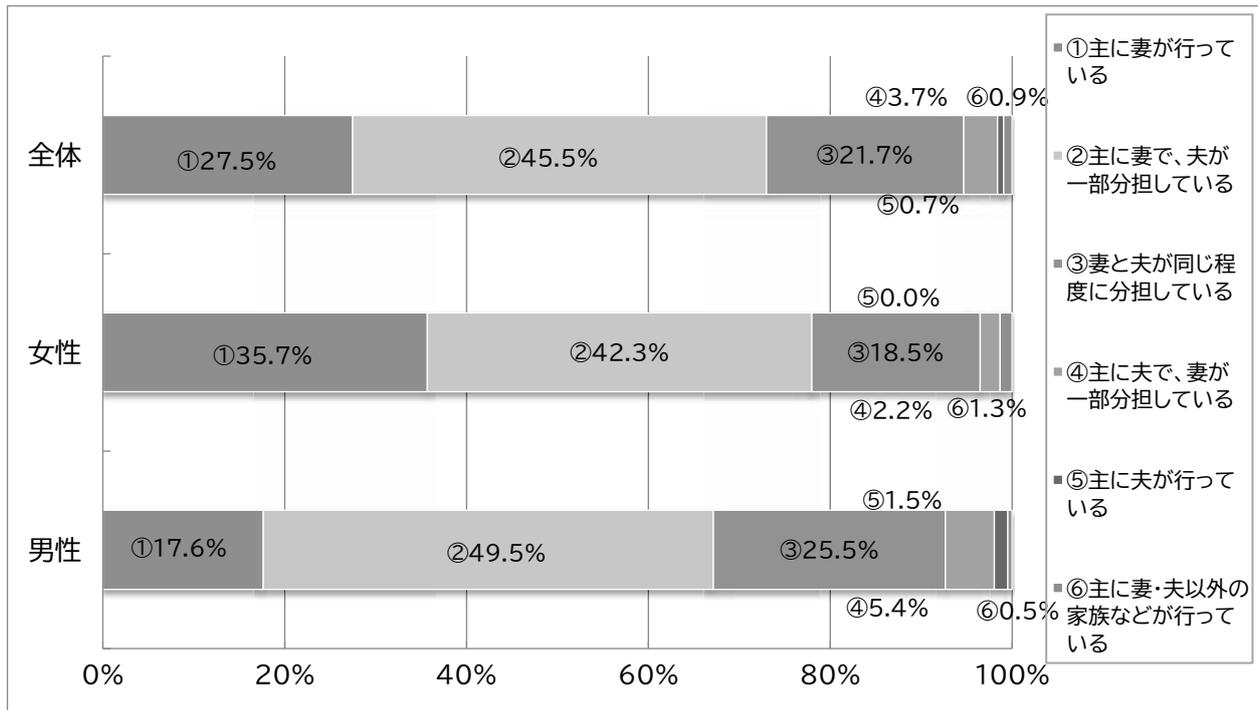
問4(ウ) あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。(○は1つ)



全体 N= 598 女性 N= 329 男性 N= 269

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ][該当なしを除く]

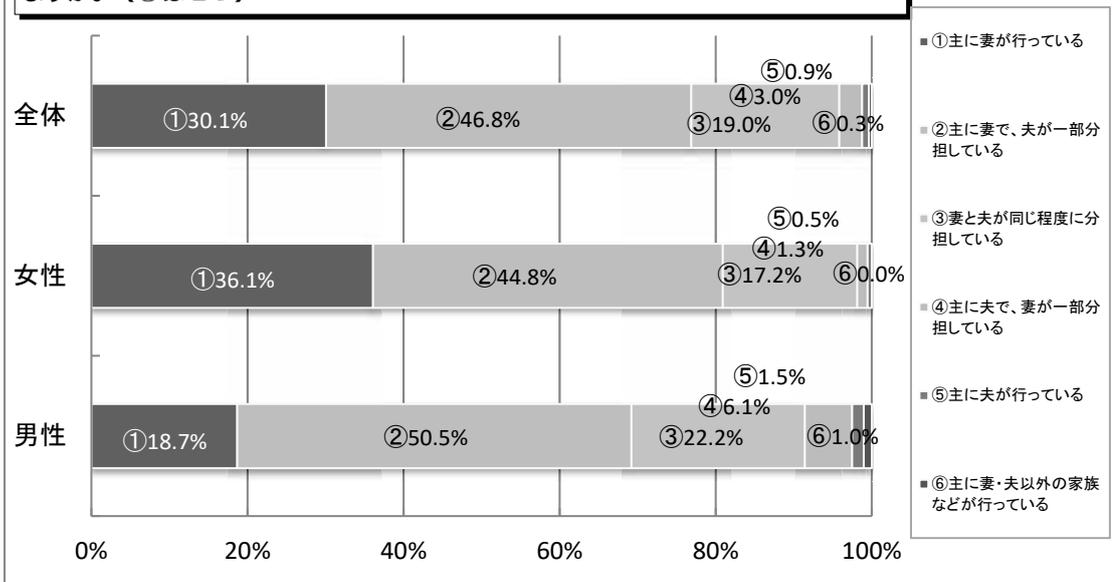
問3(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 433 女性 N= 227 男性 N= 204 それ以外 N= 2

■令和4年度調査

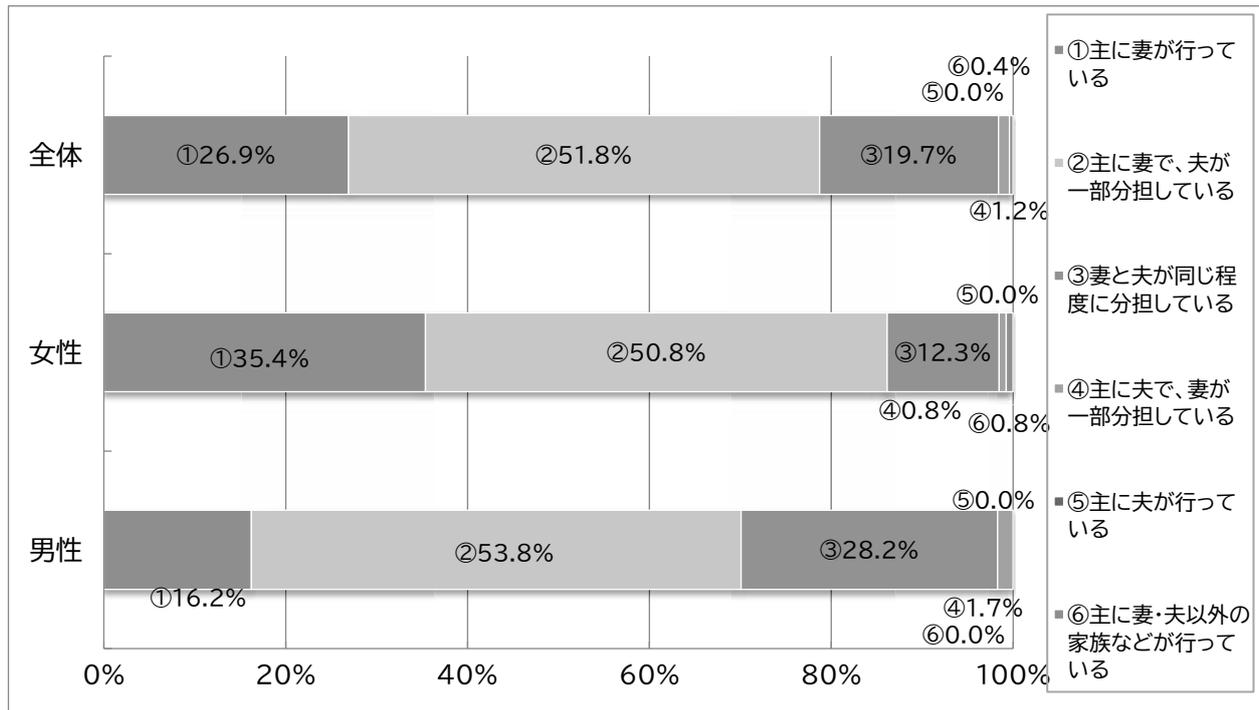
問4(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(○は1つ)



全体 N= 575 女性 N= 377 男性 N= 198

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ][該当なしを除く]

問3(イ) あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。(単一回答)

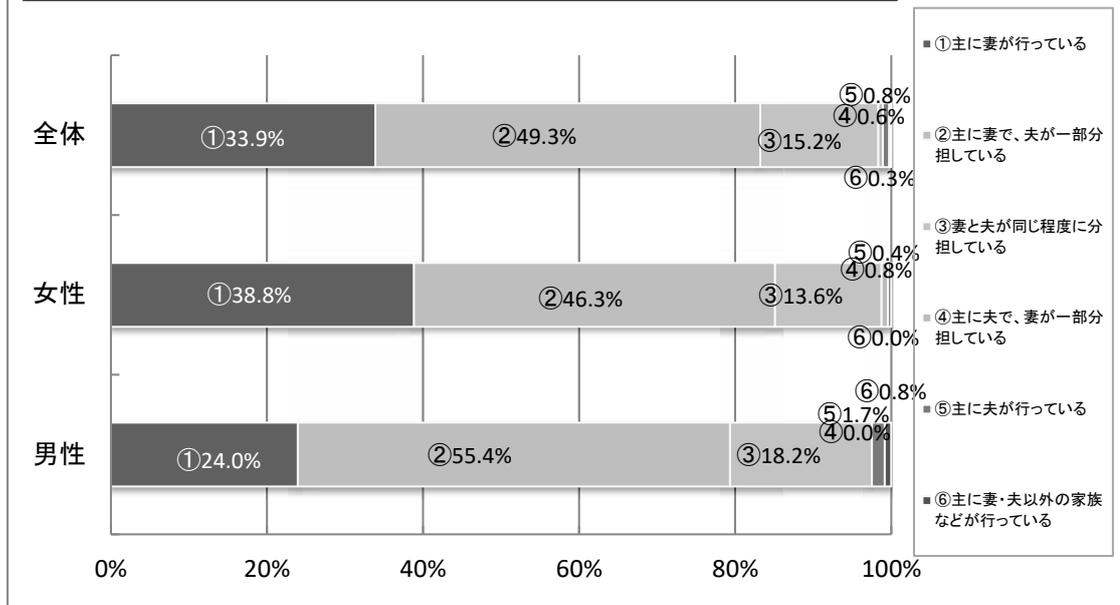


全体 N= 249 女性 N= 130 男性 N= 117 それ以外 N= 2

育児の分担について、「主に妻が行っている」と回答した人は女性が35.4%、男性が16.2%であり、男女差がある。

■令和4年度調査

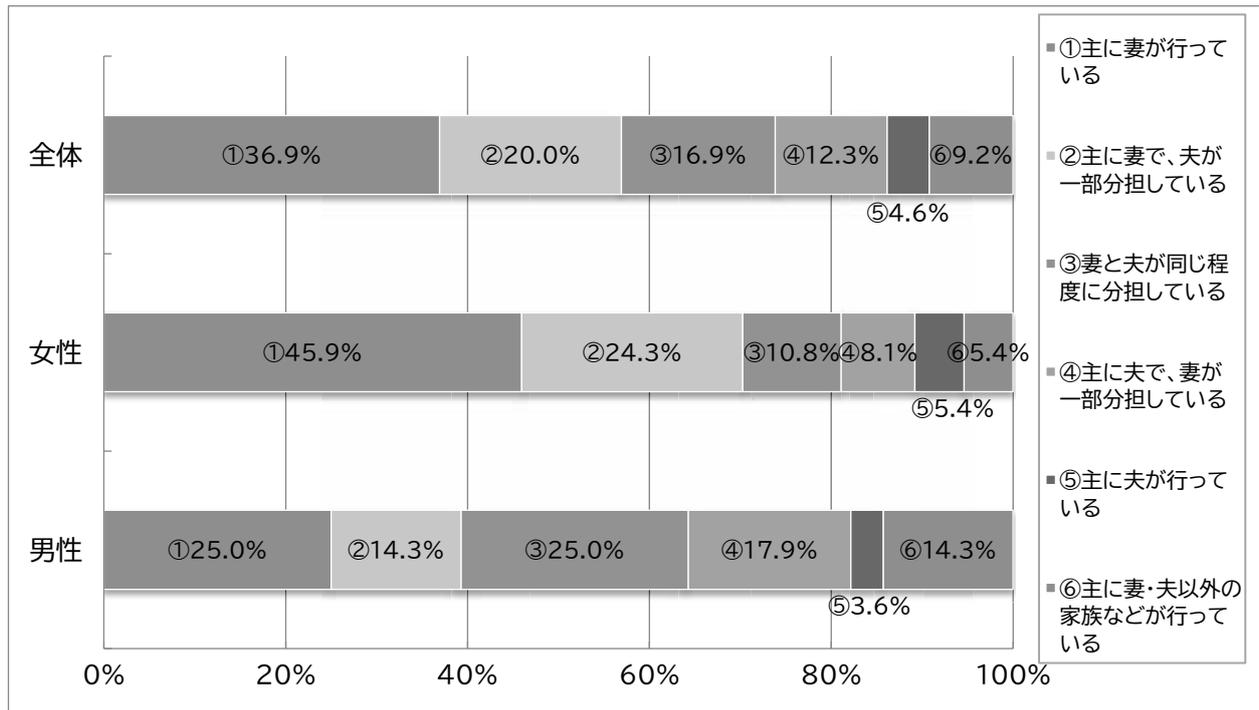
問4(イ) あなたの家庭では、育児の分担はどうしていますか。(○は1つ)



全体 N= 363 女性 N= 242 男性 N= 121

[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ][該当なしを除く]

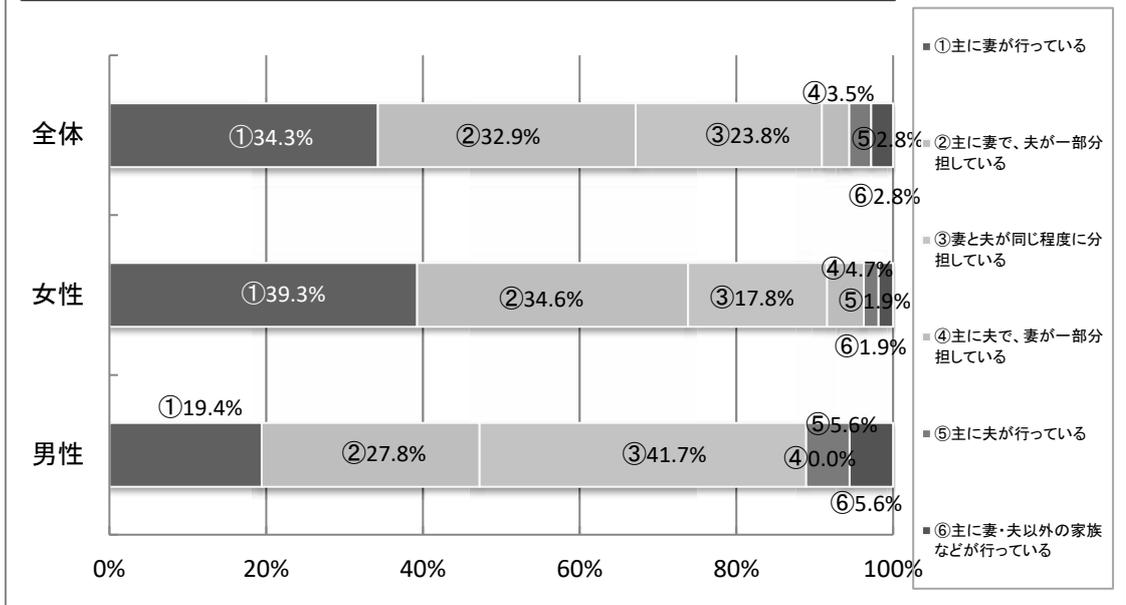
問3(ウ) あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 65 女性 N= 37 男性 N= 28 それ以外 N= 0

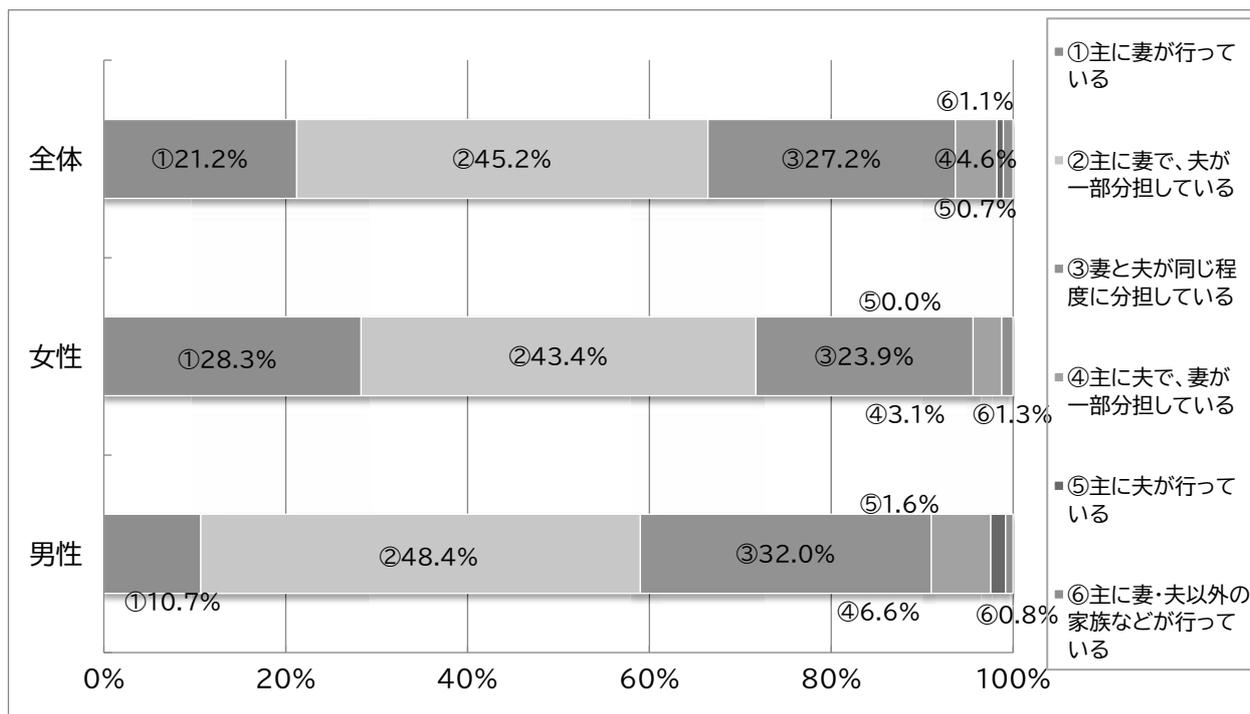
■令和4年度調査

問4(ウ) あなたの家庭では、介護の分担はどうしていますか。(○は1つ)



全体 N= 143 女性 N= 107 男性 N= 36

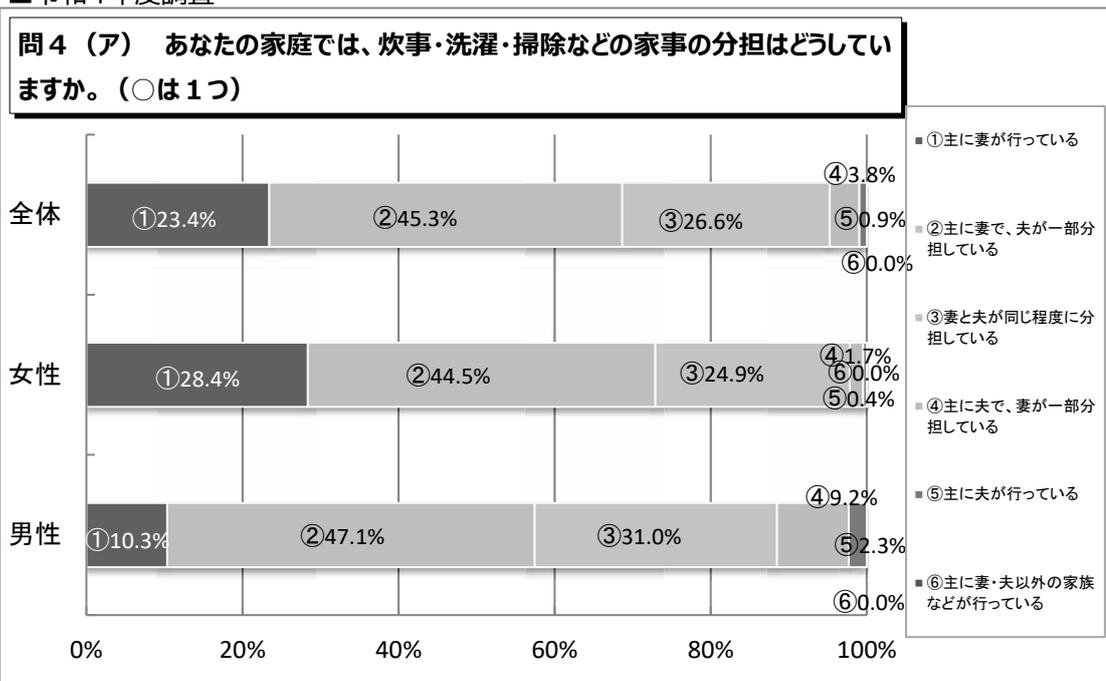
[配偶者(事実婚の異性パートナーを含む。)がいるかたのみ【該当なしを除く】【共働き世帯】]
 問3(ア) あなたの家庭では、炊事・洗濯・掃除などの家事の分担はどうしていますか。(単一回答)



全体 N= 283 女性 N= 159 男性 N= 122 それ以外 N= 2

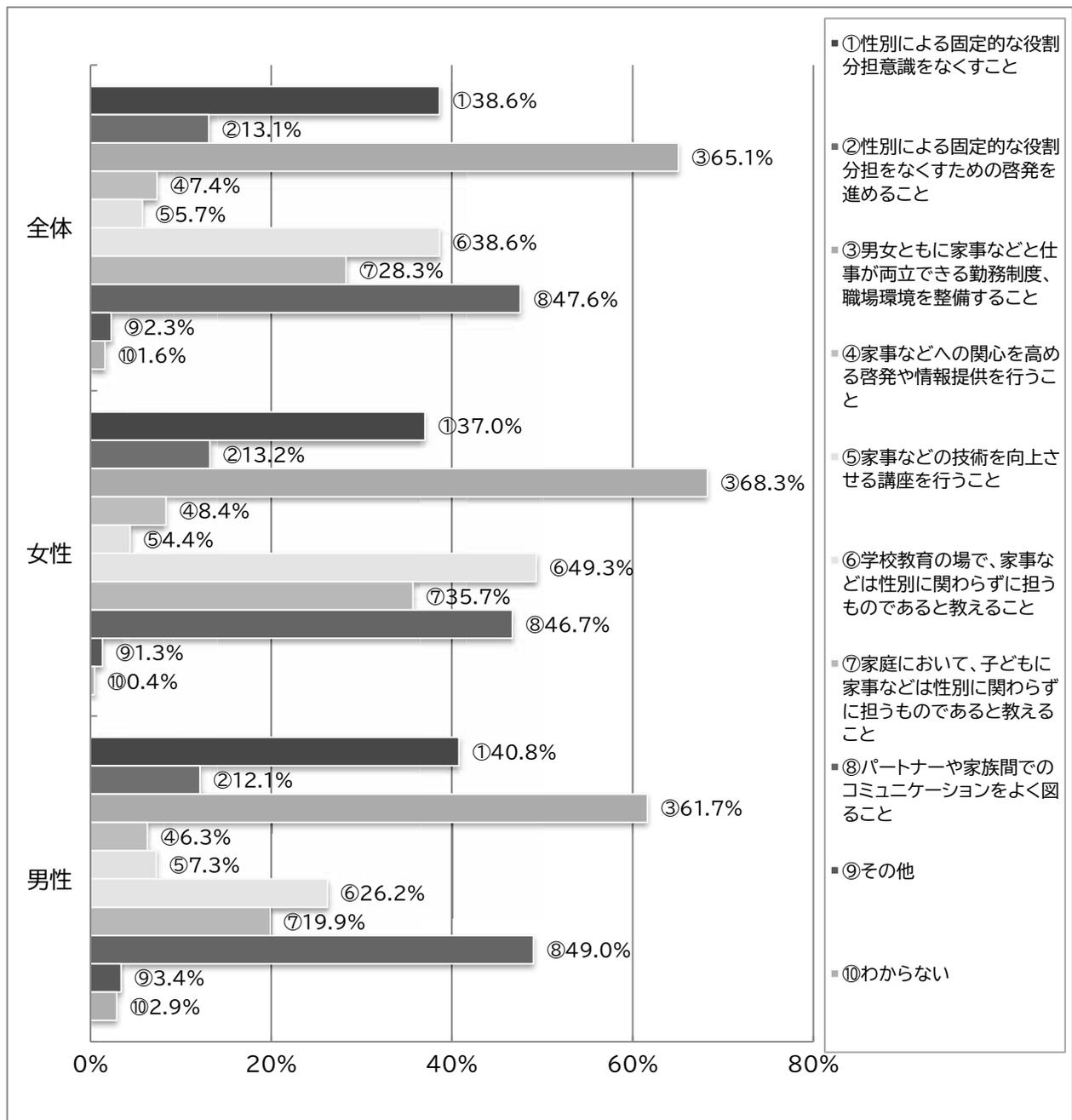
家事の分担について「主に妻が行っている」と回答した人は女性が28.3%、男性が10.7%であり、男女差がある。

■令和4年度調査



全体 N= 316 女性 N= 229 男性 N= 87

問4 家事・育児・介護(以下、「家事など」といいます。)の分担が一方の性別のパートナーに偏らないようにするためには、特にどんなことが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

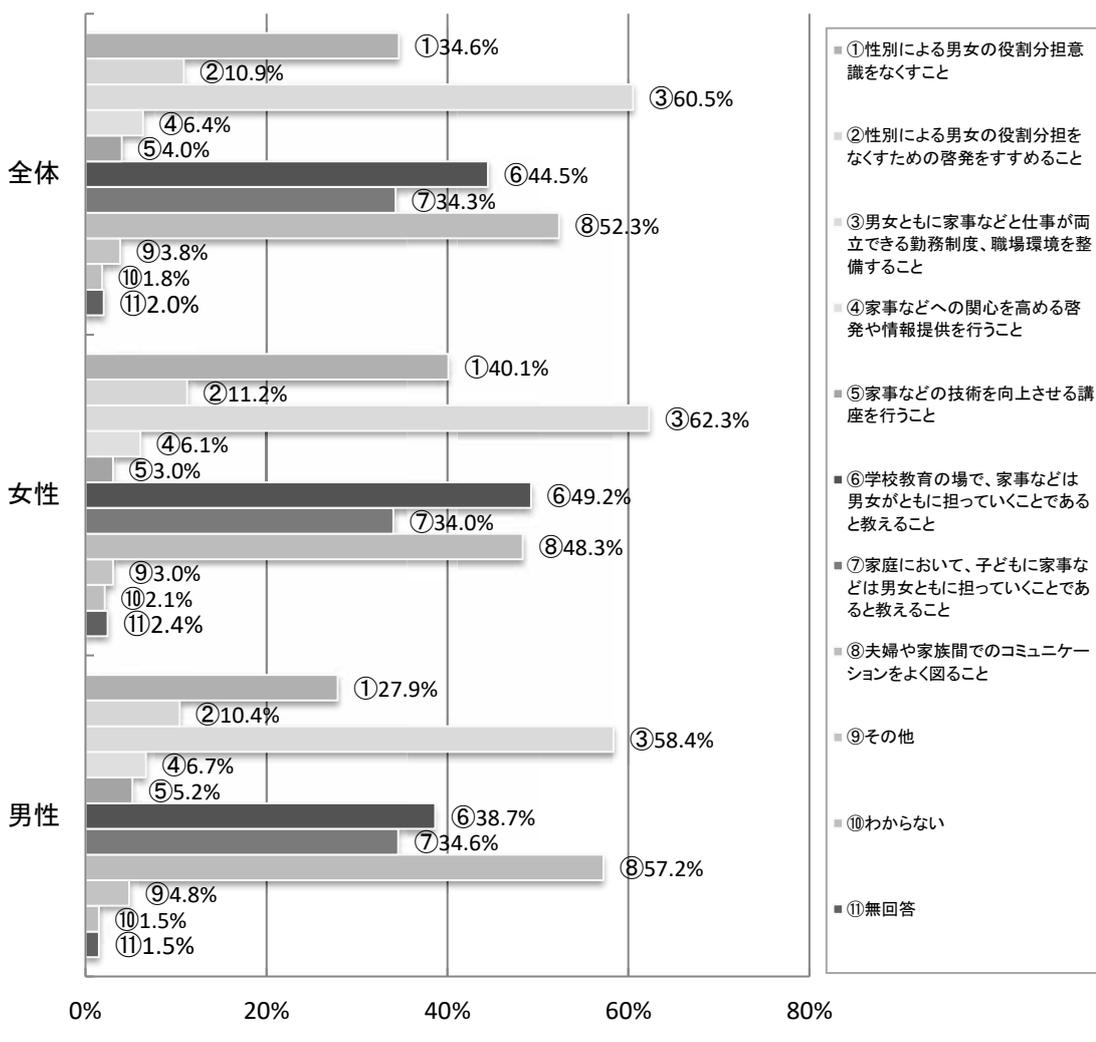


全体 N= 435 女性 N= 227 男性 N= 206 それ以外 N= 2

家事などの分担が一方の性別のパートナーに偏らないようにするために必要なこととして、「男女ともに家事などと仕事が両立できる勤務制度、職場環境を整備すること」(65.1%)という回答が全体で最も多い。次いで「パートナーや家族間でのコミュニケーションをよく図ること」(47.6%)と回答した人が多かった。

■令和4年度調査

問5 あなたは、家事・育児・介護（以下、「家事など」という。）の分担が一方の配偶者に偏らないようにするためには、特にどんなことが必要だと思いますか。（○は3つまで）

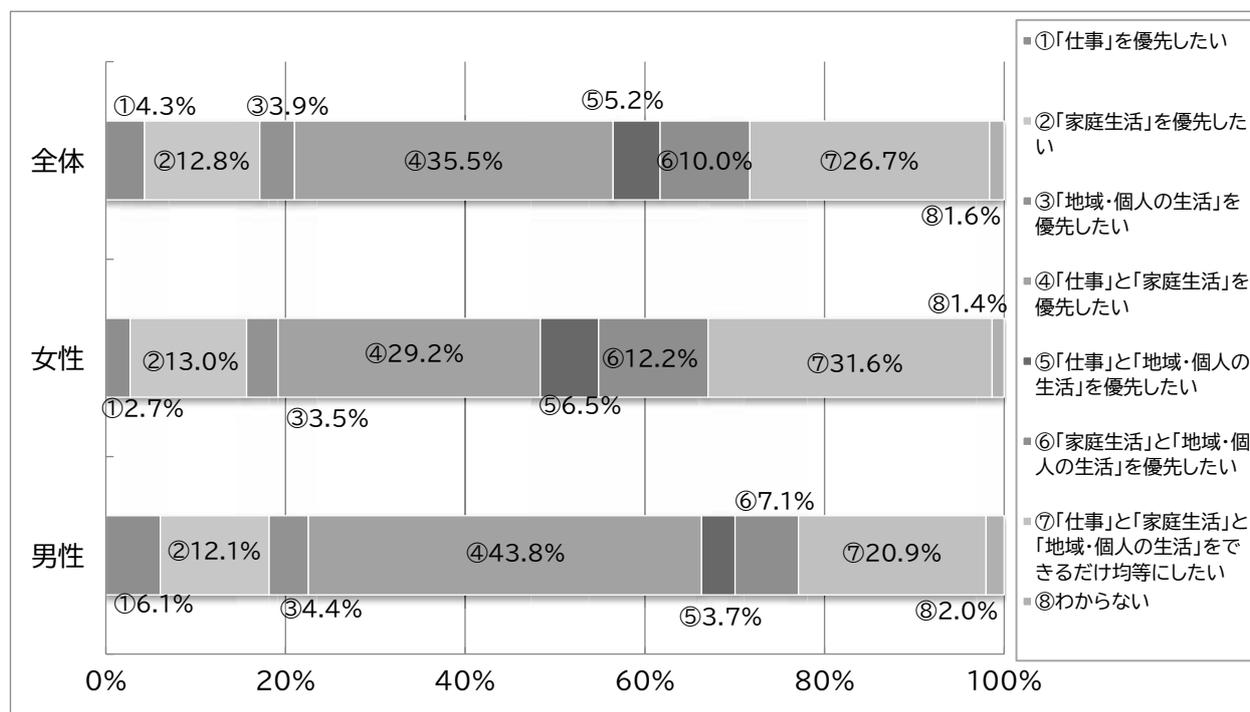


- ①性別による男女の役割分担意識をなくすこと
- ②性別による男女の役割分担をなくすための啓発をすすめること
- ③男女ともに家事などと仕事が両立できる勤務制度、職場環境を整備すること
- ④家事などへの関心を高める啓発や情報提供を行うこと
- ⑤家事などの技術を向上させる講座を行うこと
- ⑥学校教育の場で、家事などは男女がともに担っていくことであると教えること
- ⑦家庭において、子どもに家事などは男女ともに担っていくことであると教えること
- ⑧夫婦や家族間でのコミュニケーションをよく図ること
- ⑨その他
- ⑩わからない
- ⑪無回答

全体 N= 598 女性 N= 329 男性 N= 269

【Ⅱ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)】

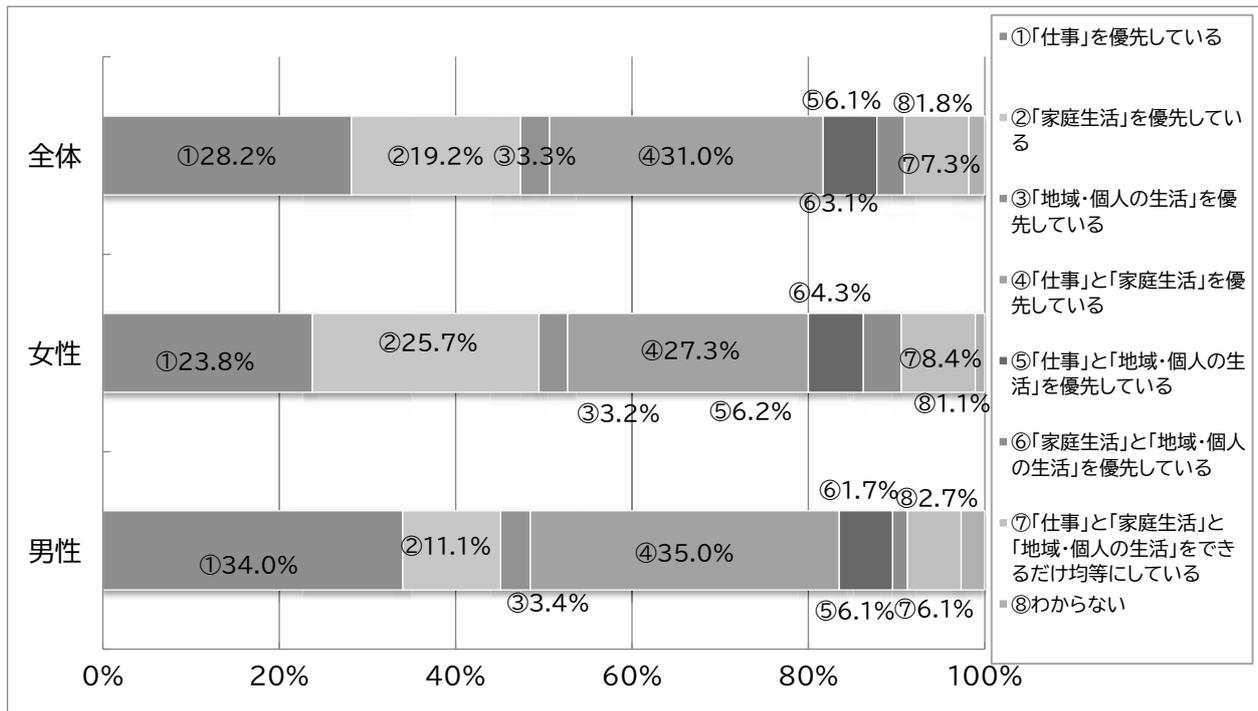
問5 人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動への参加、自己啓発など)のバランスについて、あなたの希望に最も近いものを選んでください。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

ワーク・ライフ・バランスの希望について、女性は「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をできるだけ均等にしたいという回答が最も多く（31.6%）、男性は「仕事」と「家庭生活」を優先したいという回答が多い（43.8%）ことから、「地域・個人の生活」の優先度合いに男女差がある。

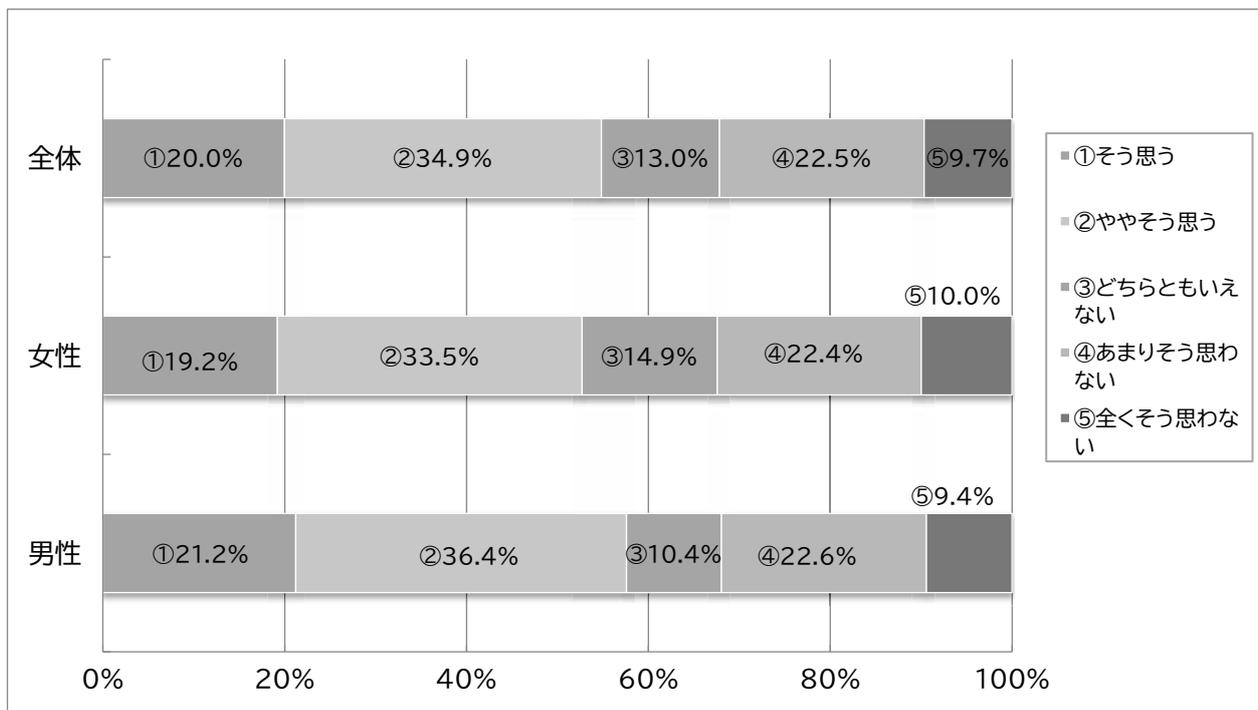
問6 人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動への参加、自己啓発など)のバランスについて、あなたの実際の状況に最も近いものを選んでください。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

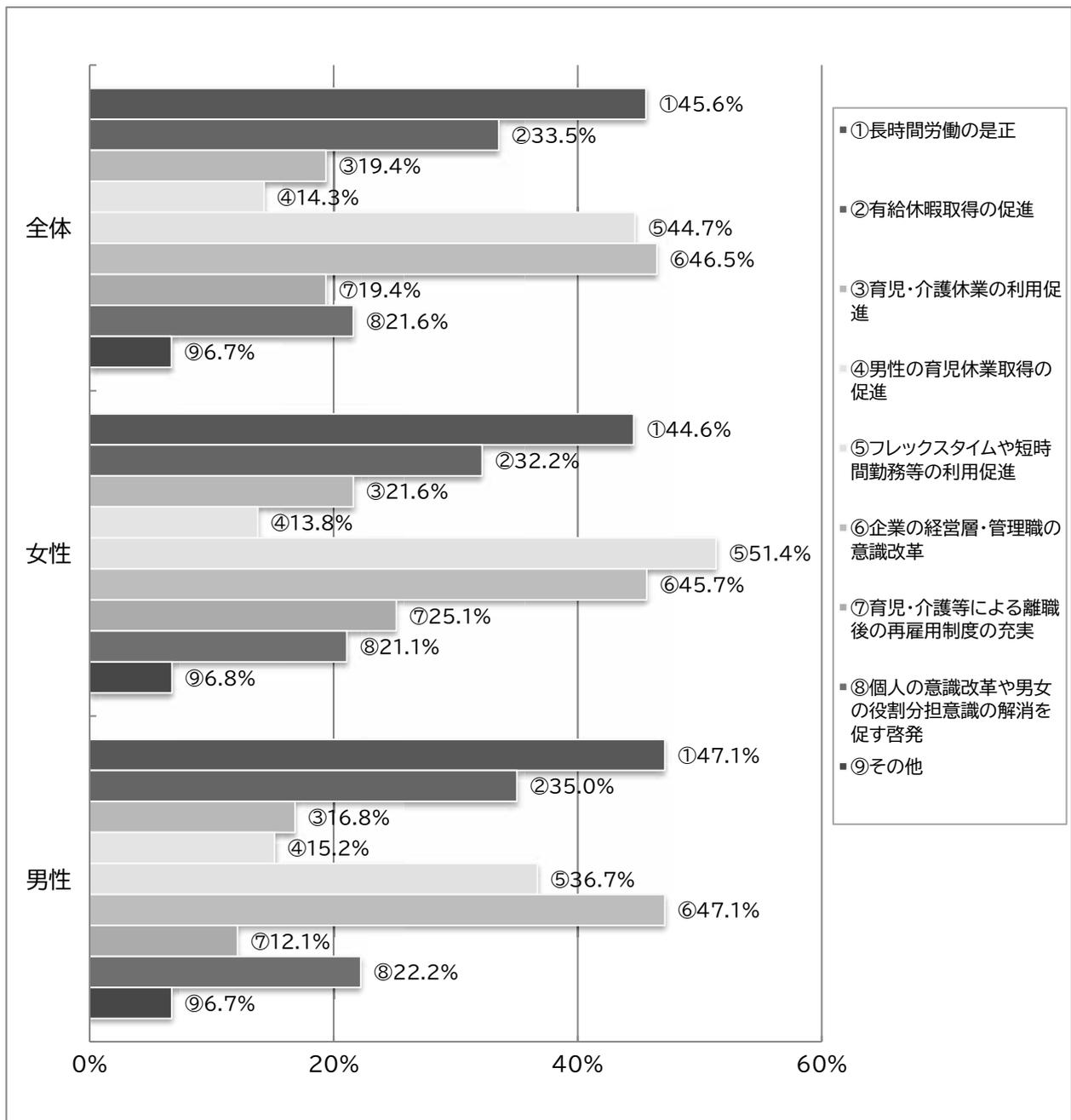
ワーク・ライフ・バランスの実際の状況について、「仕事」を優先していると回答した男性は34.0%、女性は23.8%であり、仕事を優先している人の割合に男女差がある。

問7 あなたは、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)がとれていると思いますか。(単一回答)



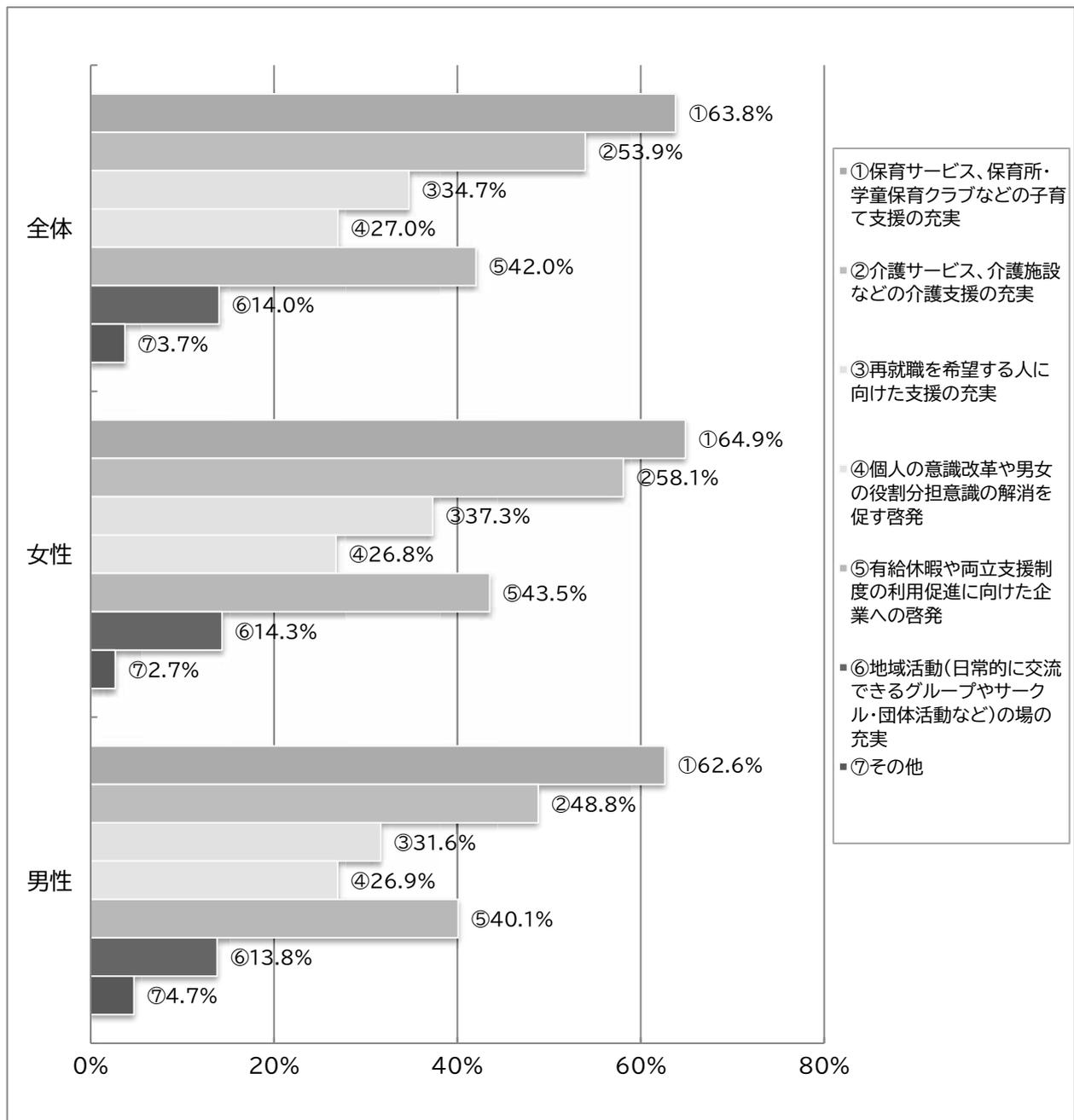
全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

問8 ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、働く場において特にどのような取組が必要だと思いますか。(回答は3つまで)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

問9 ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、行政・地域社会において特にどのような取組が必要だと思いますか。(回答は3つまで)

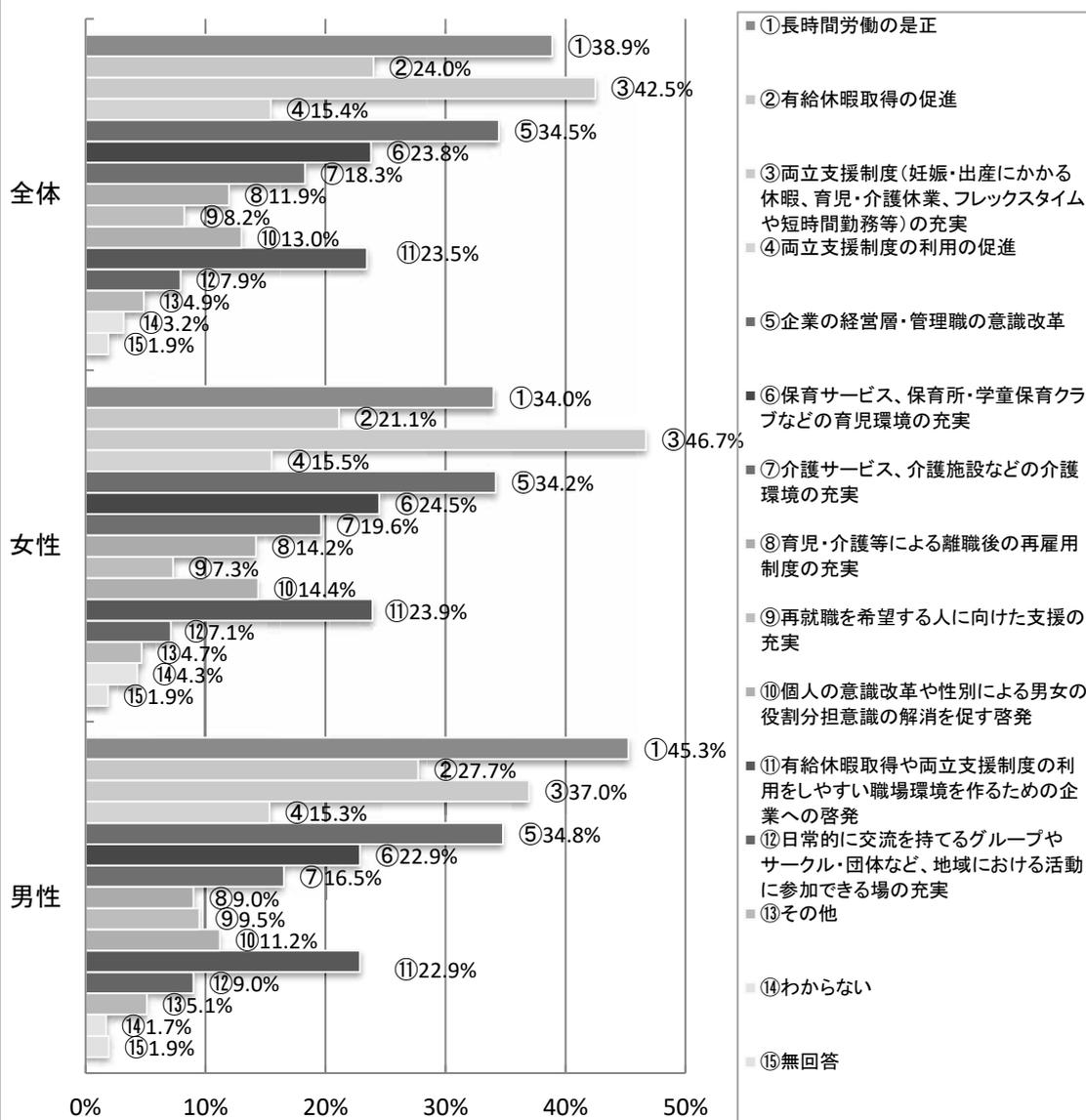


全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

ワーク・ライフ・バランスの実現に必要な行政・地域社会の取組について、「保育サービス、保育所・学童保育クラブなどの子育て支援の充実」(63.8%)と回答した人が最も多く、次に「介護サービス、介護施設などの介護支援の充実」(53.9%)という回答が多かった。

■令和4年度調査

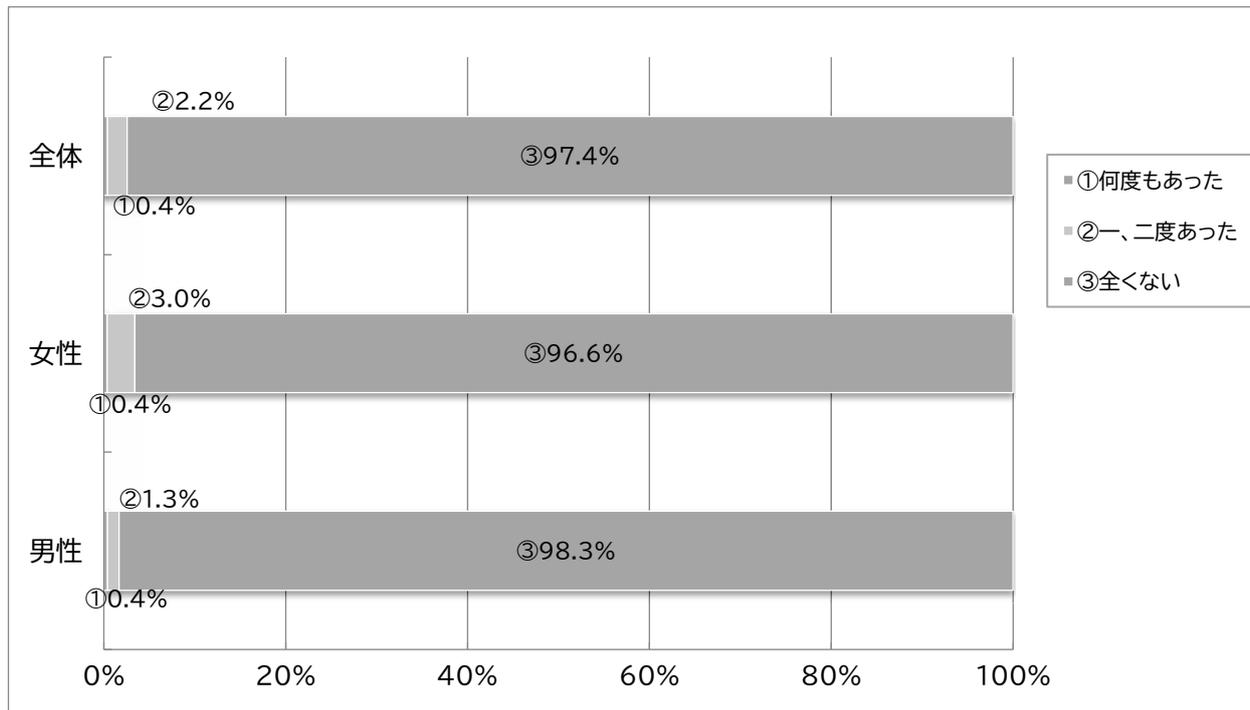
問7 あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)



全体 N = 946 女性 N = 535 男性 N = 411

【Ⅲ 人権・性の多様性の尊重】

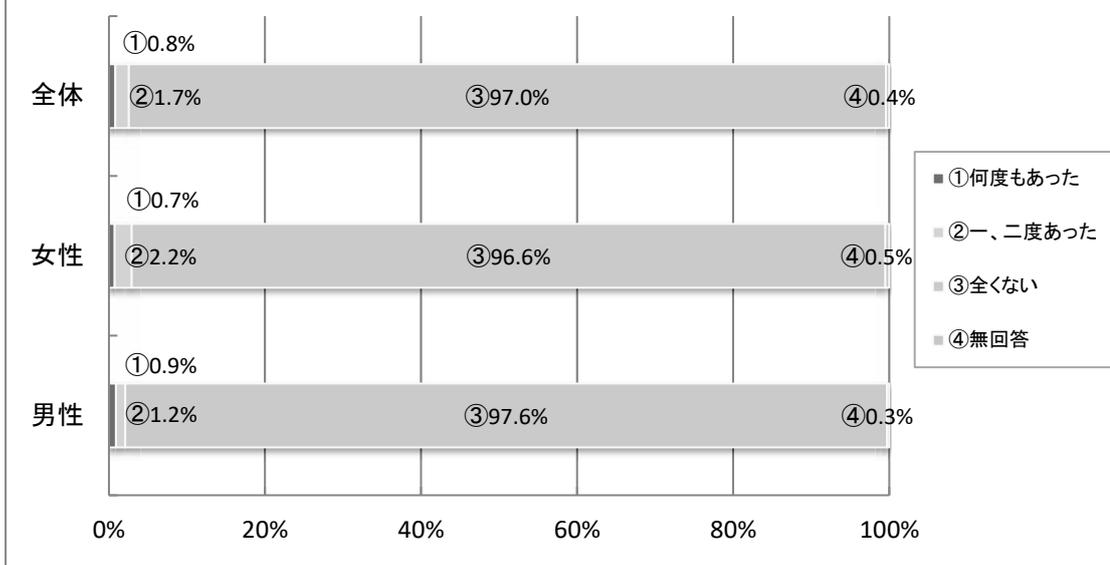
[パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)がいる(過去1年以内にいた)かたのみ]
問10(ア) あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、身体的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 505 女性 N= 265 男性 N= 238 それ以外 N= 2

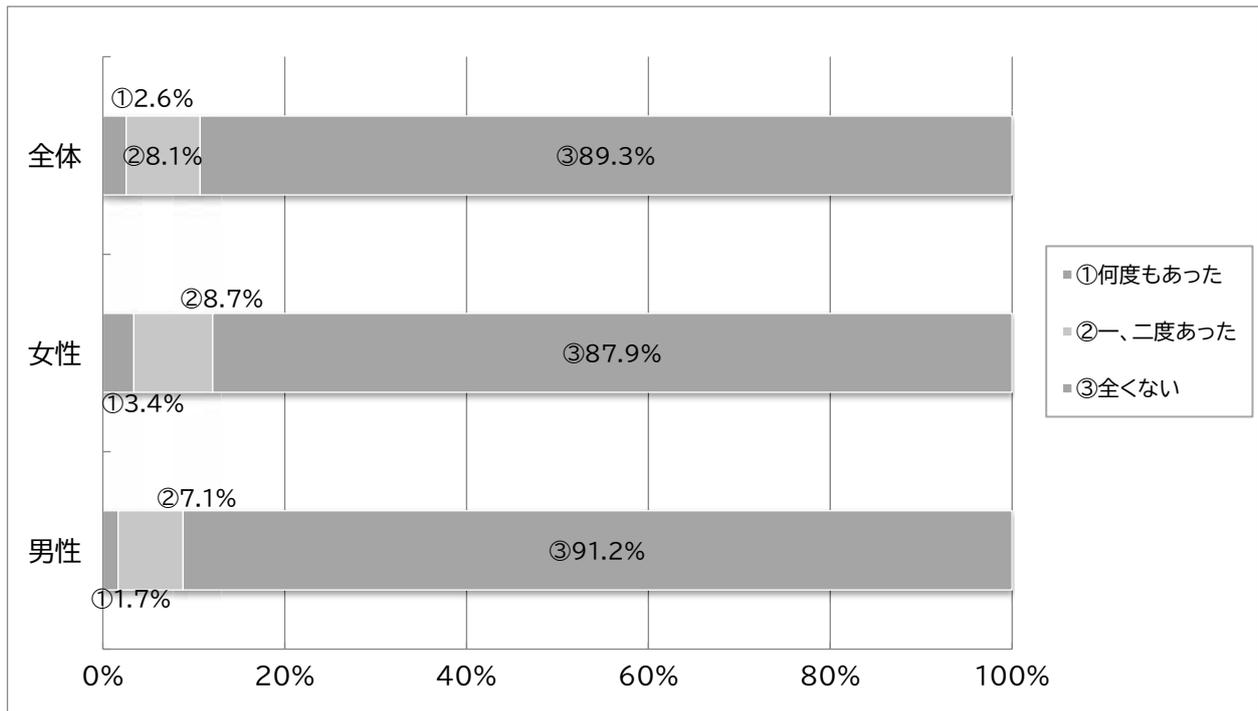
■ 令和4年度調査

問8 (ア) あなたはこの1年間に、配偶者等(事実婚のパートナーや交際相手を含む)から、次のようなこと(身体的暴力)をされたことがありますか。(○は1つ)



全体 N= 744 女性 N= 411 男性 N= 333

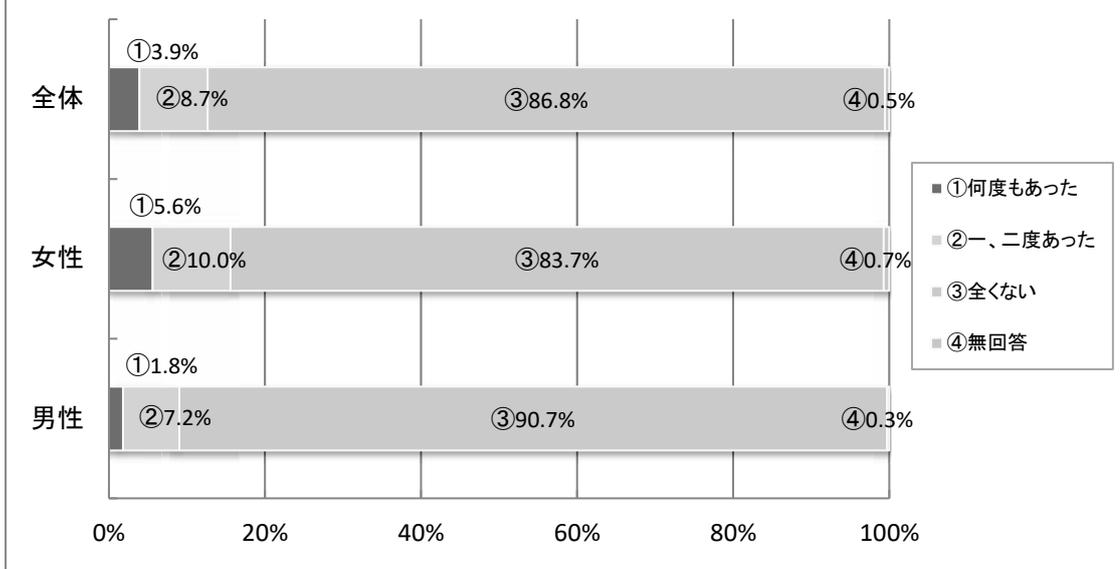
問10(イ) あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、精神的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 505 女性 N= 265 男性 N= 238 それ以外 N= 2

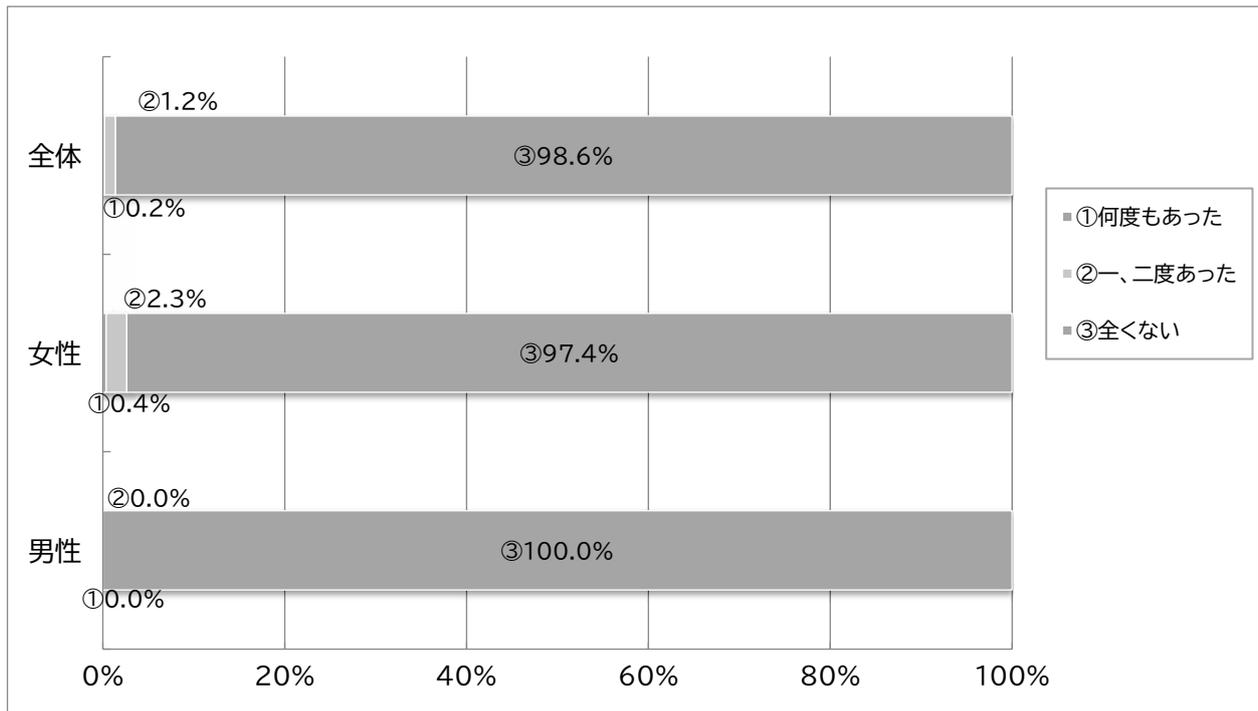
■ 令和4年度調査

問8 (イ) あなたはこの1年間に、配偶者等(事実婚のパートナーや交際相手を含む)から、次のようなこと(精神的暴力)をされたことがありますか。(○は1つ)



全体 N= 744 女性 N= 411 男性 N= 333

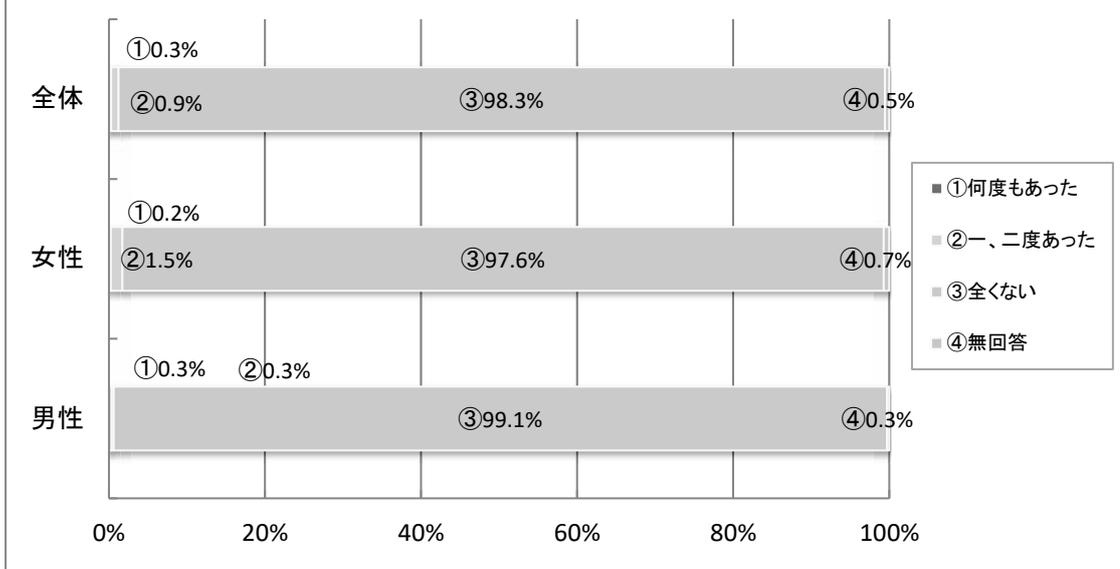
問10(ウ) あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、性的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 505 女性 N= 265 男性 N= 238 それ以外 N= 2

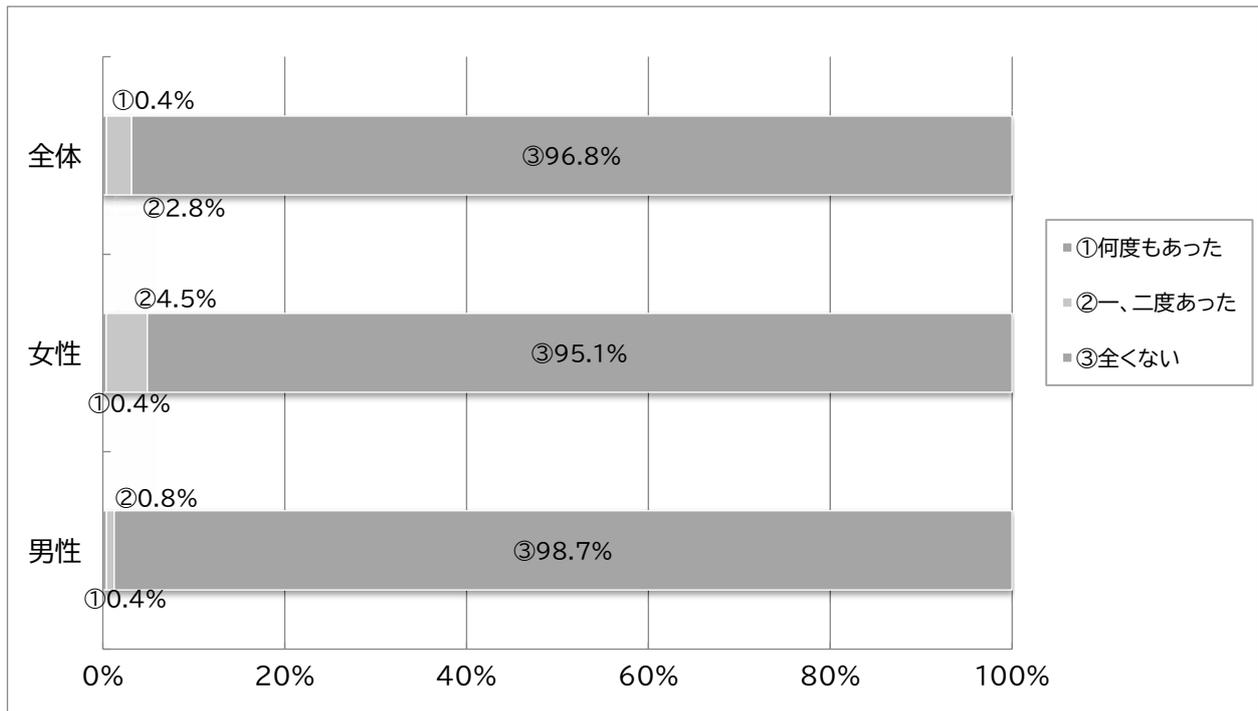
■ 令和4年度調査

問8 (ウ) あなたはこの1年間に、配偶者等(事実婚のパートナーや交際相手を含む)から、次のようなこと(性的暴力)をされたことがありますか。(○は1つ)



全体 N= 744 女性 N= 411 男性 N= 333

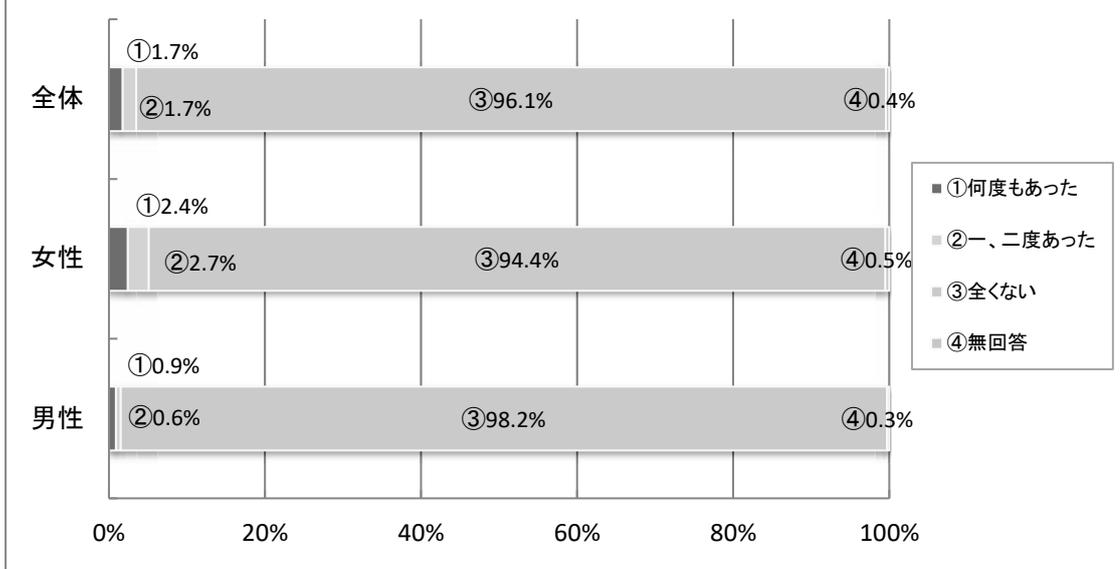
問10(エ) あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、経済的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 505 女性 N= 265 男性 N= 238 それ以外 N= 2

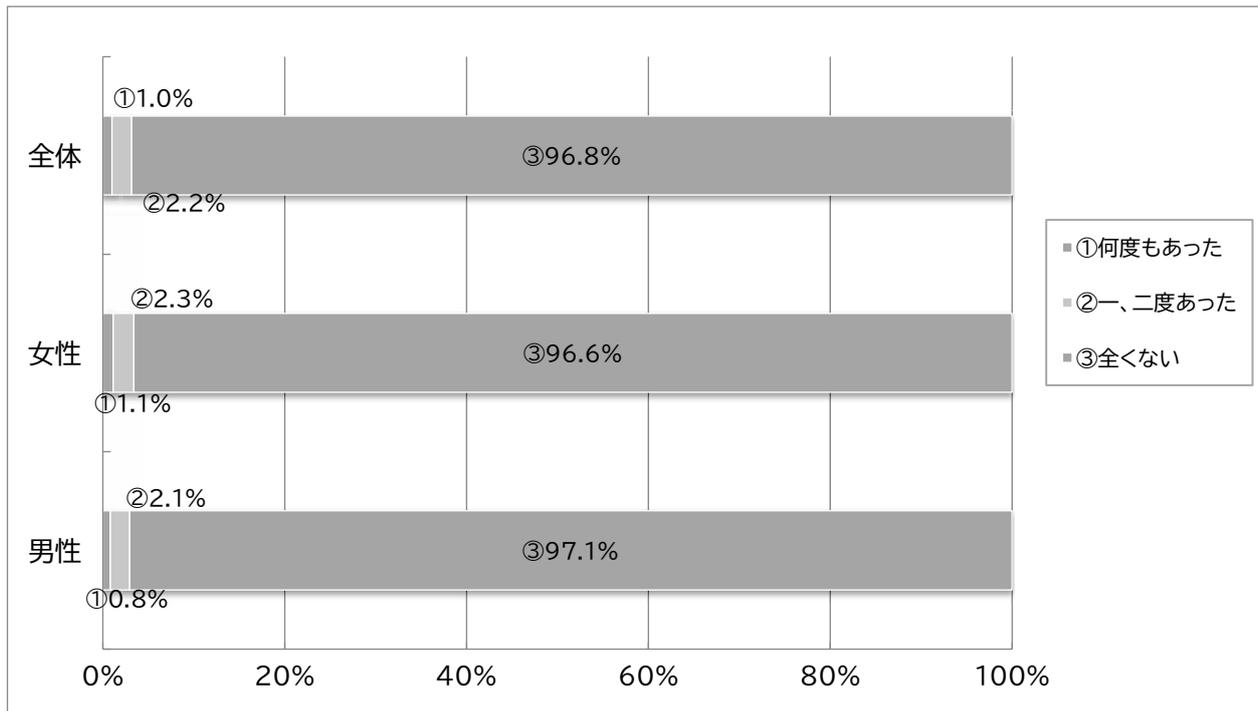
■ 令和4年度調査

問 8 (エ) あなたはこの1年間に、配偶者等(事実婚のパートナーや交際相手を含む)から、次のようなこと(経済的暴力)をされたことがありますか。(○は1つ)



全体 N= 744 女性 N= 411 男性 N= 333

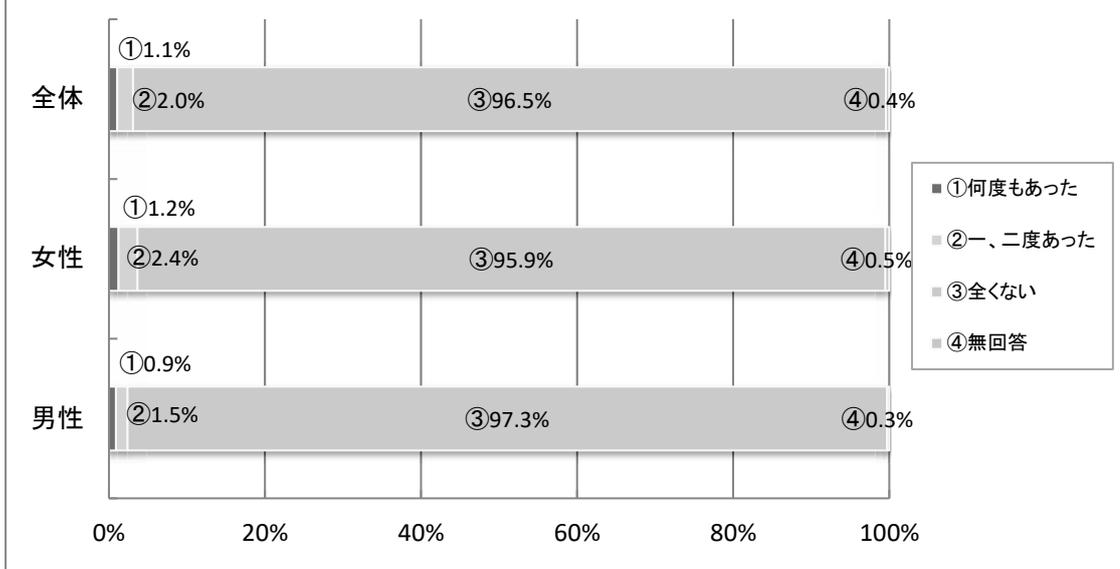
問10(オ) あなたはこの1年間に、パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)から、社会的暴力をされたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 505 女性 N= 265 男性 N= 238 それ以外 N= 2

■ 令和4年度調査

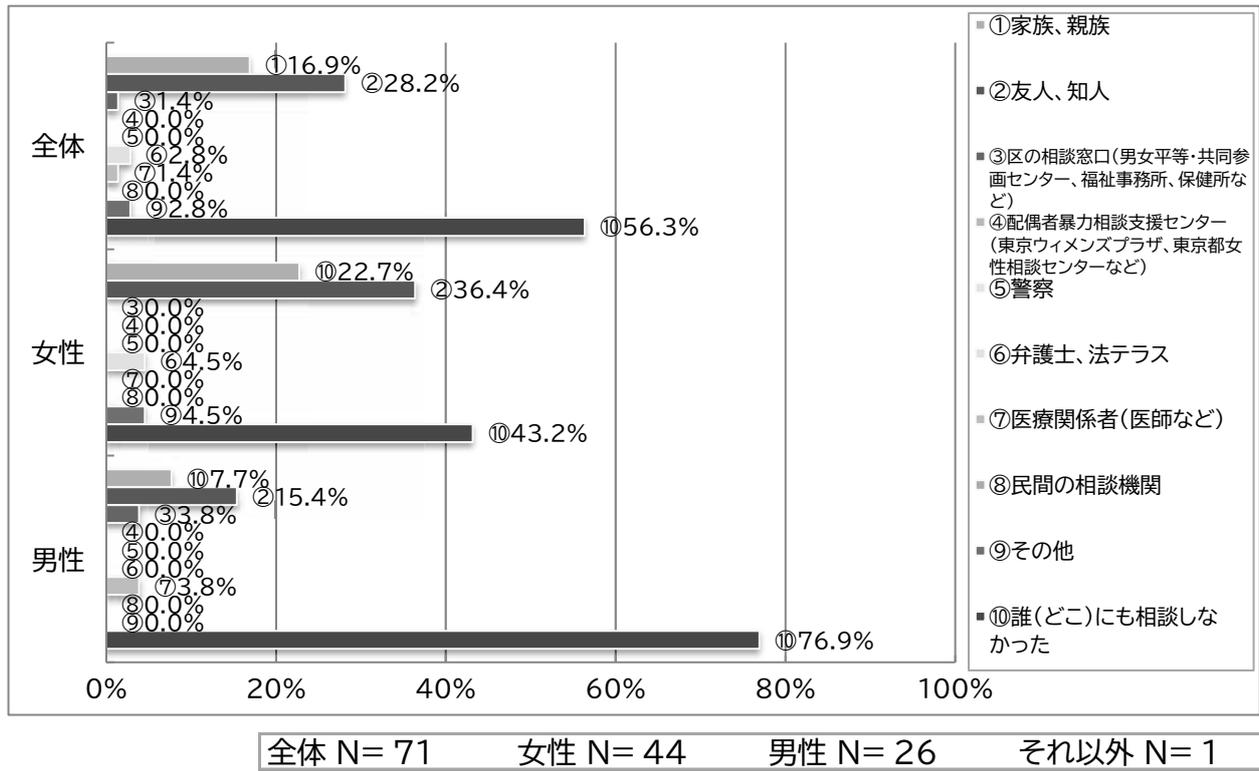
問8 (オ) あなたはこの1年間に、配偶者等(事実婚のパートナーや交際相手を含む)から、次のようなこと(社会的暴力)をされたことがありますか。(○は1つ)



全体 N= 744 女性 N= 411 男性 N= 333

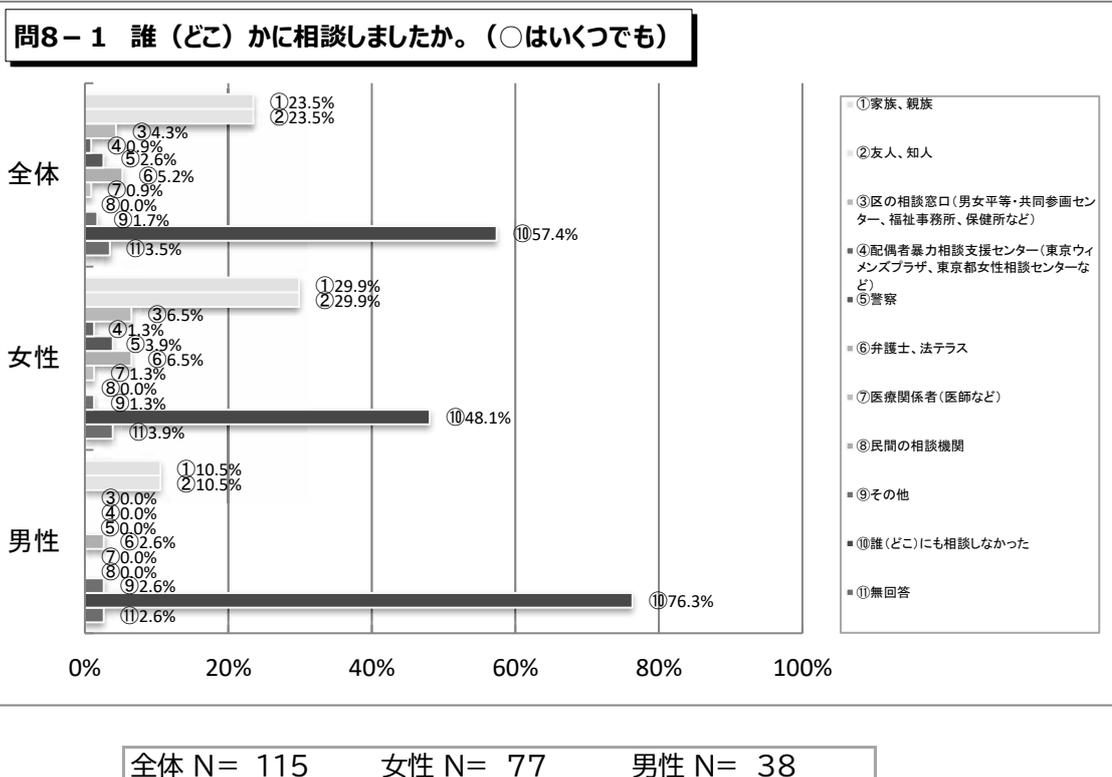
[(ア)から(オ)で一つでも「何度もあった」「一、二度あった」と回答した中で]

問10-1 誰(どこ)かに相談しましたか。(複数回答)



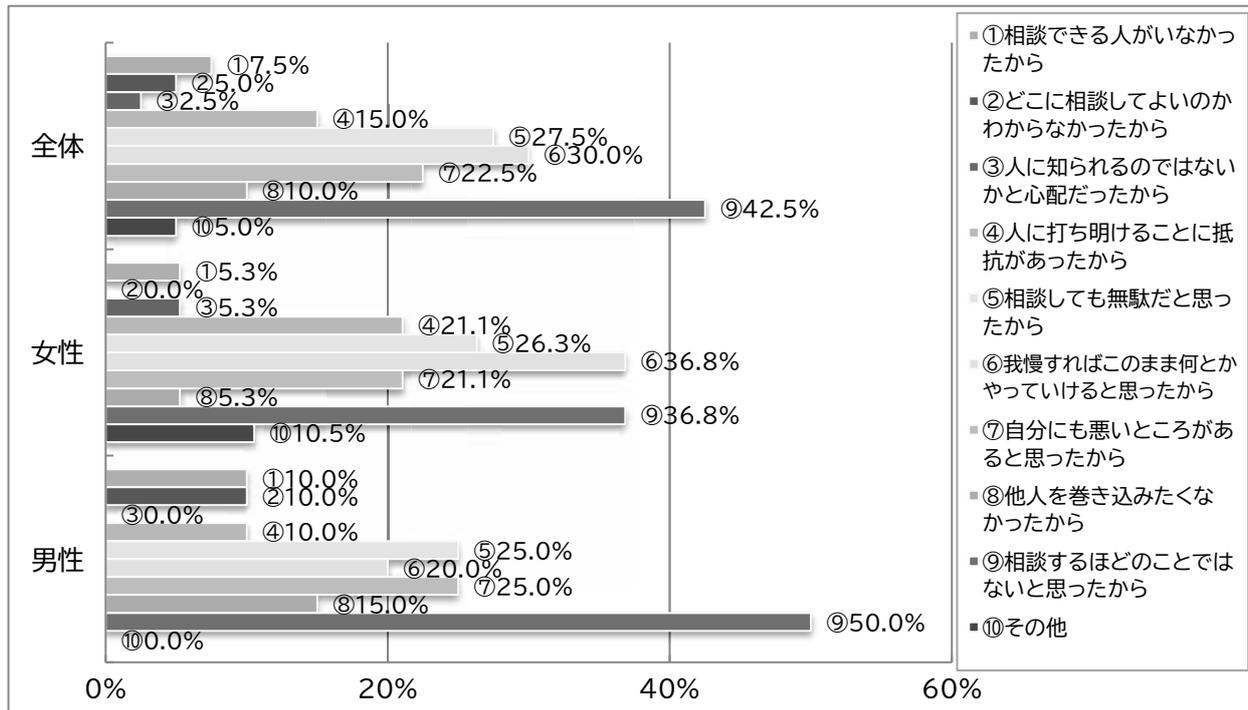
男女ともに「誰(どこ)にも相談しなかった」という回答が最も多いが、女性が43.2%、男性が76.9%であり、男女差も大きい。

■令和4年度調査



[問10-1で「誰(どこ)にも相談しなかった」と回答した中で]

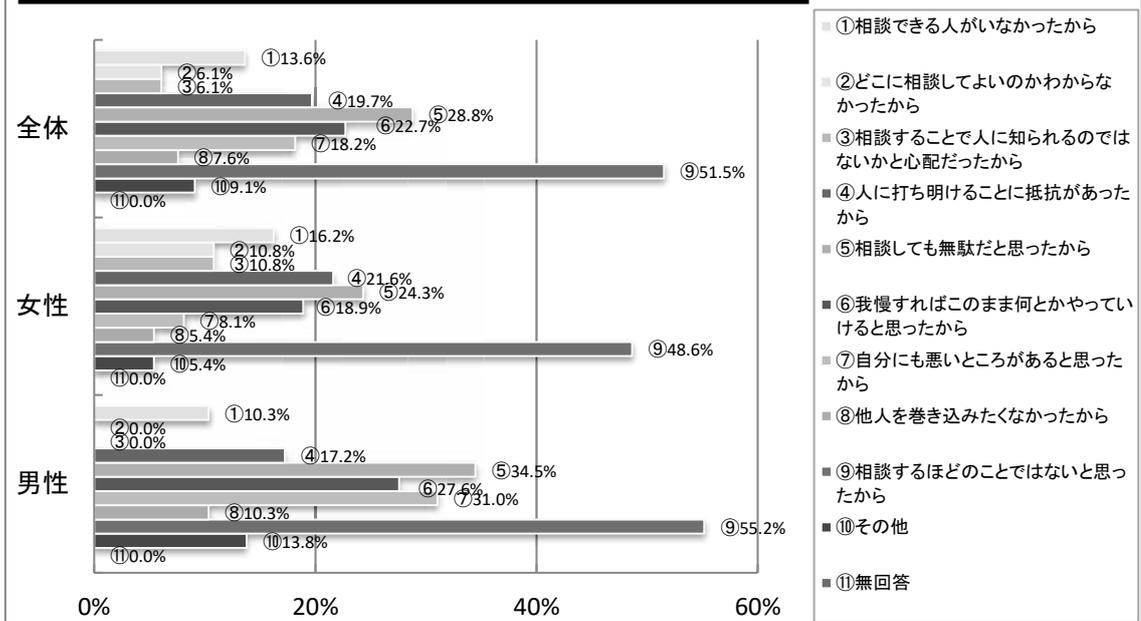
問10-2 相談しなかった理由は、次のどれですか。(複数回答)



全体 N= 40 女性 N= 19 男性 N= 20 それ以外 N= 1

■令和4年度調査

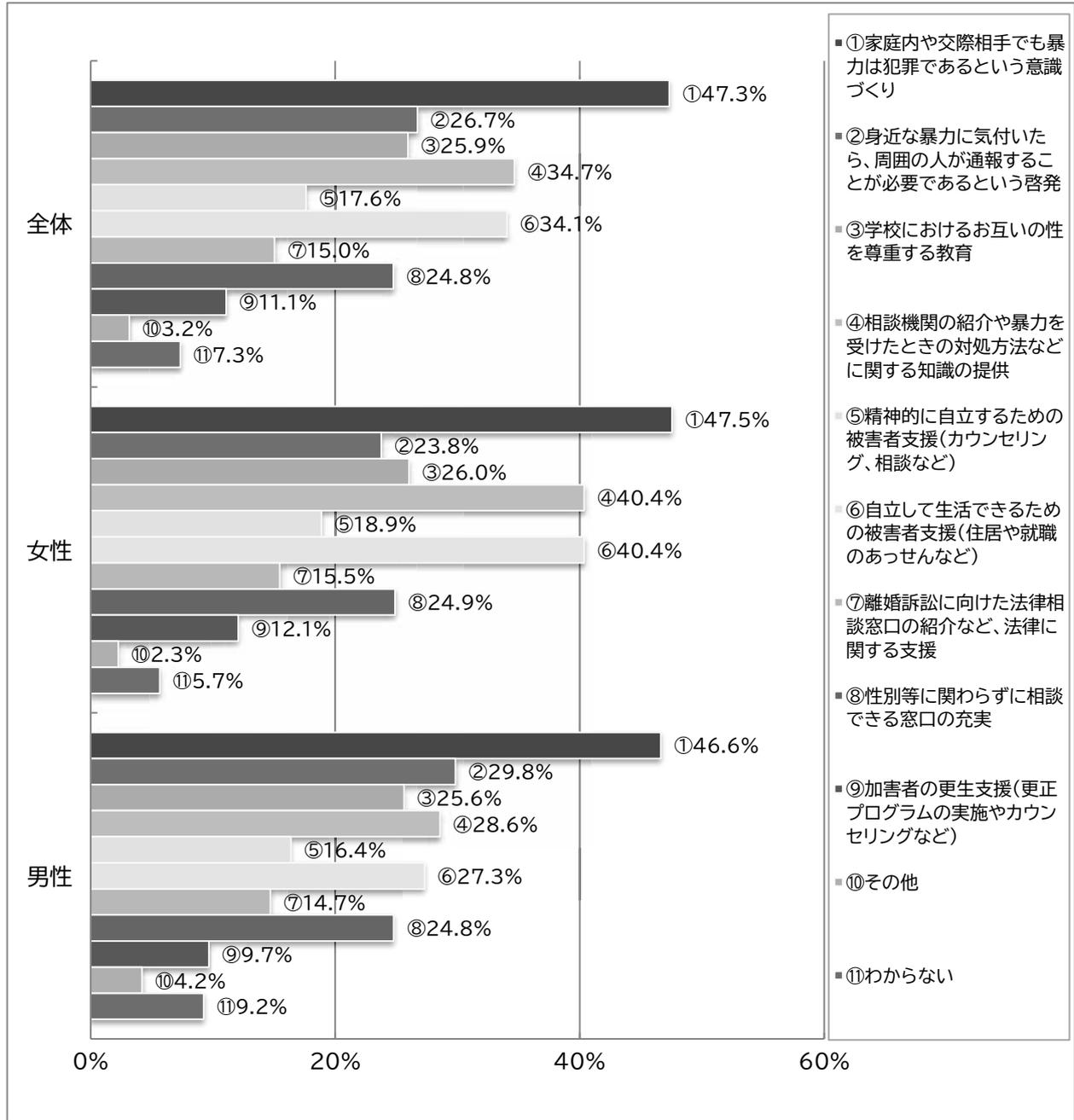
問8-2 相談しなかった理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)



全体 N= 66 女性 N= 37 男性 N= 29

[パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)がいる(過去1年以内にいた)かたのみ]

問11 パートナー(配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手)からの暴力の防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。(回答は3つまで)

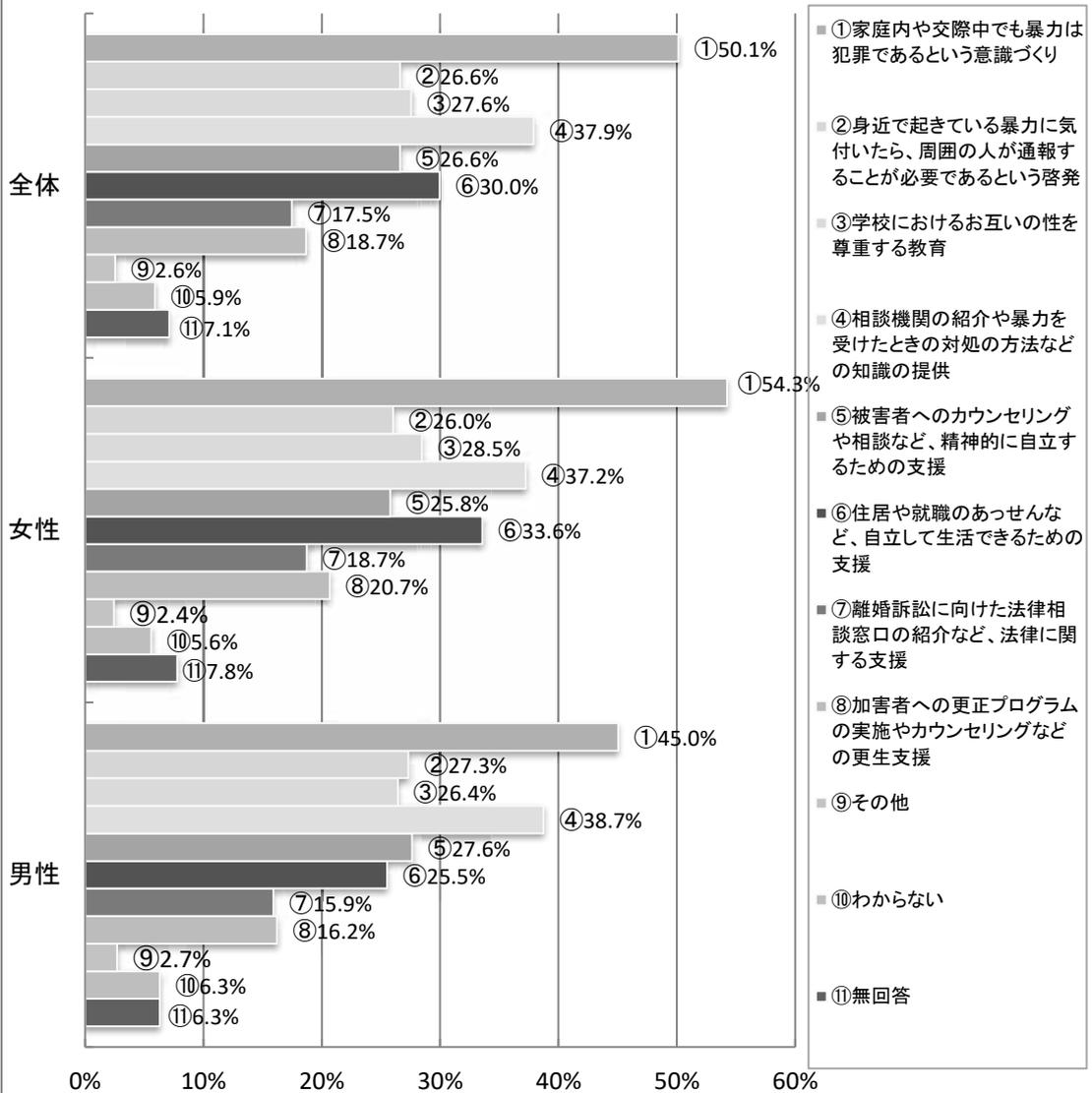


全体 N= 505 女性 N= 265 男性 N= 238 それ以外 N= 2

パートナーからの暴力の防止及び被害者支援のために必要な対策として、「家庭内や交際相手でも暴力は犯罪であるという意識づくり」(47.3%)と回答した人が最も多く、他に「相談機関の紹介や暴力を受けたときの対処方法などに関する知識の提供」(34.7%)や「自立して生活できるための被害者支援(住居や就職のあっせんなど)」(34.1%)と回答した人が多かった。

■令和4年度調査

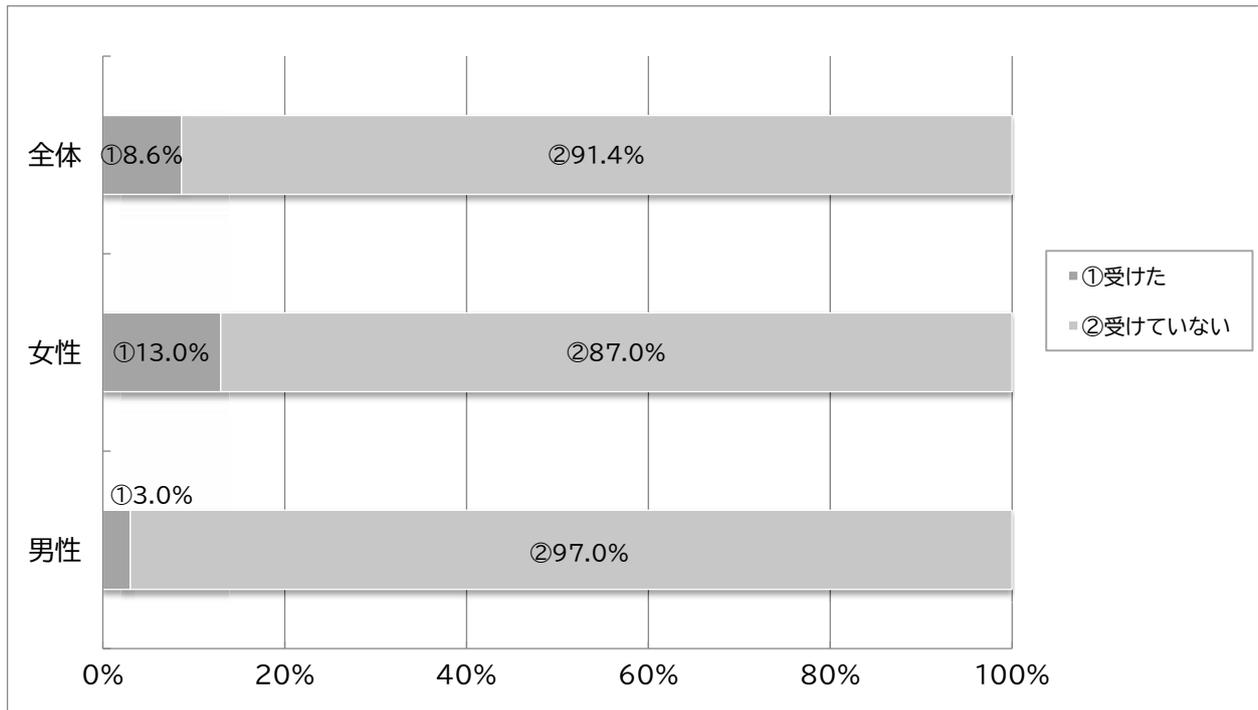
問9 あなたは、配偶者等からの暴力の防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。(○は3つまで)



- ①家庭内や交際中でも暴力は犯罪であるという意識づくり
- ②身近で起きている暴力に気付いたら、周囲の人が通報することが必要であるという啓発
- ③学校におけるお互いの性を尊重する教育
- ④相談機関の紹介や暴力を受けたときの対処の方法などの知識の提供
- ⑤被害者へのカウンセリングや相談など、精神的に自立するための支援
- ⑥住居や就職のあっせんなど、自立して生活できるための支援
- ⑦離婚訴訟に向けた法律相談窓口の紹介など、法律に関する支援
- ⑧加害者への更生プログラムの実施やカウンセリングなどの更生支援
- ⑨その他
- ⑩わからない
- ⑪無回答

全体 N = 744 女性 N = 411 男性 N = 333

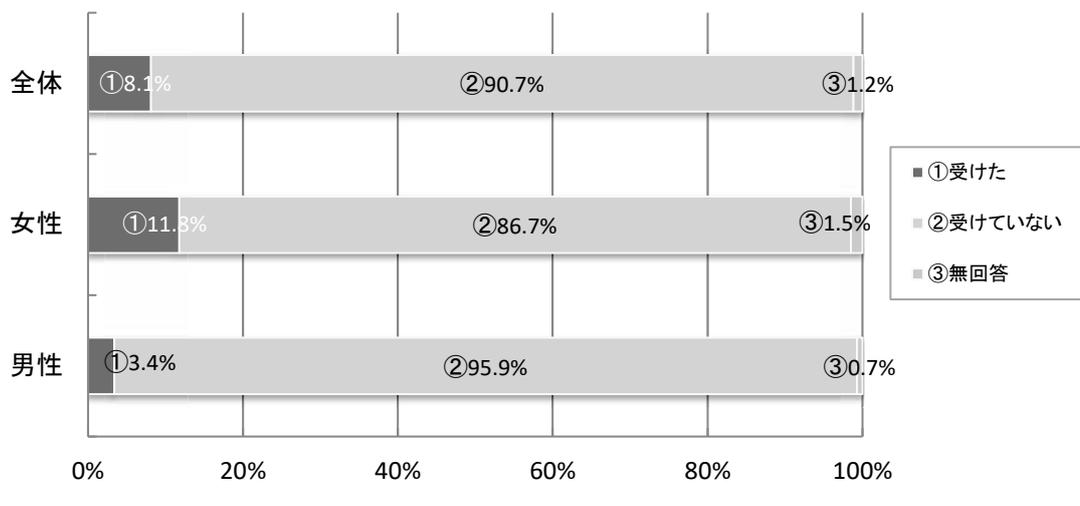
問12 相手を不快にさせる性的な言動(性的指向や性自認に関するものを含む。)を「セクシュアルハラスメント」といいます。あなたはこの1年間に、セクシュアルハラスメントを受けたことがありますか。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

■令和4年度調査

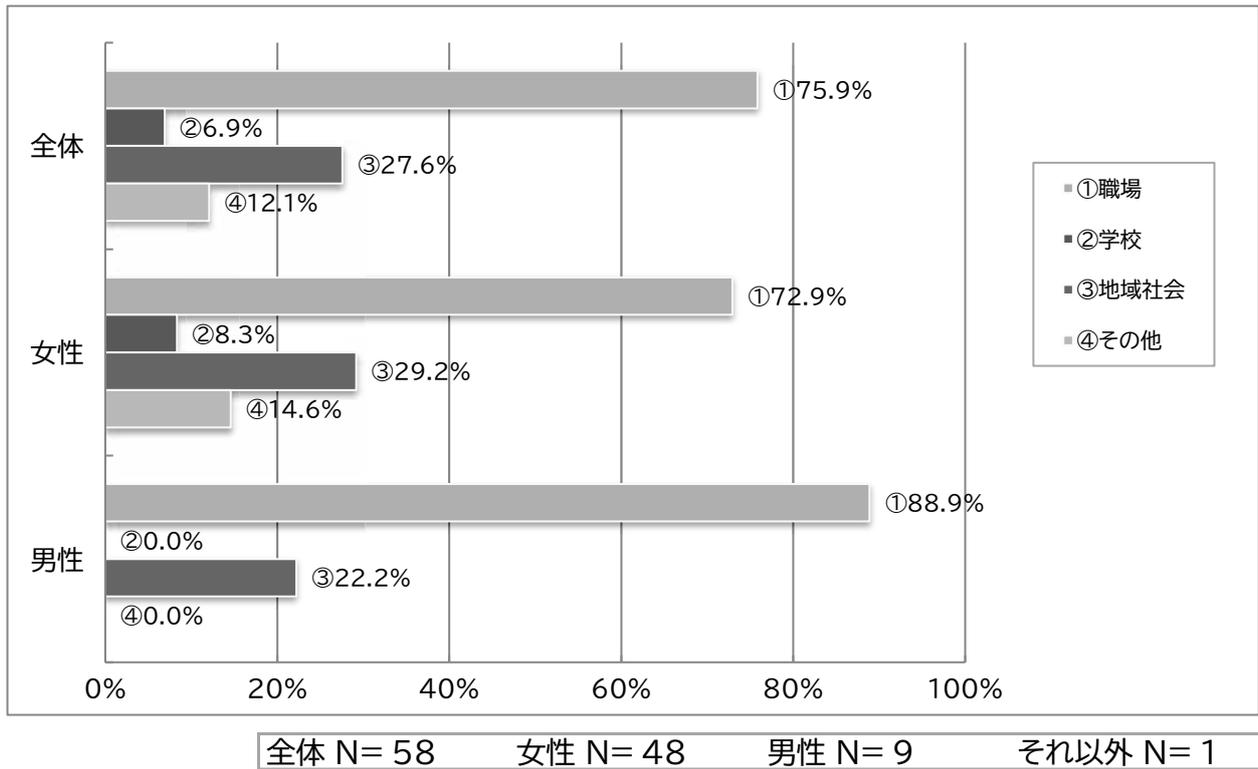
問10 相手を不快にさせる性的な言動を「セクシュアル・ハラスメント」といいます。あなたはこの1年間に、セクシュアル・ハラスメントを受けたことがありますか。(○は1つ)



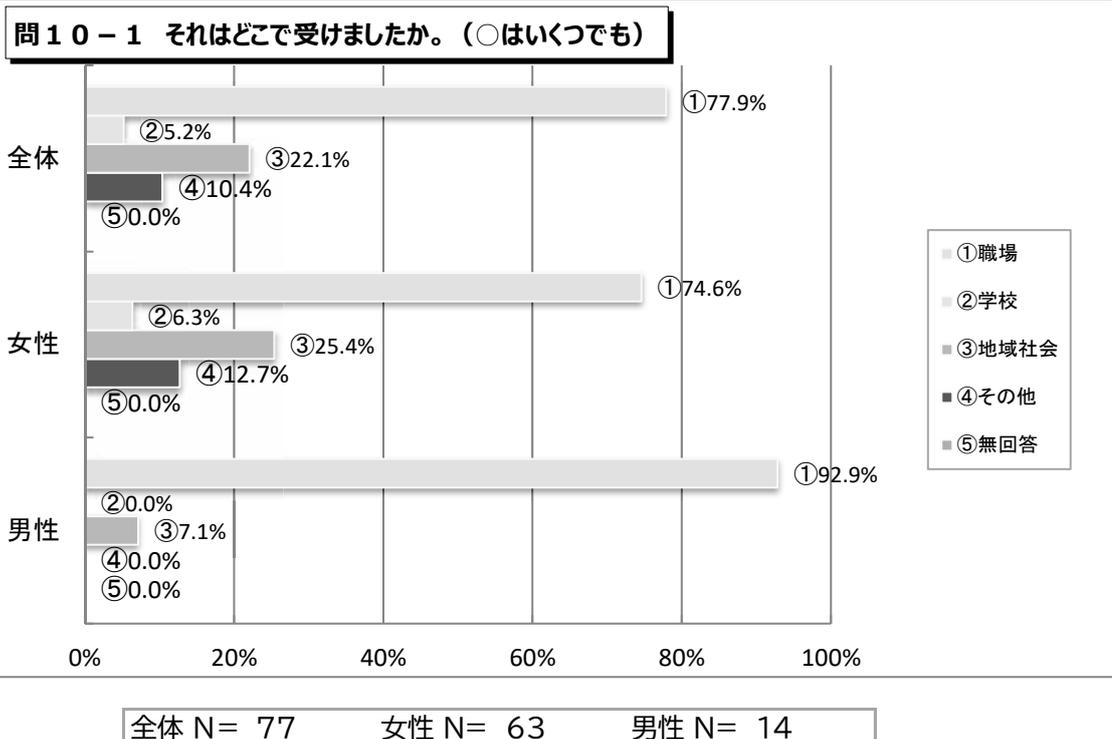
全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

[問12で「受けた」と回答した中で]

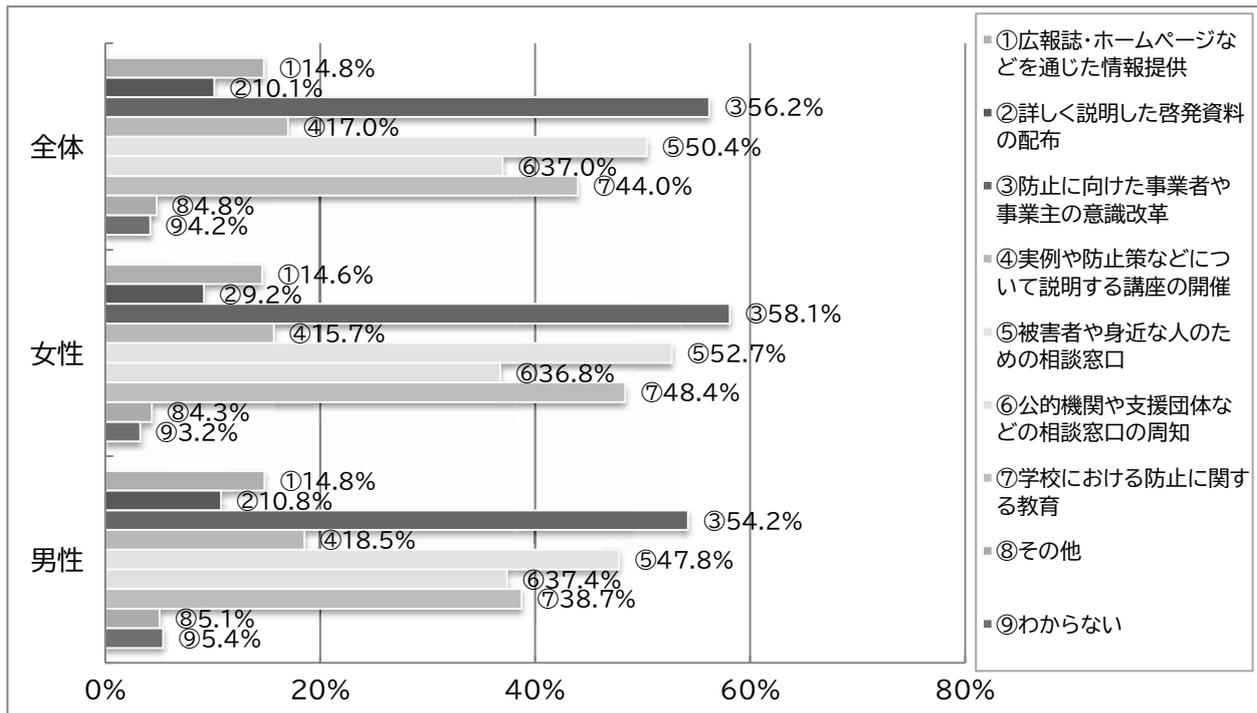
問12-1 それはどこで受けましたか。(複数回答)



■ 令和4年度調査



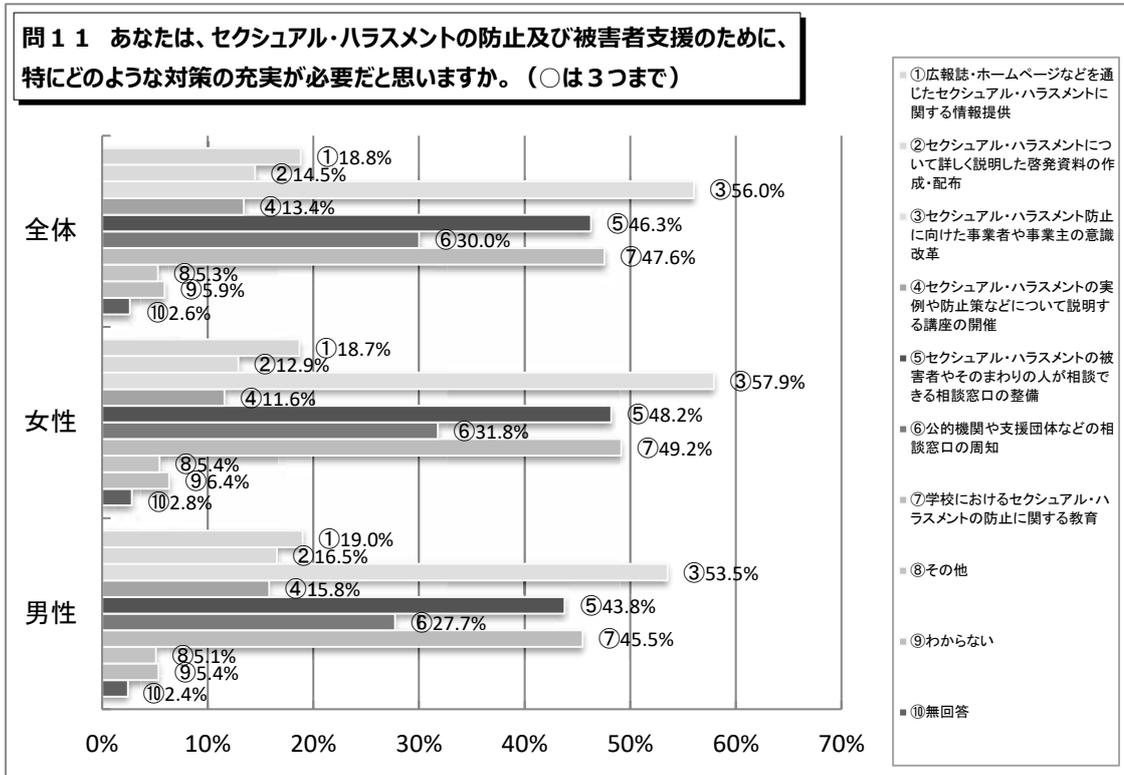
問13 セクシュアルハラスメントの防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。(回答は3つまで)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

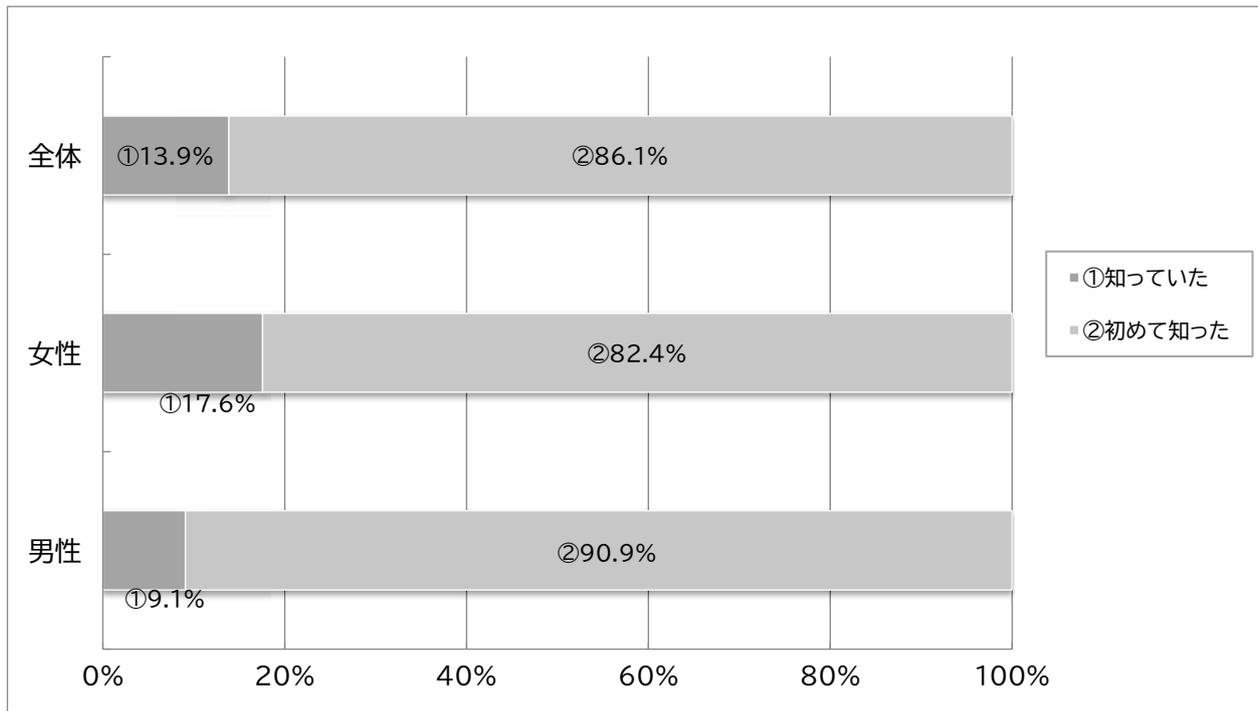
セクシュアルハラスメントの防止及び被害者支援に必要な対策として、「防止に向けた事業者や事業主の意識改革」(56.2%)と回答した人が最も多く、次に回答が多かった「被害者や身近な人のための相談窓口」(50.4%)とともに半数以上の人回答した。

■令和4年度調査



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

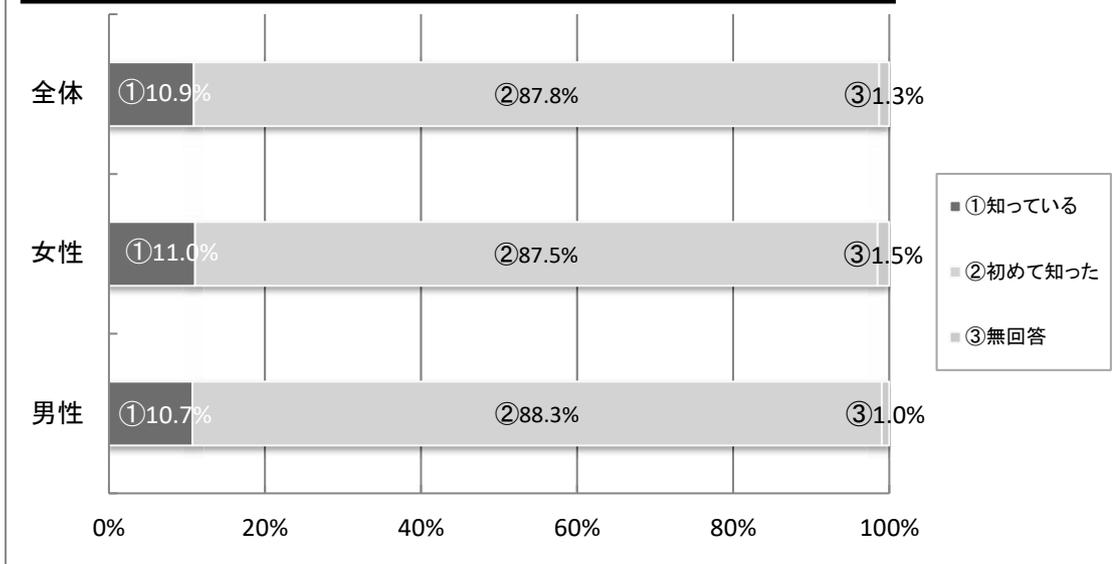
問14 「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)」という考えを知っていましたか。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

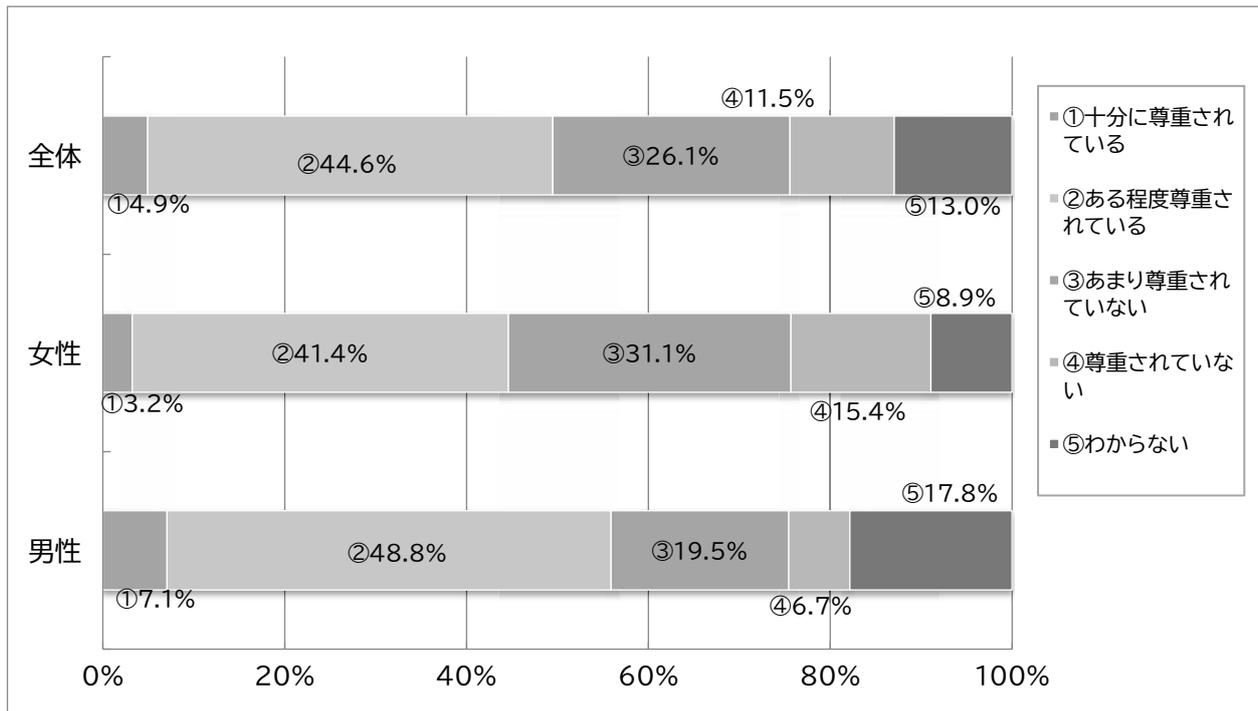
■令和4年度調査

問 1 2 あなたは、「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利 (リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)」という考えを知っていますか。(○は1つ)



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

問15 問14でお聞きした考えを踏まえ、現在、妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されていると思いますか。(単一回答)

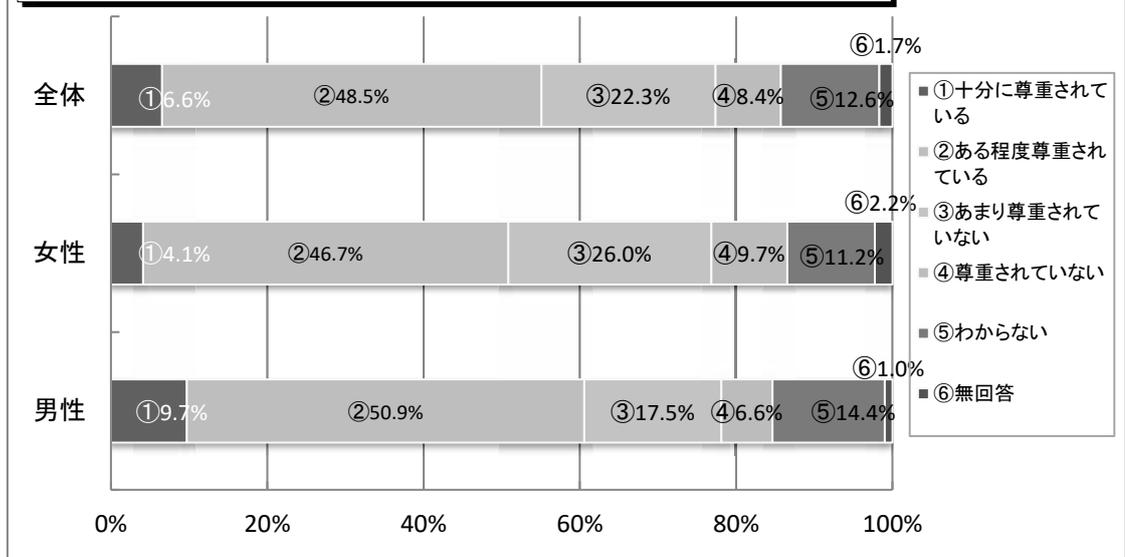


全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利について、「尊重されていない」、「あまり尊重されていない」と回答した人は女性が46.5%、男性が26.2%で認識に男女差がある。

■令和4年度調査

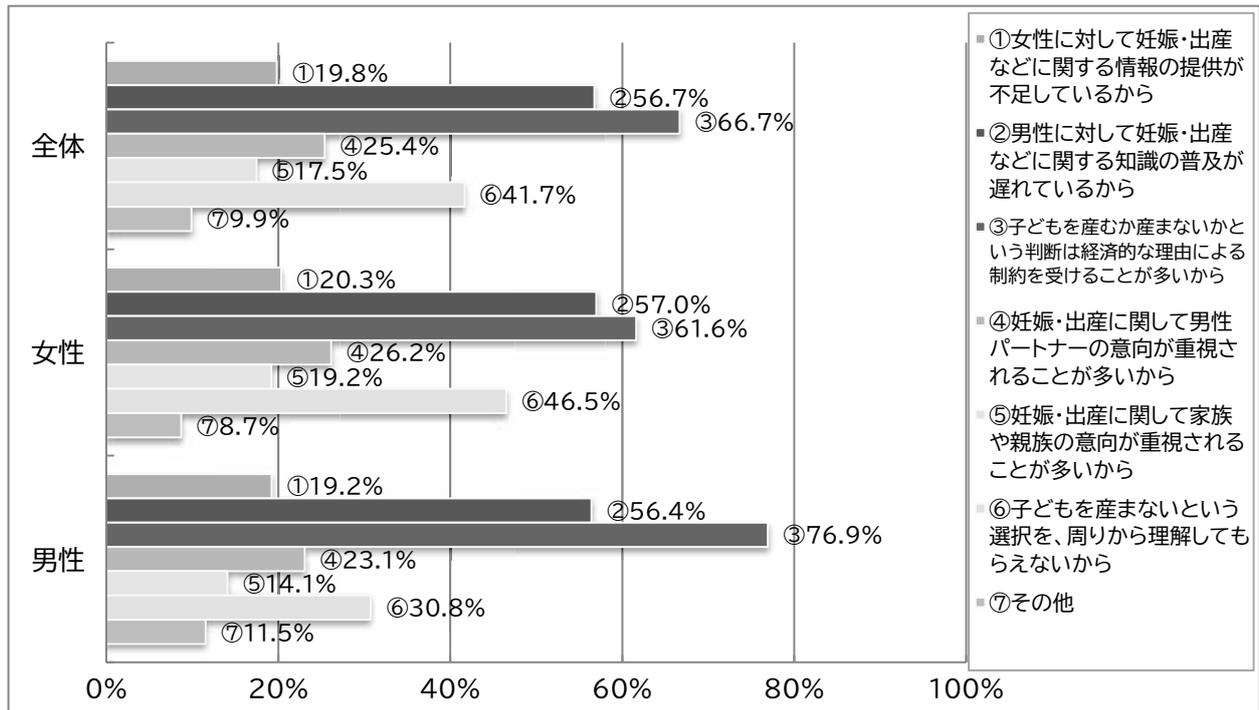
問13 あなたは、問12でお聞きした考えを踏まえ、現在、妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されていると思いますか。(○は1つ)



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

[問15で「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と回答した中で]

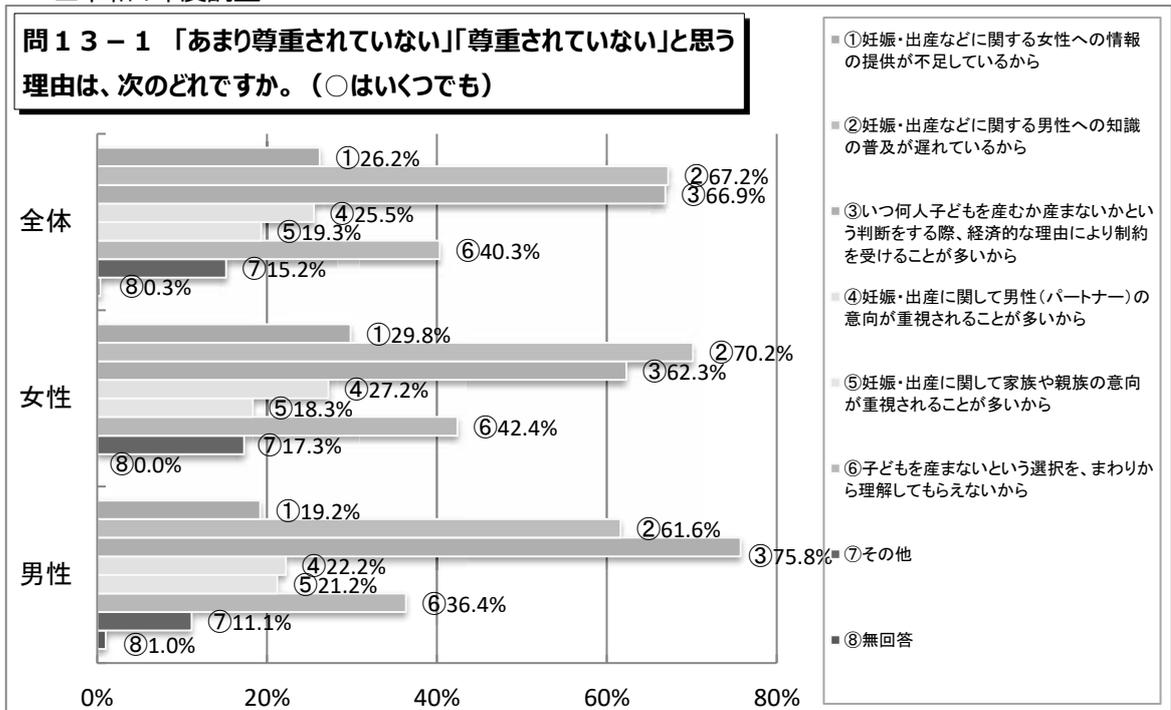
問15-1 「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と思う理由は、次のどれですか。(複数回答)



全体 N= 252 女性 N= 172 男性 N= 78 それ以外 N= 2

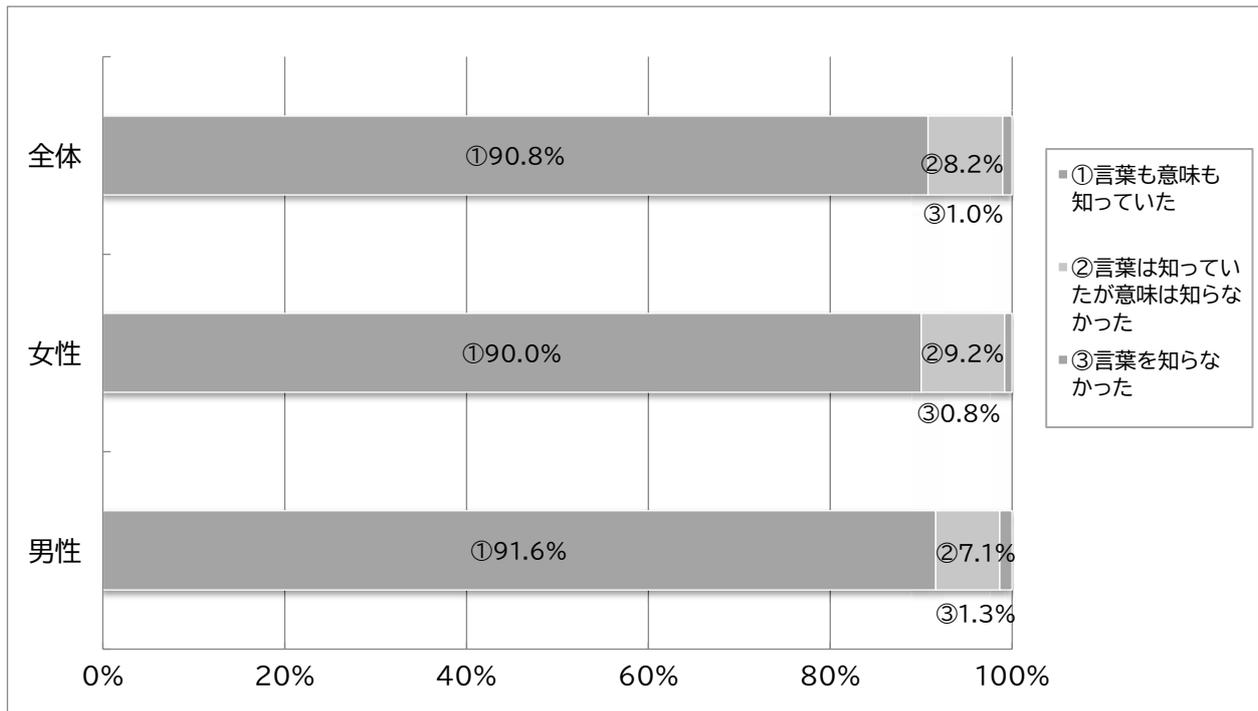
■令和4年度調査

問13-1 「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と思う理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)



全体 N= 290 女性 N= 191 男性 N= 99

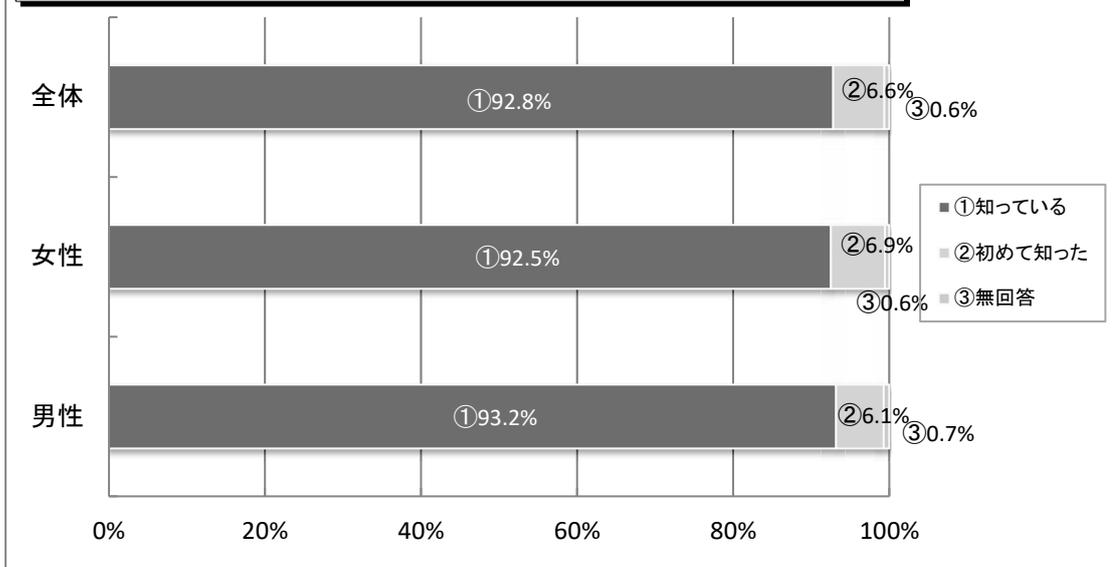
問16 あなたは、性的マイノリティ(又はLGBT(LGBTQ)、セクシュアル・マイノリティ、性的少数者)という言葉やその意味を知っていましたか。(単一回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

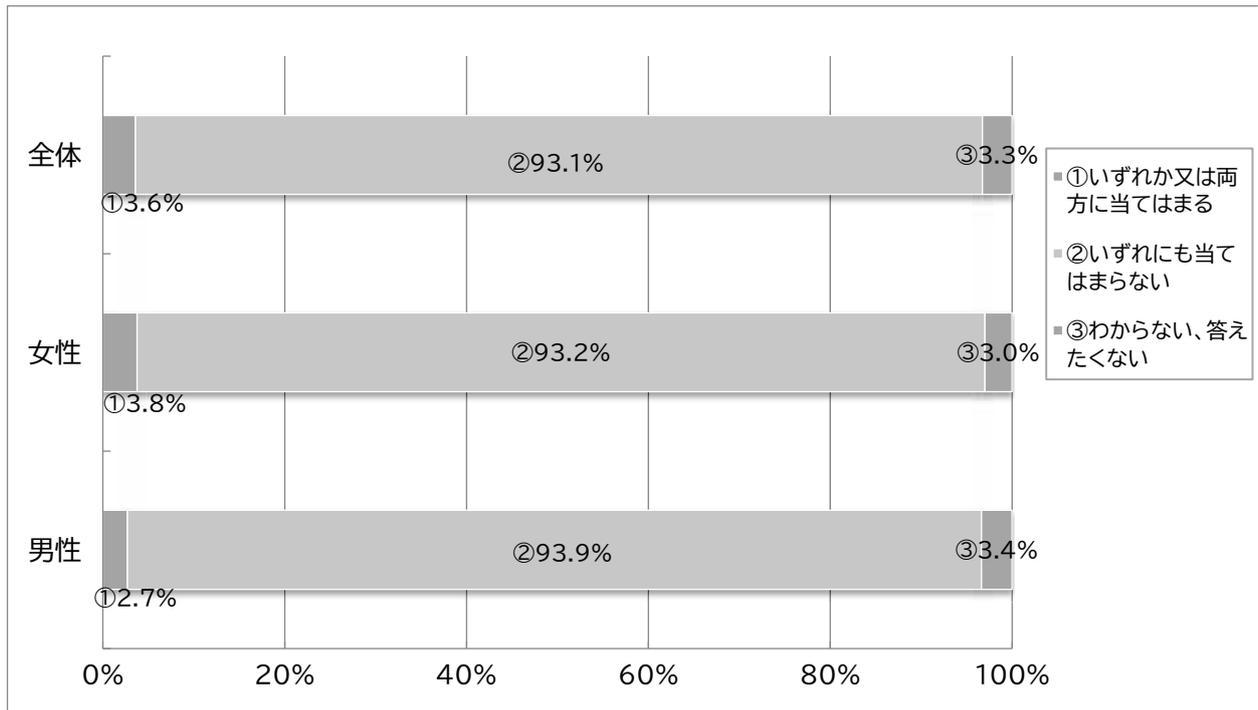
■令和4年度調査

問14 あなたは、「性的マイノリティ(または、セクシュアル・マイノリティ、性的少数者、LGBTなど)」という言葉を知っていますか。(○は1つ)



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

問17 あなたは、次のいずれか又は両方に当てはまりますか。(単一回答)
 ・出生時に割り当てられた性別と自分が認識する性別(性自認)が異なる。
 ・恋愛・性愛の対象(性的指向)が「異性のみ」ではない。



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

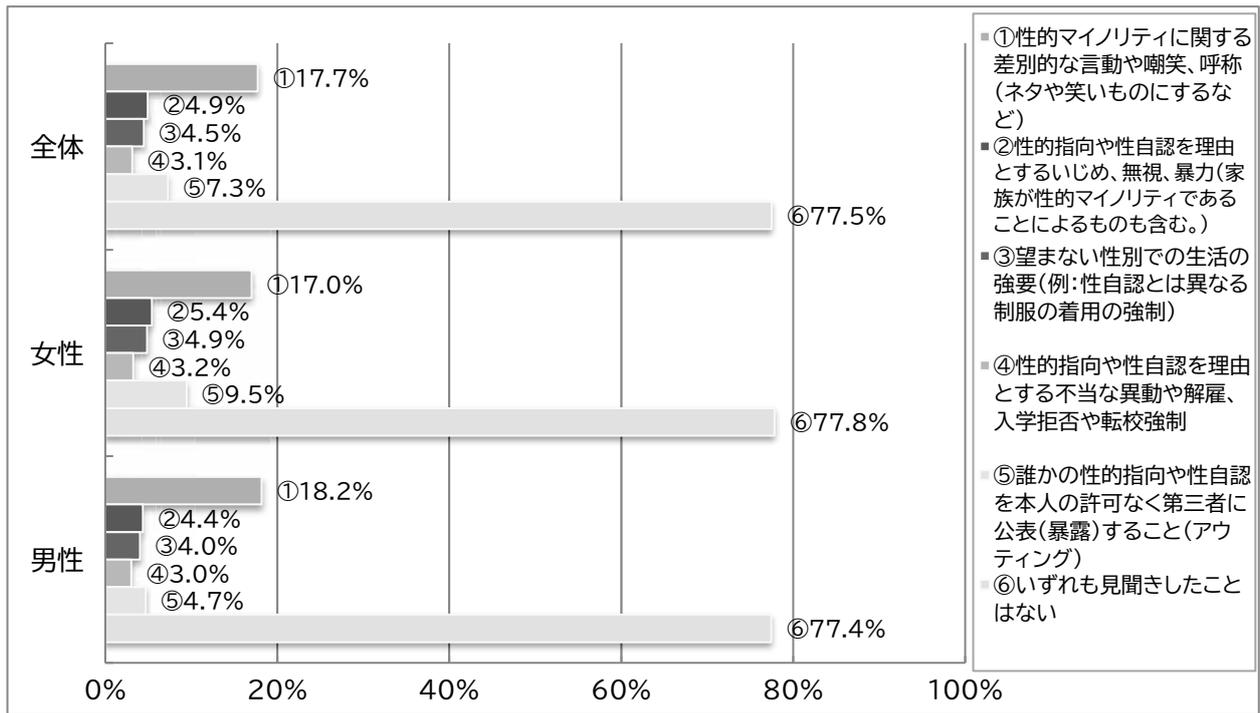
[問17で「いずれか又は両方に当てはまる」と回答したかたのみ]

問17-1 ご自身の性的指向や性自認により、日常生活や行政サービスなどで経験した困りごとがあれば記入してください。

<主な意見>

- ・電話での本人確認の際、聞き返されるのが苦痛である。
- ・公衆トイレに入りづらい。
- ・生涯を共にしたいと考える人と法的な婚姻関係を結ぶことができない。
- ・税金、社会保険など、男女で享受できているサービスが利用できない。
- ・結婚できないので諸々の権利がないことがあり、社会生活において一定のハンディキャップがある。(扶養制度や「世帯」に関するいろいろのこと)
- ・パートナーが病気や事故で入院した時などの重要な場面で関係性をどう伝えればいいのかわからない。
- ・病院の付き添いで、家族でないと立ち会わせてもらえない。
- ・賃貸の部屋を借りにくい。
- ・共同名義で家を購入したり、融資を受けることが難しい。

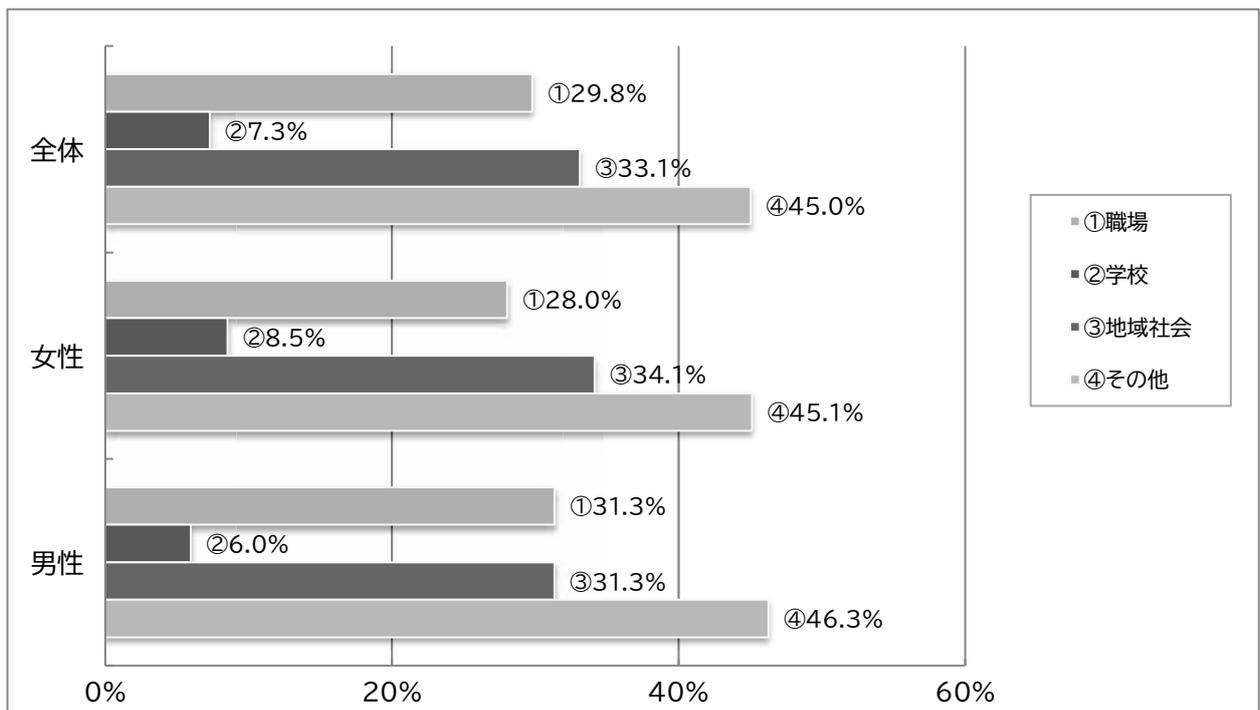
問18 あなたは、この1年間に性的指向や性自認に関する次のハラスメントを見聞きしたことがありますか。(複数回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

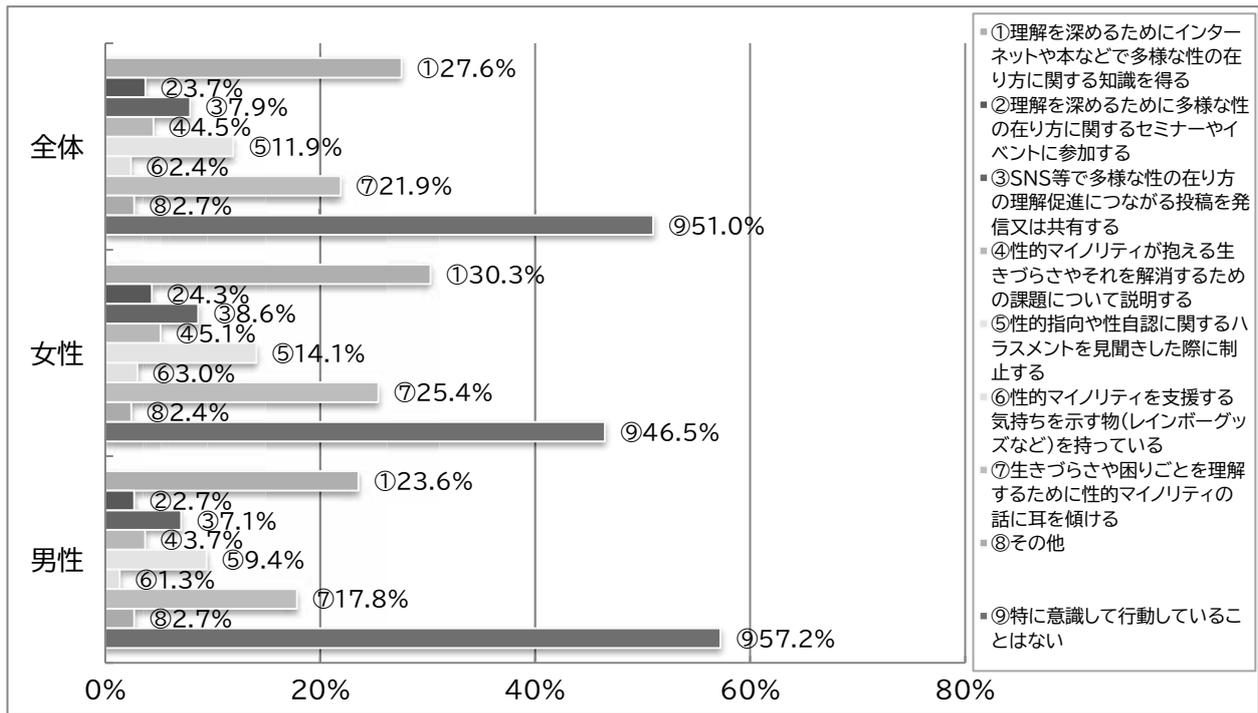
[問18で1~5のいずれかを見聞きしたことがあると回答した中で]

問18-1 それを見聞きしたのはどこですか。(複数回答)



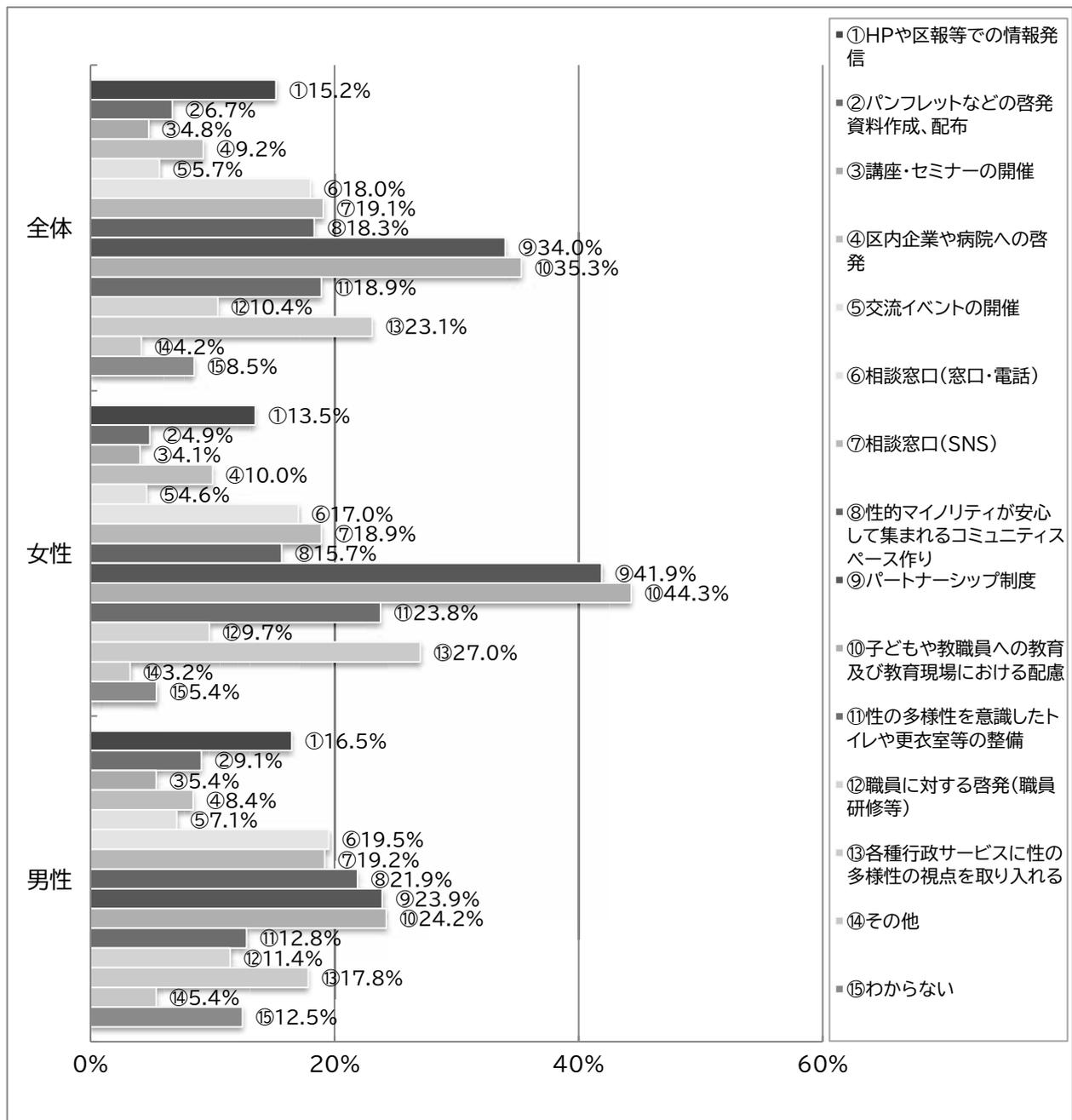
全体 N= 151 女性 N= 82 男性 N= 67 それ以外 N= 2

問19 性的マイノリティへの配慮を意識した日頃の行動について、あなたが当てはまるものを選んでください。(複数回答)



全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

問20 性の多様性を尊重する社会を実現するために、区は特にどのような取組に力を入れたらよいと思いますか。(回答は3つまで)

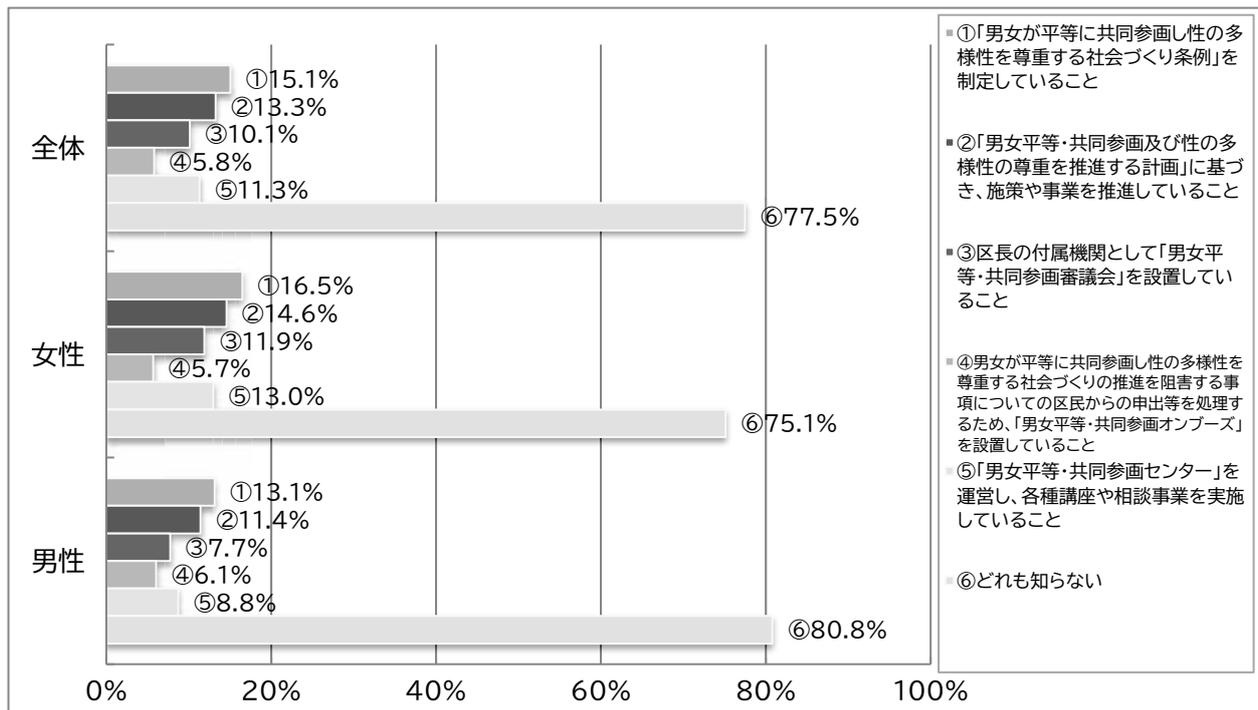


全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

性の多様性を尊重する社会の実現に向けて力を入れるべき取組について、「子どもや教職員への教育及び教育現場における配慮」(35.3%)と回答した人が最も多く、「パートナーシップ制度」(34.0%)と回答した人もほぼ同じ割合で多かった。

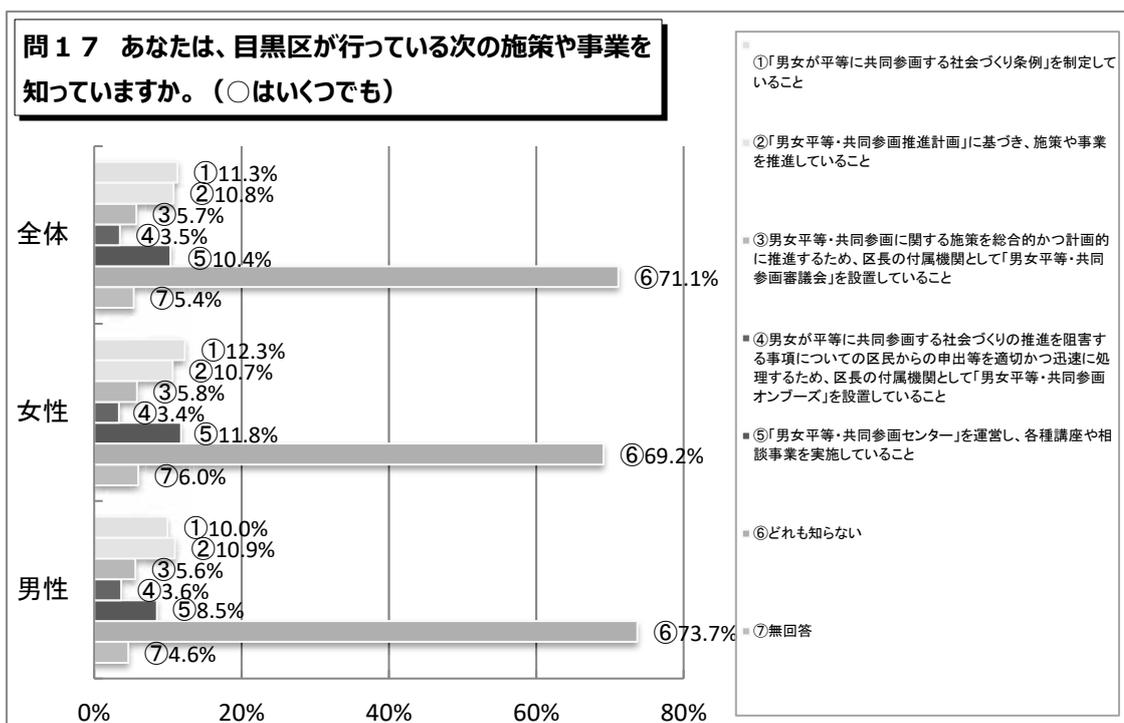
【IV 区の男女平等・共同参画及び性の多様性尊重施策】

問21 目黒区が行っている次の施策や事業を知っていましたか。(①～⑤のそれぞれについて単一回答)(①～⑤のグラフは「知っていた」と回答した人の割合)



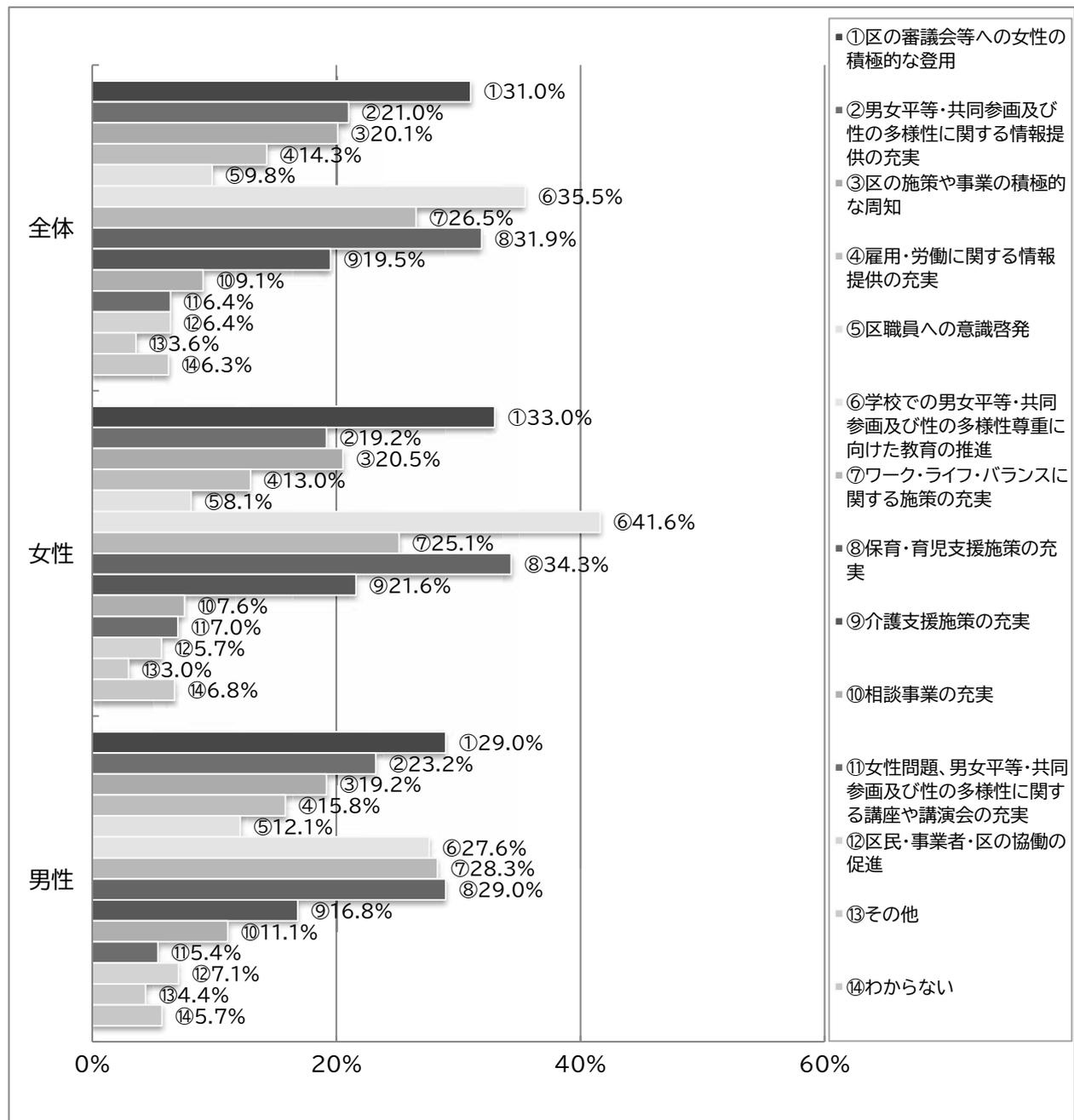
全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

■令和4年度調査



全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

問22 男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するために、今後、区は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(回答は3つまで)



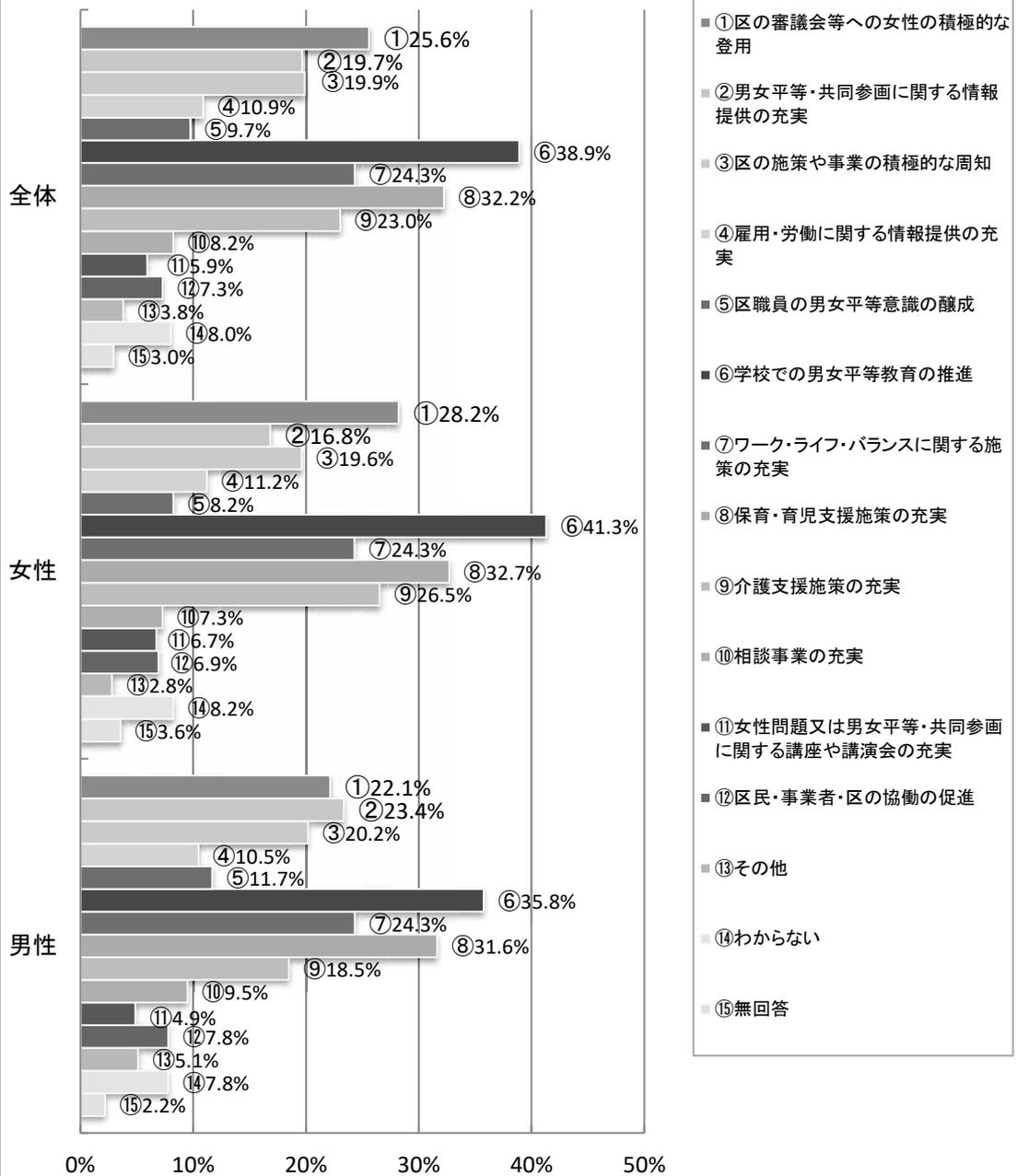
- ①区の審議会等への女性の積極的な登用
- ②男女平等・共同参画及び性の多様性に関する情報提供の充実
- ③区の施策や事業の積極的な周知
- ④雇用・労働に関する情報提供の充実
- ⑤区職員への意識啓発
- ⑥学校での男女平等・共同参画及び性の多様性尊重に向けた教育の推進
- ⑦ワーク・ライフ・バランスに関する施策の充実
- ⑧保育・育児支援施策の充実
- ⑨介護支援施策の充実
- ⑩相談事業の充実
- ⑪女性問題、男女平等・共同参画及び性の多様性に関する講座や講演会の充実
- ⑫区民・事業者・区の協働の促進
- ⑬その他
- ⑭わからない

全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

男女平等・共同参画及び性の多様性尊重の推進のために必要な区の実施として、「学校での男女平等・共同参画及び性の多様性尊重に向けた教育の推進」(35.5%)という回答が最も多く、他には「保育・育児支援施策の充実」(31.9%)や「区の審議会等への女性の積極的な登用」(31.0%)という回答が多かった。

■令和4年度調査

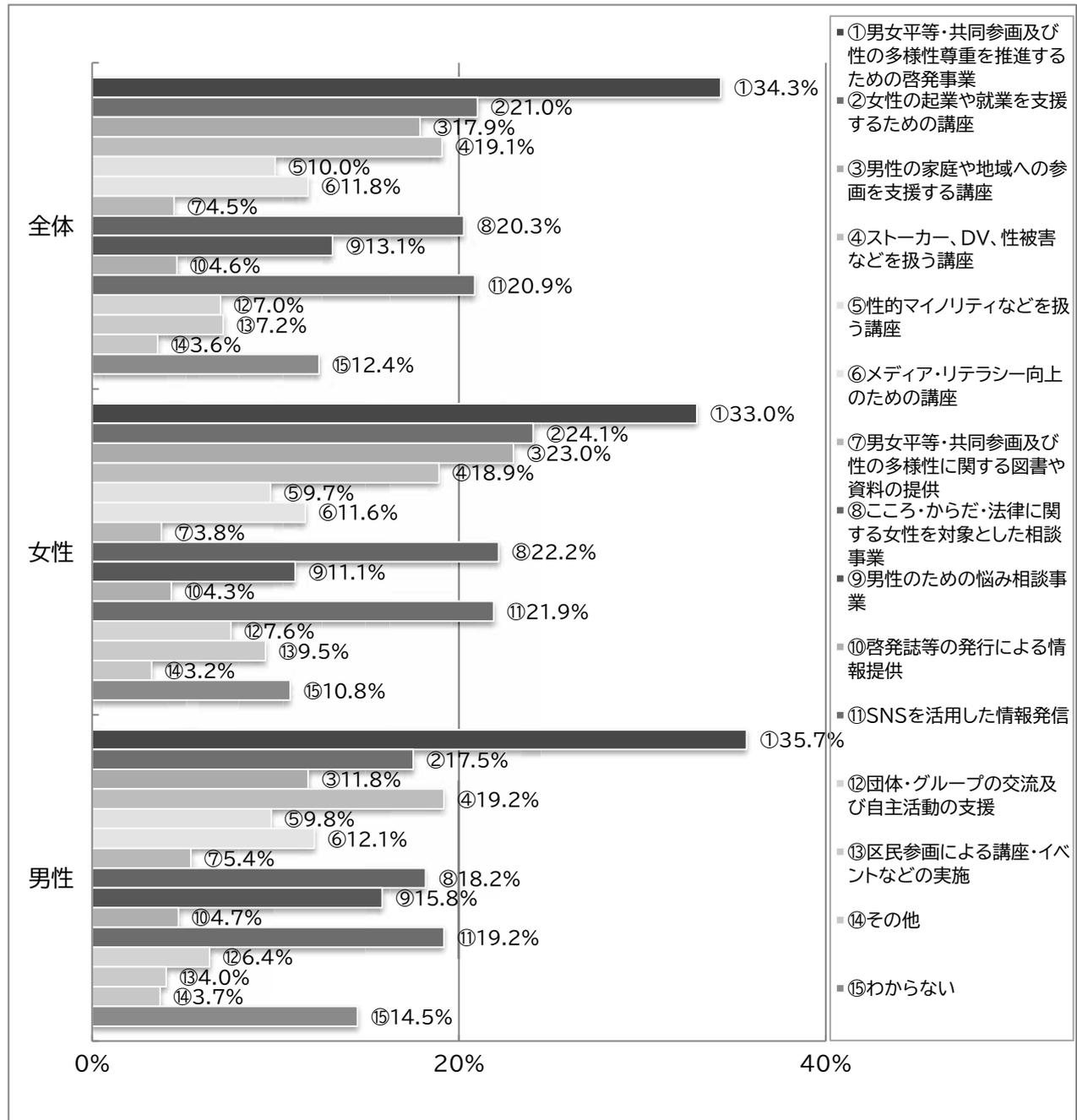
問 18 あなたは、男女平等・共同参画を推進するために、今後、区は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。（○は3つまで）



- ①区の審議会等への女性の積極的な登用
- ②男女平等・共同参画に関する情報提供の充実
- ③区の施策や事業の積極的な周知
- ④雇用・労働に関する情報提供の充実
- ⑤区職員の男女平等意識の醸成
- ⑥学校での男女平等教育の推進
- ⑦ワーク・ライフ・バランスに関する施策の充実
- ⑧保育・育児支援施策の充実
- ⑨介護支援施策の充実
- ⑩相談事業の充実
- ⑪女性問題又は男女平等・共同参画に関する講座や講演会の充実
- ⑫区民・事業者・区の協働の促進
- ⑬その他
- ⑭わからない
- ⑮無回答

全体 N= 946 女性 N= 535 男性 N= 411

問23 目黒区男女平等・共同参画センターでは、男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するためにさまざまな事業を実施しています。あなたは、今後、特にどの事業に力を入れたらよいと思いますか。(回答は3つまで)

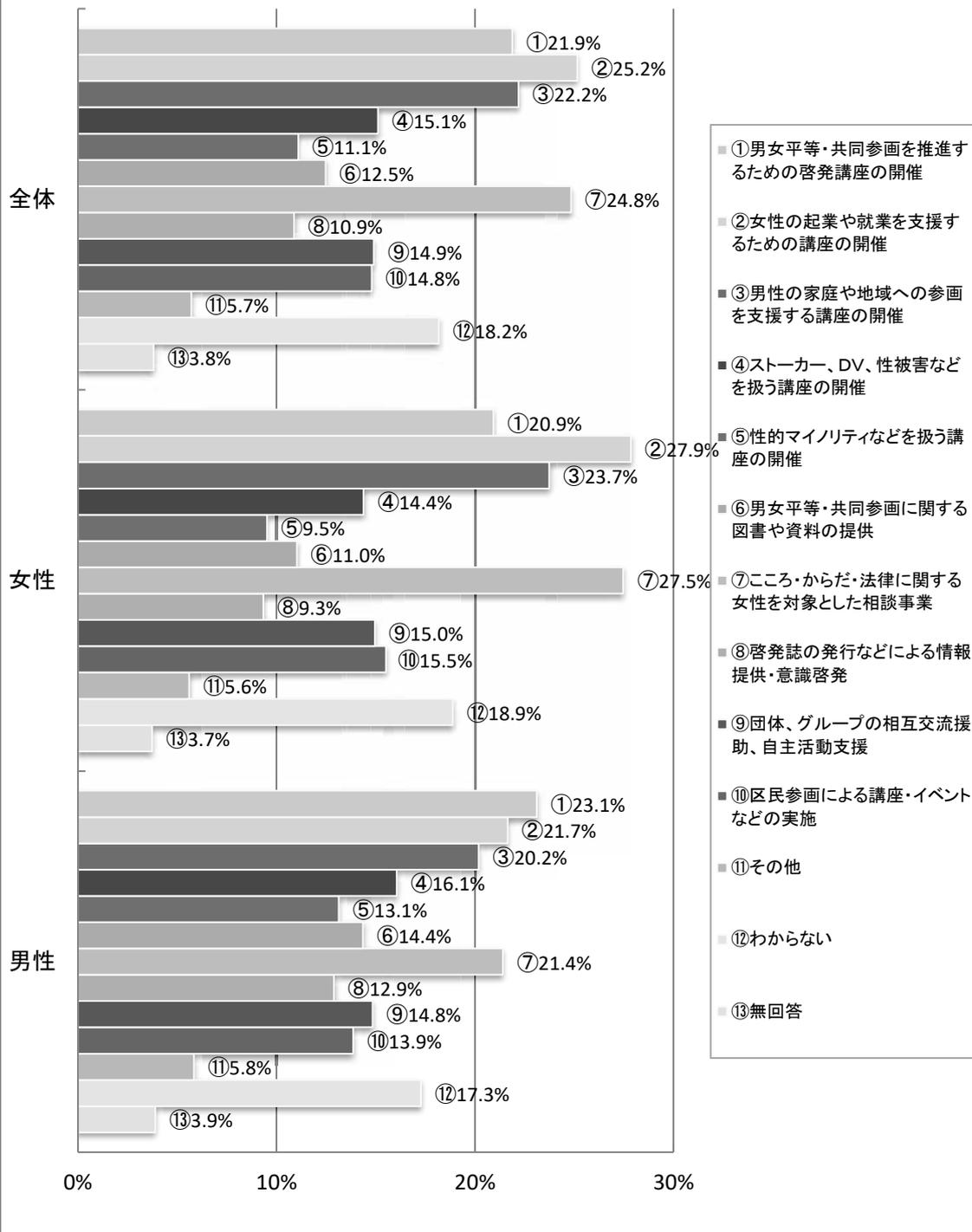


全体 N= 671 女性 N= 370 男性 N= 297 それ以外 N= 4

男女平等・共同参画センターで力を入れるべき事業として、「男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するための啓発事業」(34.3%)という回答が最も多く、次いで「女性の起業や就業を支援するための講座」(21.0%)や「SNSを活用した情報発信」(20.9%)という回答が多かった。

■令和4年度調査

問19 目黒区男女平等・共同参画センターでは、男女平等・共同参画を推進するためにさまざまな事業を実施しています。あなたは、今後、特にどの事業に力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)



全体 N = 946 女性 N = 535 男性 N = 411

I 男女平等に関する意識と実態

問1 「男性は仕事をし、女性は家庭を守るべきである」などのように、社会や家庭などで性別による固定的な役割があるという考え方について、あなたはどのように思いますか。(選択は1つ)

- 1 賛成
- 2 どちらかといえば賛成
- 3 どちらかといえば反対
- 4 反対
- 5 わからない

問2 あなたは、主に目黒区内における次のそれぞれの分野で、性別による差別(不利益)が無く、平等になっていると思いますか。それぞれの分野との関わりが少ない場合でも、ご自分の持つ印象・イメージをお答えください。全く判断がつかない場合は、「わからない」とお答えください。(ア)～(カ)のそれぞれについて、回答を1つ選択してください。)

	男性に対する差別がある	どちらかといえば男性に対する差別がある	男女平等である	どちらかといえば女性に対する差別がある	女性に対する差別がある	わからない
(ア) 家庭生活(家事・育児・介護)	1	2	3	4	5	6
(イ) 労働・雇用・職場	1	2	3	4	5	6
(ウ) 学校教育	1	2	3	4	5	6
(エ) 政治の場	1	2	3	4	5	6
(オ) 地域の活動や行事	1	2	3	4	5	6
(カ) 防災活動	1	2	3	4	5	6

【問2で一つでも「男性に対する差別がある」「女性に対する差別がある」と回答したかたのみ】

問2-1 その理由や具体的な事例について簡単に(箇条書き等で)記入してください。

問3～問4は、配偶者（事実婚の異性パートナーを含む。）※がいるかたにお聞きします。

※主に家庭における男女間の役割分担の状況を分析するための設問ですので、ここでは異性パートナーがいるかたを対象にしています。

問3 あなたの家庭では、家事・育児・介護の分担はどうしていますか。

((ア)～(ウ)のそれぞれについて、回答を1つ選択してください。)

※あなたの家庭で(ア)～(ウ)に携わっているかたがいない場合には、「該当なし」を選択してください。

	主に行っている 主に行っている	該当なし						
(ア) 炊事・洗濯・掃除などの家事	1	2	3	4	5	6	7	
(イ) 育児	1	2	3	4	5	6	7	
(ウ) 介護	1	2	3	4	5	6	7	

問4 あなたは、家事・育児・介護（以下、「家事など」といいます。）の分担が一方の性別のパートナーに偏らないようにするためには、特にどんなことが必要だと思えますか。（選択は3つまで）

- 1 性別による固定的な役割分担意識をなくすこと
- 2 性別による固定的な役割分担をなくすための啓発を進めること
- 3 男女ともに家事などと仕事が両立できる勤務制度、職場環境を整備すること
- 4 家事などへの関心を高める啓発や情報提供を行うこと
- 5 家事などの技術を向上させる講座を行うこと
- 6 学校教育の場で、家事などは性別に関わらずに担うものであると教えること
- 7 家庭において、子どもに家事などは性別に関わらずに担うものであると教えること
- 8 パートナーや家族間でのコミュニケーションをよく図ること
- 9 その他（)
- 10 わからない

問5～問9は、すべてのかたがお答えください。

II ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）

問5 人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動への参加、自己啓発など）のバランスについて、あなたの希望に最も近いものを選んでください。（現在仕事をしていない場合でも、就労希望がある場合は仕事をしている状況を想定してお考えください。）（選択は1つ）

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」を優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」を優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をできるだけ均等にしたい
- 8 わからない

問6 人生における「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動への参加、自己啓発など）のバランスについて、あなたの実際の状況に最も近いものを選んでください。（選択は1つ）

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」を優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」を優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」を優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をできるだけ均等にしている
- 8 わからない

問7 あなたは、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）がとれていると思いますか。仕事や生活そのものの満足度ではなく、バランス（調和）という観点でお答えください。（現在仕事をしていない場合は、仕事をしていないことがあなたの本意であるかどうかも含めてお考えください。）（選択は1つ）

- 1 そう思う
- 2 ややそう思う
- 3 どちらともいえない
- 4 あまりそう思わない
- 5 全くそう思わない

問8 あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、働く場において特にどのような取組が必要だと思いますか。(選択は3つまで)

- 1 長時間労働の是正
- 2 有給休暇取得の促進
- 3 育児・介護休業の利用促進
- 4 男性の育児休業取得の促進
- 5 フレックスタイムや短時間勤務等の利用促進
- 6 企業の経営層・管理職の意識改革
- 7 育児・介護等による離職後の再雇用制度の充実
- 8 個人の意識改革や男女の役割分担意識の解消を促す啓発
- 9 その他 ()

問9 あなたは、ワーク・ライフ・バランスを実現するためには、行政・地域社会において特にどのような取組が必要だと思いますか。(選択は3つまで)

- 1 保育サービス、保育所・学童保育クラブなどの子育て支援の充実
- 2 介護サービス、介護施設などの介護支援の充実
- 3 再就職を希望する人に向けた支援の充実
- 4 個人の意識改革や男女の役割分担意識の解消を促す啓発
- 5 有給休暇や両立支援制度の利用促進に向けた企業への啓発
- 6 地域活動（日常的に交流できるグループやサークル・団体活動など）の場の充実
- 7 その他 ()



【問 10-1 で「誰（どこ）にも相談しなかった」と回答したかたのみ】

問 10-2 相談しなかった理由は、次のどれですか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

- 1 相談できる人がいなかったから
- 2 どこに相談してよいのかわからなかったから
- 3 人に知られるのではないかと心配だったから
- 4 人に打ち明けることに抵抗があったから
- 5 相談しても無駄だと思ったから
- 6 我慢すればこのまま何とかやっていけると思ったから
- 7 自分にも悪いところがあると思ったから
- 8 他人を巻き込みたくなかったから
- 9 相談するほどのことではないと思ったから
- 10 その他（)

問 11 あなたは、パートナー（配偶者、事実婚のパートナー、同性パートナー、交際相手）からの暴力の防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。（選択は3つまで）

- 1 家庭内や交際相手でも暴力は犯罪であるという意識づくり
- 2 身近な暴力に気付いたら、周囲の人が通報することが必要であるという啓発
- 3 学校におけるお互いの性を尊重する教育
- 4 相談機関の紹介や暴力を受けたときの対処方法などに関する知識の提供
- 5 精神的に自立するための被害者支援（カウンセリング、相談など）
- 6 自立して生活できるための被害者支援（住居や就職のあっせんなど）
- 7 離婚訴訟に向けた法律相談窓口の紹介など、法律に関する支援
- 8 性別等に関わらずに相談できる窓口の充実
- 9 加害者の更生支援（更正プログラムの実施やカウンセリングなど）
- 10 その他（)
- 11 わからない

問 12～問 23は、すべてのかたがお答えください。

問 12 相手を不快にさせる性的な言動（性的指向や性自認に関するものを含む。）を「セクシュアルハラスメント」といいます。あなたはこの1年間に、セクシュアルハラスメントを受けたことがありますか。（選択は1つ）

- | | |
|-------|----------|
| 1 受けた | 2 受けていない |
|-------|----------|

【問 12 で「受けた」と回答したかたのみ】

問 12-1 それはどこで受けましたか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

- | | |
|------|----------|
| 1 職場 | 3 地域社会 |
| 2 学校 | 4 その他（) |

問 13 あなたは、セクシュアルハラスメントの防止及び被害者支援のために、特にどのような対策の充実が必要だと思いますか。(選択は3つまで)

- 1 広報誌・ホームページなどを通じた情報提供
- 2 詳しく説明した啓発資料の配布
- 3 防止に向けた事業者や事業主の意識改革
- 4 実例や防止策などについて説明する講座の開催
- 5 被害者や身近な人のための相談窓口
- 6 公的機関や支援団体などの相談窓口の周知
- 7 学校における防止に関する教育
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問 14 あなたは、「生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)」という考えを知っていましたか。(選択は1つ)

※『生涯にわたる性と生殖に関する健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)』

1994年にカイロで開催された国際人口・開発会議において提唱された概念で、今日、女性の人権の重要な一つとして認識されるに至っています。リプロダクティブ・ヘルス/ライツの中心課題には、いつ何人子どもを産むか産まないかを選ぶ自由、安全で満足のいく性生活、安全な妊娠・出産、子どもが健康に生まれ育つことなどが含まれており、また、思春期や更年期における健康上の問題等、生涯を通じての性と生殖に関する課題が幅広く議論されています。

- 1 知っていた
- 2 初めて知った

問 15 あなたは、問 14でお聞きした考えを踏まえ、現在、妊娠や出産をめぐる女性の健康と権利が尊重されていると思いますか。(選択は1つ)

- 1 十分に尊重されている
- 2 ある程度尊重されている
- 3 あまり尊重されていない
- 4 尊重されていない
- 5 わからない

↓
【問 15で「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と回答したかたのみ】

問 15-1 「あまり尊重されていない」「尊重されていない」と思う理由は、次のどれですか。(当てはまるものすべてを選択してください。)

- 1 女性に対して妊娠・出産などに関する情報の提供が不足しているから
- 2 男性に対して妊娠・出産などに関する知識の普及が遅れているから
- 3 子どもを産むか産まないかという判断は経済的な理由による制約を受けることが多いから
- 4 妊娠・出産に関して男性パートナーの意向が重視されることが多いから
- 5 妊娠・出産に関して家族や親族の意向が重視されることが多いから
- 6 子どもを産まないという選択を、周りから理解してもらえないから
- 7 その他 ()

問 16 あなたは、性的マイノリティ（又はLGBT（LGBTQ）、セクシュアル・マイノリティ、性的少数者）※という言葉やその意味を知っていましたか。（選択は1つ）

※性的マイノリティ（又はLGBT（LGBTQ）、セクシュアル・マイノリティ、性的少数者）
レズビアン [Lesbian（女性同性愛者）]、ゲイ [Gay（男性同性愛者）]、バイセクシュアル [Bisexual（両性愛者）]、トランスジェンダー [Transgender（出生時に割り当てられた性別と自分が認識する性別が異なる人）]
や、クエスチョニング [Questioning（自分の性の在り方を決めていない人）]などのことをいいます。

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが意味は知らなかった
- 3 言葉を知らなかった

問 17 あなたは、次のいずれか又は両方に当てはまりますか。（選択は1つ）

- ・出生時に割り当てられた性別と自分が認識する性別（性自認）が異なる。
 - ・恋愛・性愛の対象（性的指向）が「異性のみ」※ではない（同性のみ、同性も異性も、性別を問わない、どの性別も対象にならないなど）。
- ※「異性」は自分が認識する自身の性別（性自認）とは異なる性別としてお考えください。

- 1 いずれか又は両方に当てはまる
- 2 いずれにも当てはまらない
- 3 わからない、答えたくない

【問 17 で「いずれか又は両方に当てはまる」と回答したかたのみ】

問 17-1 ご自身の性的指向や性自認により、日常生活や行政サービスなどで経験した困りごとがあれば記入してください。（記入は任意です。）

問 18 あなたは、この1年間に性的指向や性自認に関する次のハラスメントを見聞きしたことがありますか。（当てはまるものすべてを選択してください。）

- 1 性的マイノリティに関する差別的な言動や嘲笑、呼称（ネタや笑いものにするなど）
- 2 性的指向や性自認を理由とするいじめ、無視、暴力（家族が性的マイノリティであることによるものも含む。）
- 3 望まない性別での生活の強要（例：性自認とは異なる制服の着用の強制）
- 4 性的指向や性自認を理由とする不当な異動や解雇、入学拒否や転校強制
- 5 誰かの性的指向や性自認を本人の許可なく第三者に公表（暴露）すること（アウトティング）
- 6 いずれも見聞きしたことはない

↓
【問 18 で 1 ～ 5 のいずれかを見聞きしたことがあると回答したかたのみ】

問 18-1 それを見聞きしたのはどこですか。(当てはまるものすべてを選択してください。)

- | | |
|------|-----------|
| 1 職場 | 3 地域社会 |
| 2 学校 | 4 その他 () |

問 19 性的マイノリティへの配慮を意識した日頃の行動について、あなたが当てはまるものを選んでください。(当てはまるものすべてを選択してください。)

- | |
|--|
| 1 理解を深めるためにインターネットや本などで多様な性の在り方に関する知識を得る |
| 2 理解を深めるために多様な性の在り方に関するセミナーやイベントに参加する |
| 3 SNS等で多様な性の在り方の理解促進につながる投稿を発信又は共有する |
| 4 性的マイノリティが抱える生きづらさやそれを解消するための課題について説明する |
| 5 性的指向や性自認に関するハラスメントを見聞きした際に制止する |
| 6 性的マイノリティを支援する気持ちを示す物(レインボーグッズなど)を持っている |
| 7 生きづらさや困りごとを理解するために性的マイノリティの話に耳を傾ける |
| 8 その他(上記以外で該当する行動があればご記入ください。) |
| () |
| 9 特に意識して行動していることはない |

問 20 性の多様性を尊重する社会を実現するために、区は特にどのような取組に力を入れたらよいと思いますか。(選択は3つまで)

- | |
|---------------------------------|
| 1 HPや区報等での情報発信 |
| 2 パンフレットなどの啓発資料作成、配布 |
| 3 講座・セミナーの開催 |
| 4 区内企業や病院への啓発 |
| 5 交流イベントの開催 |
| 6 相談窓口(窓口・電話) |
| 7 相談窓口(SNS) |
| 8 性的マイノリティが安心して集まれるコミュニティスペース作り |
| 9 パートナーシップ制度 |
| 10 子どもや教職員への教育及び教育現場における配慮 |
| 11 性の多様性を意識したトイレや更衣室等の整備 |
| 12 職員に対する啓発(職員研修等) |
| 13 各種行政サービスに性の多様性の視点を取り入れる |
| 14 その他 () |
| 15 わからない |

IV 区の男女平等・共同参画及び性の多様性尊重施策

問 21 あなたは、目黒区が行っている次の施策や事業を知っていましたか。((ア)～(オ)のそれぞれについて、回答を1つ選択してください。)

	いた 知 つ て	か つ た ら な
(ア)「男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくり条例」を制定していること	1	2
(イ)「男女平等・共同参画及び性の多様性の尊重を推進する計画」に基づき、施策や事業を推進していること	1	2
(ウ) 区長の付属機関として「男女平等・共同参画審議会」を設置していること	1	2
(エ) 男女が平等に共同参画し性の多様性を尊重する社会づくりの推進を阻害する事項についての区民からの申出等を処理するため、「男女平等・共同参画オンブーズ」を設置していること	1	2
(オ)「男女平等・共同参画センター」を運営し、各種講座や相談事業を実施していること	1	2

問 22 あなたは、男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するために、今後、区は特にどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(選択は3つまで)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1 区の審議会等への女性の積極的な登用 2 男女平等・共同参画及び性の多様性に関する情報提供の充実 3 区の施策や事業の積極的な周知 4 雇用・労働に関する情報提供の充実 5 区職員への意識啓発 6 学校での男女平等・共同参画及び性の多様性尊重に向けた教育の推進 7 ワーク・ライフ・バランスに関する施策の充実 8 保育・育児支援施策の充実 9 介護支援施策の充実 10 相談事業の充実 11 女性問題、男女平等・共同参画及び性の多様性に関する講座や講演会の充実 12 区民・事業者・区の協働の促進 13 その他 () 14 わからない |
|--|

問 23 目黒区男女平等・共同参画センターでは、男女平等・共同参画及び性の多様性の尊重を推進するためにさまざまな事業を実施しています。あなたは、今後、特にどの事業に力を入れたらよいと思いますか。(選択は3つまで)

- 1 男女平等・共同参画及び性の多様性尊重を推進するための啓発事業
- 2 女性の起業や就業を支援するための講座
- 3 男性の家庭や地域への参画を支援する講座
- 4 ストーカー、DV、性被害などを扱う講座
- 5 性的マイノリティなどを扱う講座
- 6 メディア・リテラシー向上のための講座
- 7 男女平等・共同参画及び性の多様性に関する図書や資料の提供
- 8 こころ・からだ・法律に関する女性を対象とした相談事業
- 9 男性のための悩み相談事業
- 10 啓発誌等の発行による情報提供
- 11 SNSを活用した情報発信
- 12 団体・グループの交流及び自主活動の支援
- 13 区民参画による講座・イベントなどの実施
- 14 その他 ()
- 15 わからない

最後に「あなた」についてお尋ねします。(次のページへ)

あなたについて

F 1 あなたの性別※についてお答えください。

(この質問は個人の意識や置かれている状況を性別※と併せて統計的に分析するためにお尋ねしています。)

※戸籍上の性別に関わらず、現在自分が認識している性別

- | | | |
|------|------|------------|
| 1 女性 | 2 男性 | 3 それ以外 () |
|------|------|------------|

F 2 あなたの年齢についてお答えください。

- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1 10歳代 | 3 30歳代 | 5 50歳代 | 7 70歳以上 |
| 2 20歳代 | 4 40歳代 | 6 60歳代 | |

F 3 あなたに次のパートナーはいらっしゃいますか。(過去1年以内にいた場合を含みます。)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1 配偶者(事実婚を含む。) | 3 交際相手 |
| 2 同性パートナー | 4 パートナーはいない |

↓
【F 3で「配偶者(事実婚を含む。)」と回答したかたのみ】

F 3-1 あなたの世帯は共働き(パート・アルバイトを含みます。)ですか。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 共働きである | 2 共働きではない |
|----------|-----------|

F 4 あなたの世帯の構成は、次のどれに該当しますか。ご自身の立場(自分が親、自分が子ども)に関わらず、世帯構成をお答えください。「夫婦」は事実婚や同性カップルを含みます。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 単身(一人暮らし) | 4 親と子ども夫婦(二世帯家族) |
| 2 夫婦(自分とパートナー)のみ | 5 親と子ども夫婦と孫(三世帯家族) |
| 3 親と独身の子ども(ひとり親世帯を含む。) | 6 その他() |

F 5 あなたの家庭には、次に該当するかたがいらっしゃいますか。(当てはまるものすべてを選択してください。)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 未就学児 | 4 中学生 |
| 2 小学1年生～3年生 | 5 介護が必要なかた |
| 3 小学4年生～6年生 | 6 1～5のいずれもない |

調査全体についてお気づきの点がございましたらご記入ください。

--

ご回答ありがとうございました。

目黒区総務部人権政策課